

### **Ⅲ 18 歳以上の区民の方が対象**

～ デジタル化・まちづくり・住まいの分野など ～



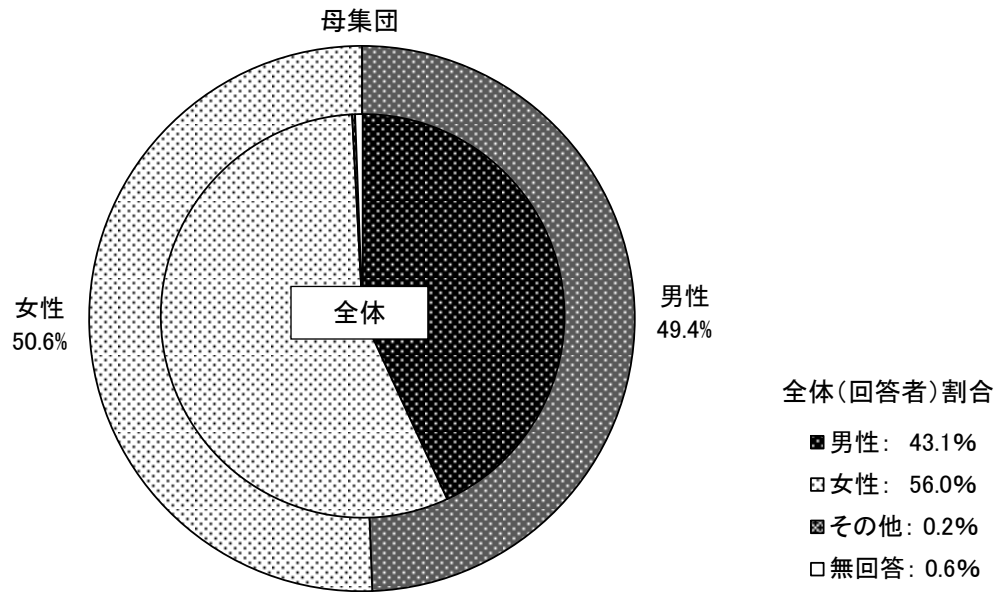
# 1 回答者の属性について

## (1) 性別

母集団：大田区 18 歳以上の人口 (n=635, 100) 令和 4 年 1 月 1 日現在

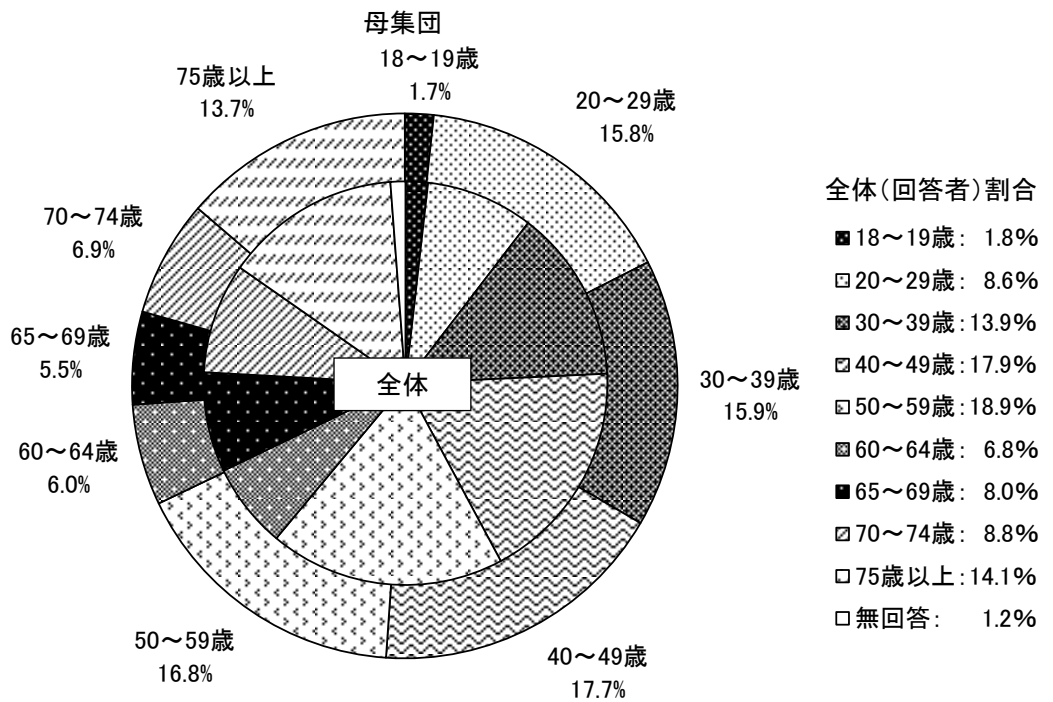
全 体：有効回収数 (n=837)

全体 n=837



## (2) 年齢

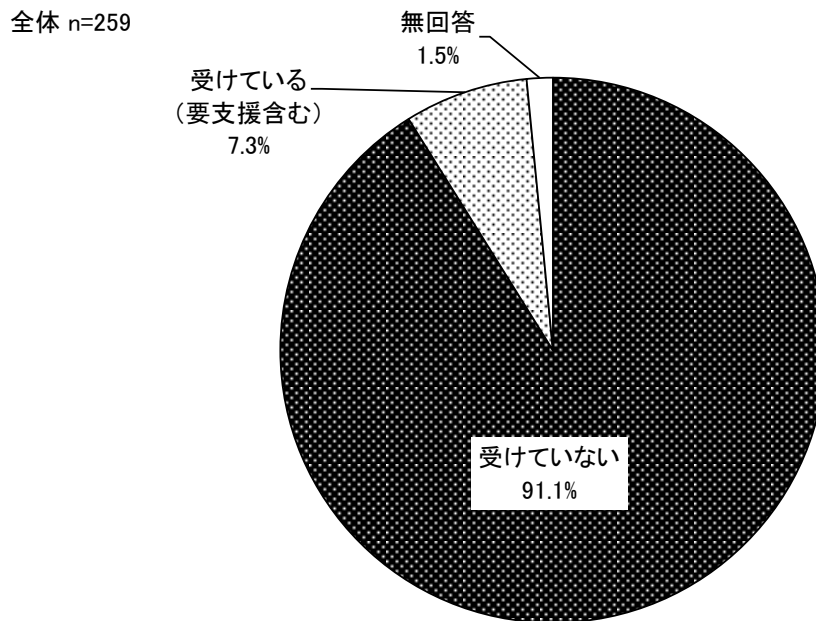
全体 n=837



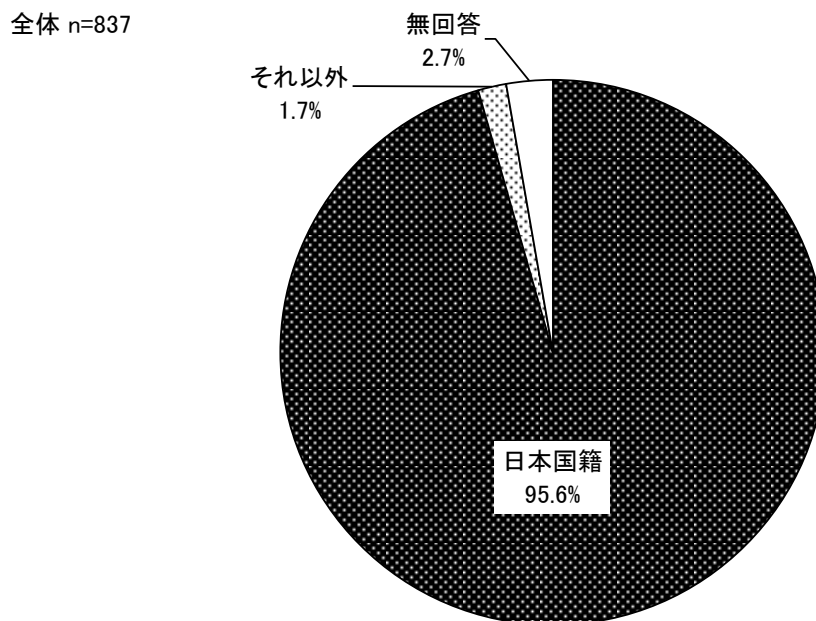
【出典】大田区：年齢別人口報告表資料（日本人+外国人）令和 4 年 1 月 1 日現在

### (3) 要介護認定の状況

【65歳以上の方】



### (4) 国籍

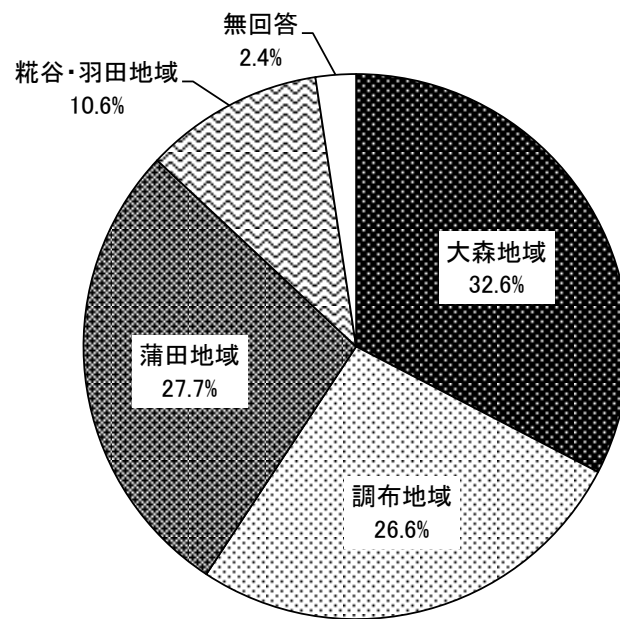


#### ■ 日本国籍以外

	中国	アメリカ	ロシア	韓国	朝鮮	ブラジル	フランス	無回答
人数	5	2	2	1	1	1	1	1

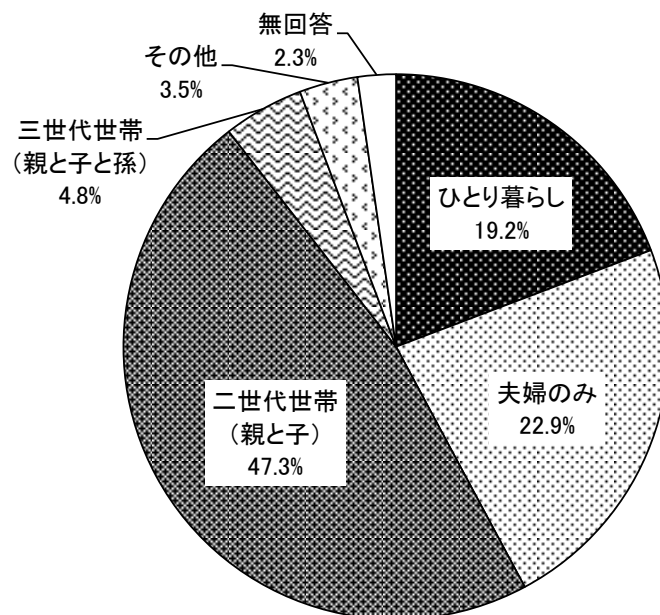
## (5) 居住地域

全体 n=837

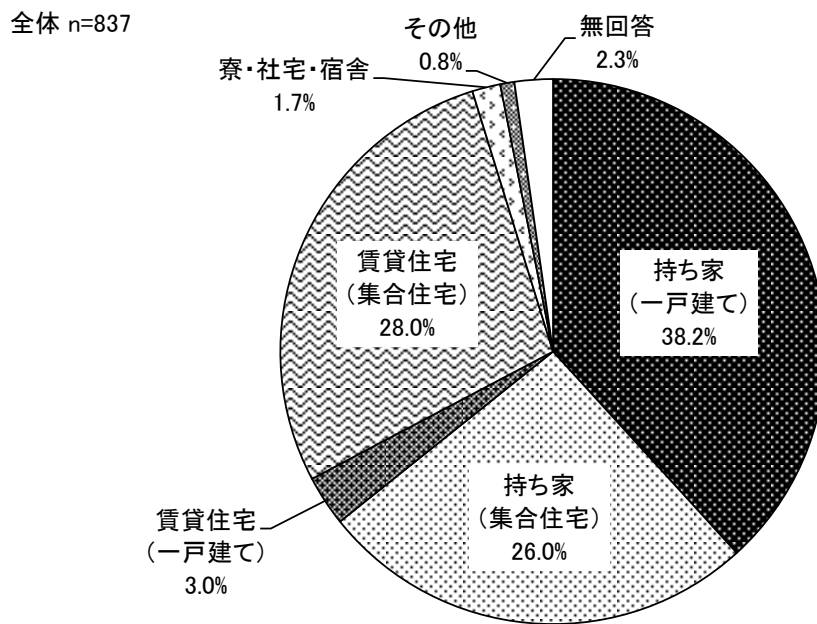


## (6) 家族構成

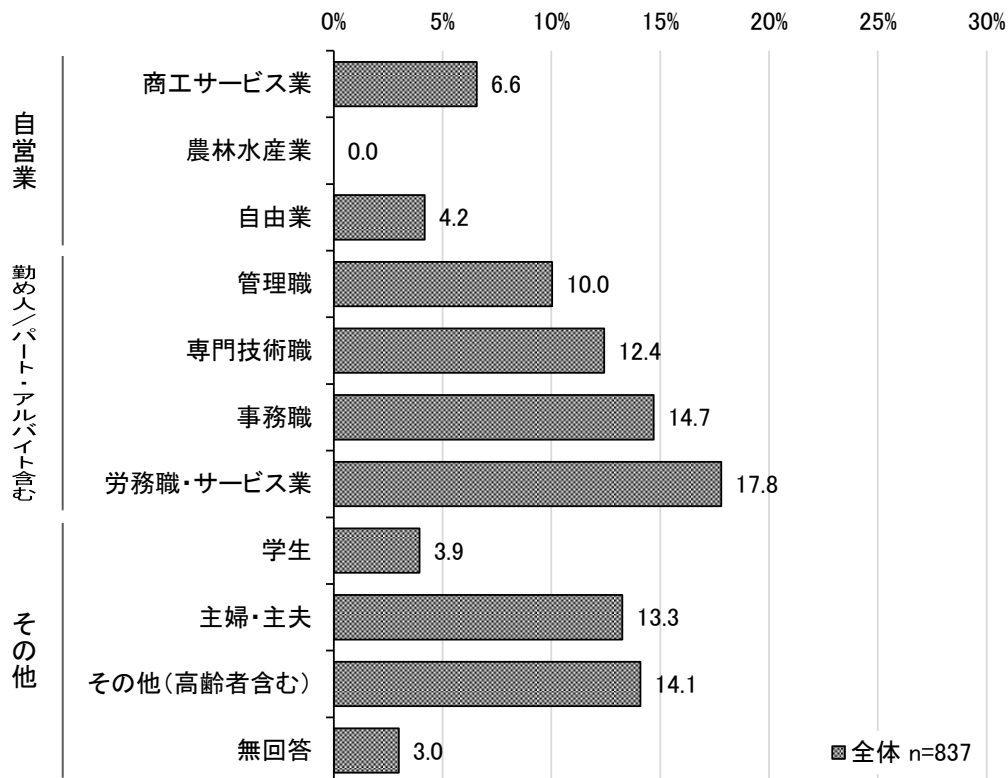
全体 n=837



## (7) 住まいの種類

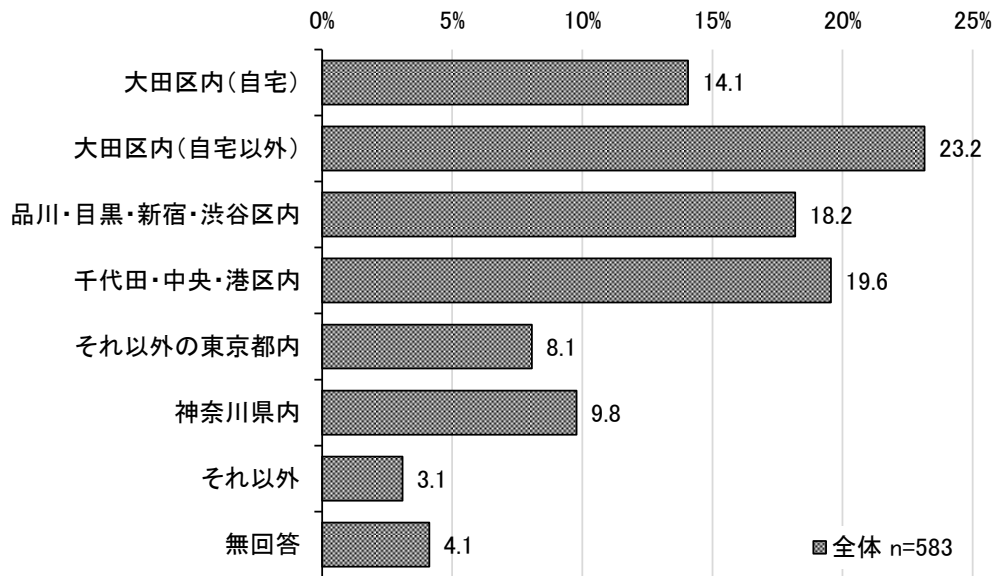


## (8) 職業

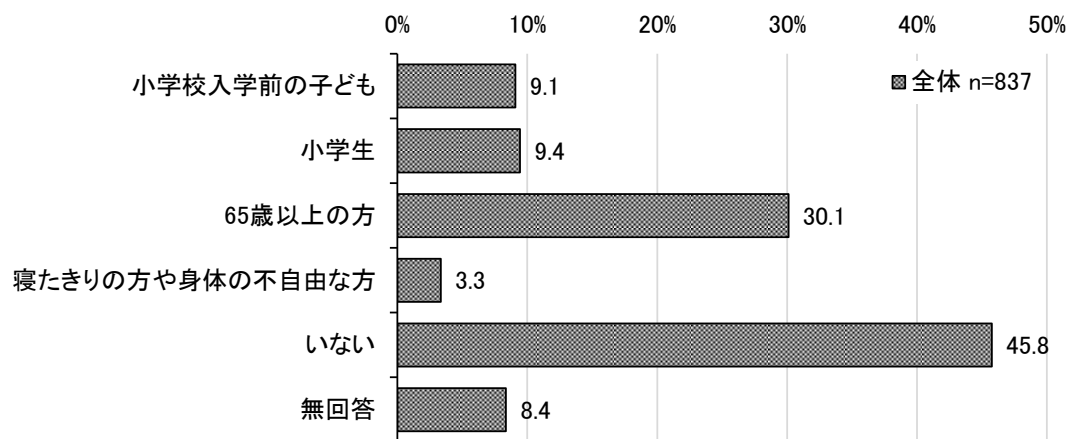


## (9) 主な通勤・通学先

【(8) 職業で「自営業」「勤め人」「学生」と回答した方】

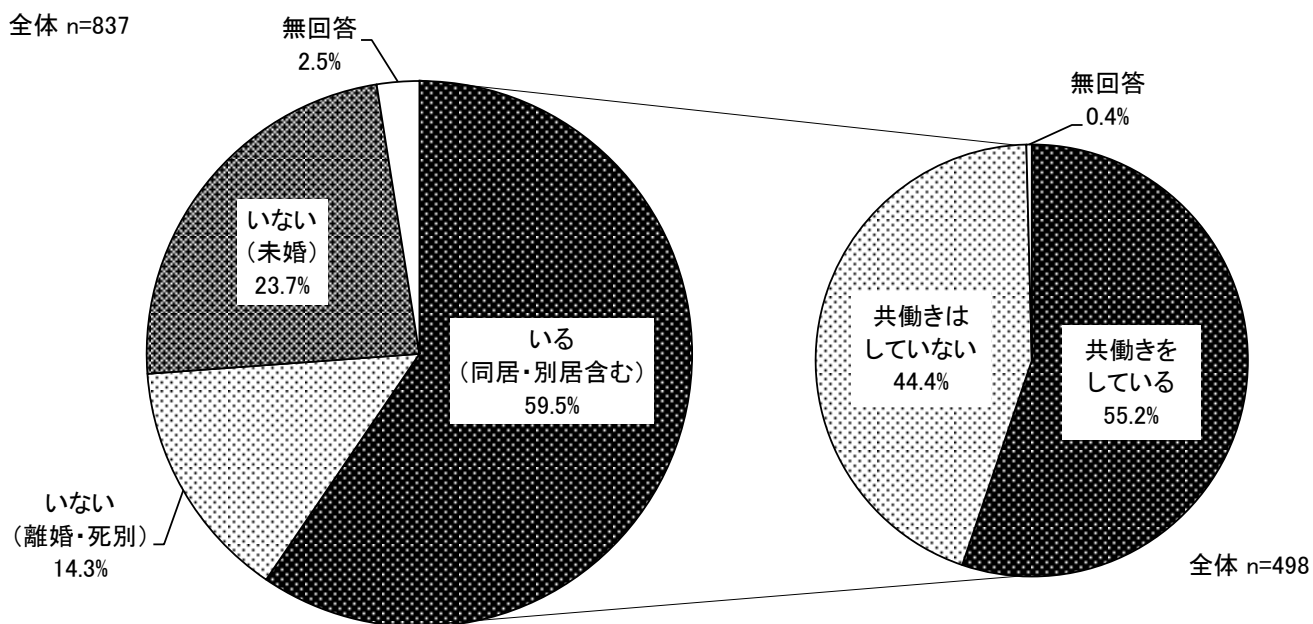


## (10) 同居家族



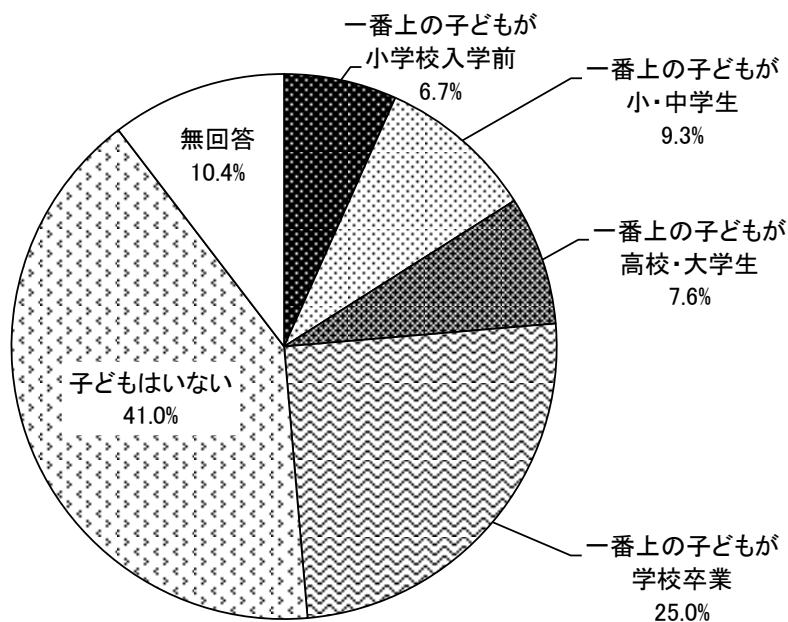
(11) 配偶者の有無及び (12) 共働きの状況

【(11) 配偶者の有無で「いる (同居・別居含む)」と回答した方】



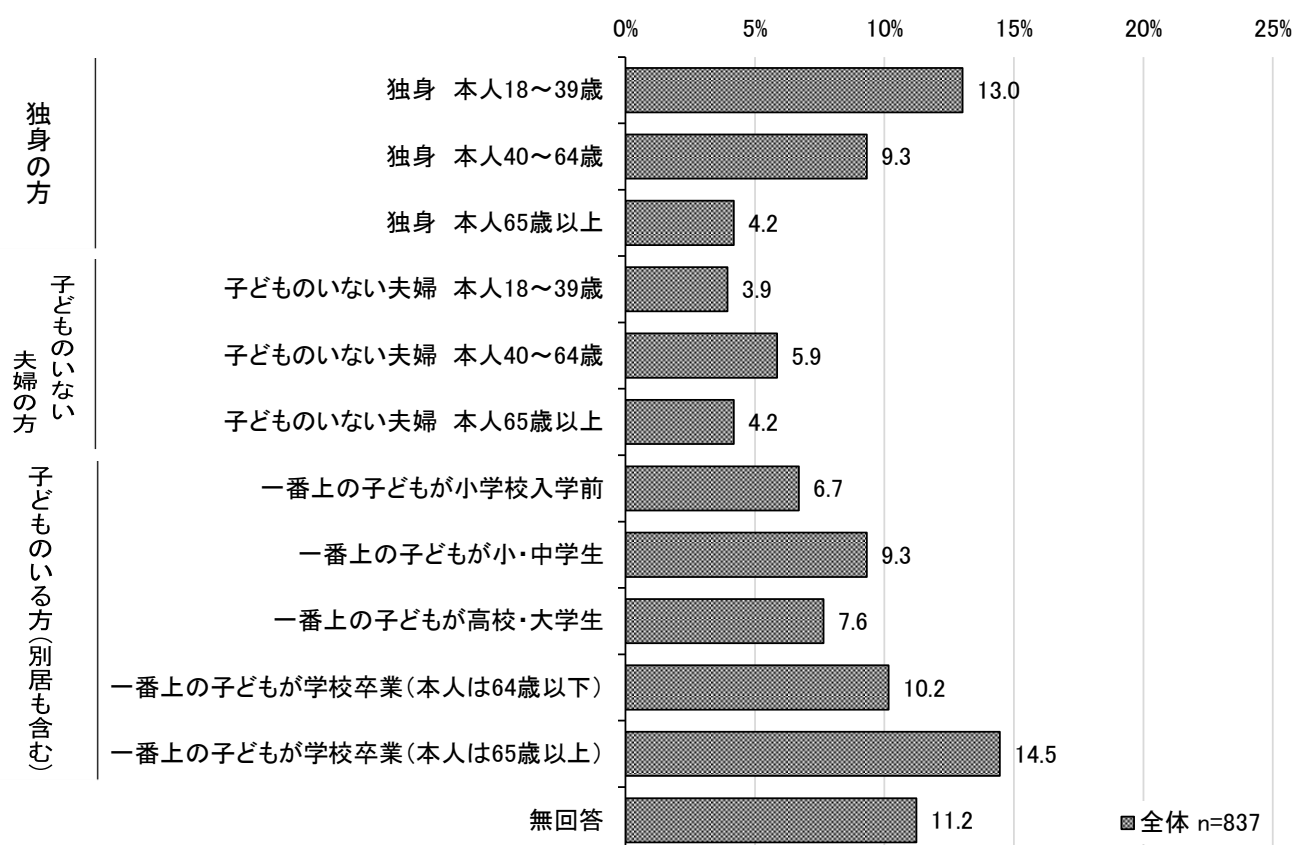
(13) 子どもの有無

全体 n=837

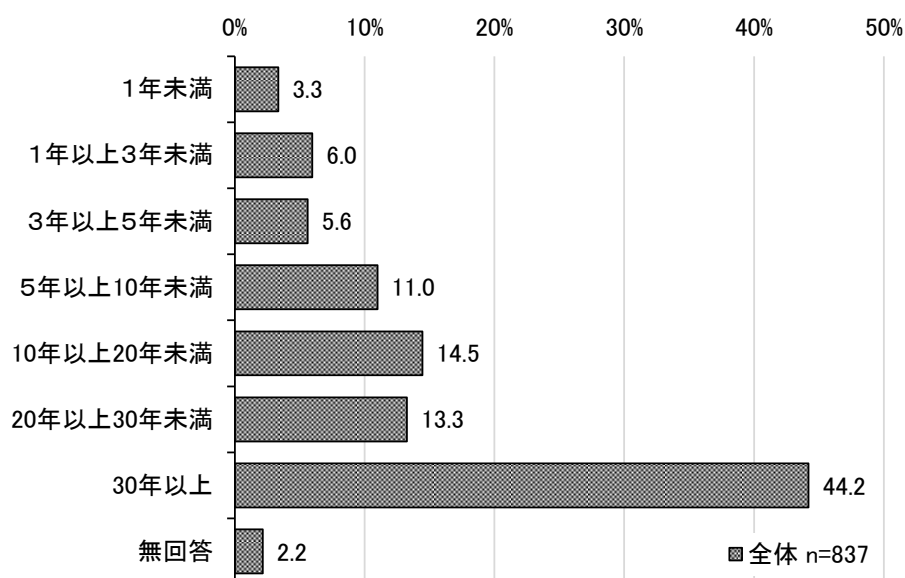




## (14) 自身のステージ



## (15) 居住年数



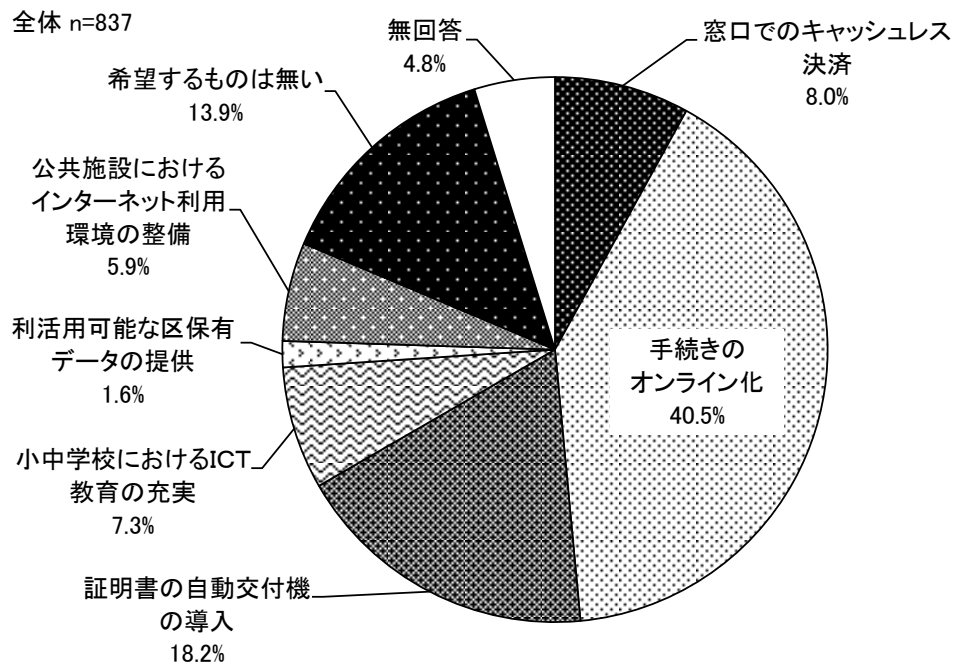
## 2 デジタル化について

### (1) 区民サービスのデジタル化への希望

◇「手続きのオンライン化」が約4割で最も高くなっている

#### 問1 区民サービスのデジタル化に関して、最も希望するものは何ですか。(1つのみ)

区民サービスのデジタル化への希望については、「手続きのオンライン化」が40.5%で最も高く、次いで「証明書の自動交付機の導入」が18.2%、「希望するものは無い」が13.9%となっている。

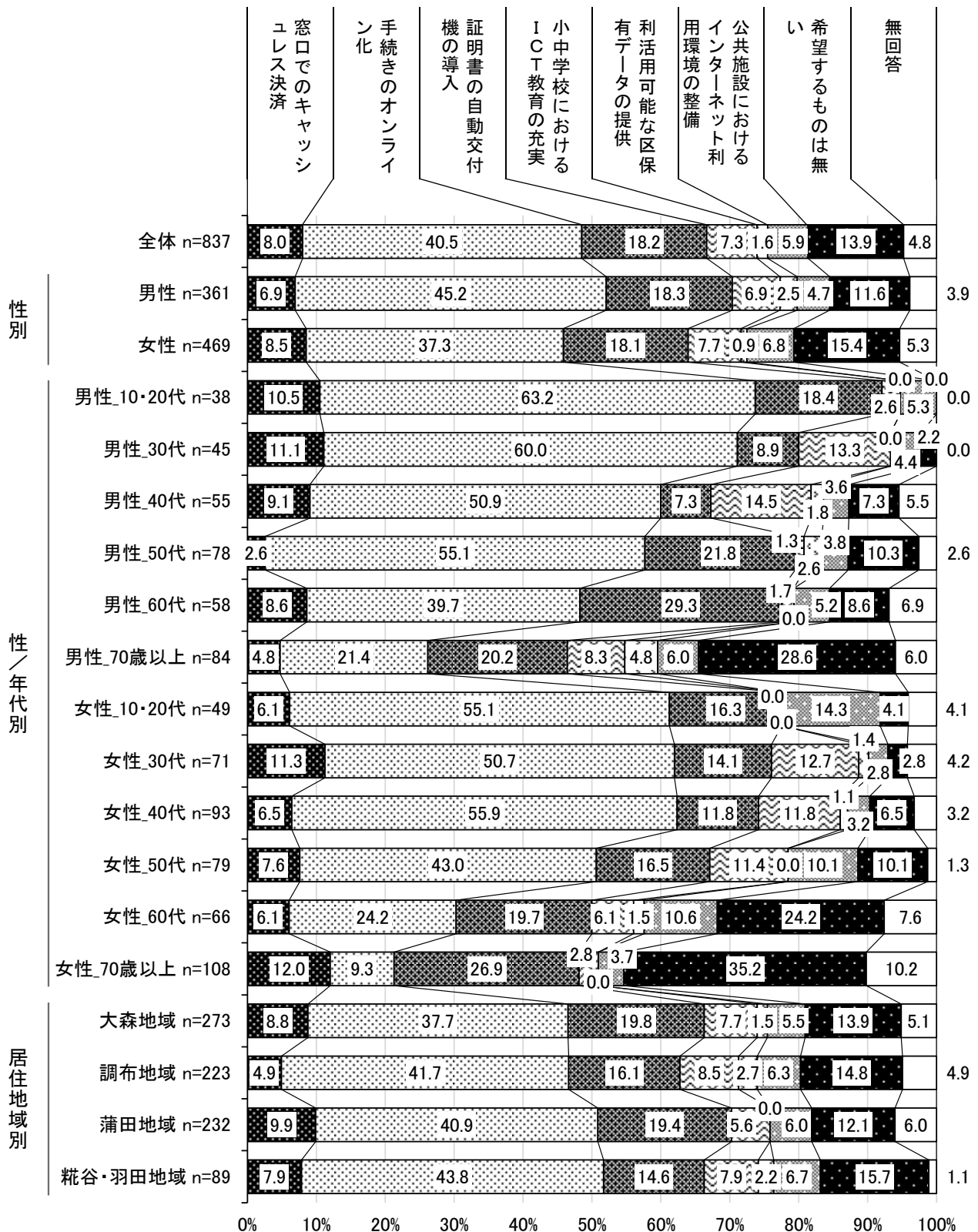


### ■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、「手続きのオンライン化」は男性が45.2%、女性が37.3%と、男性が7.9ポイント上回っている。

性/年代別でみると、「手続きのオンライン化」は男性では年代が下がるにつれて増加傾向であり、10・20代で6割前半となっている。女性では10・20代から40代で5割台となっている。

居住地域別でみると、「手続きのオンライン化」は調布地域、蒲田地域、糀谷・羽田地域で4割台となっている。

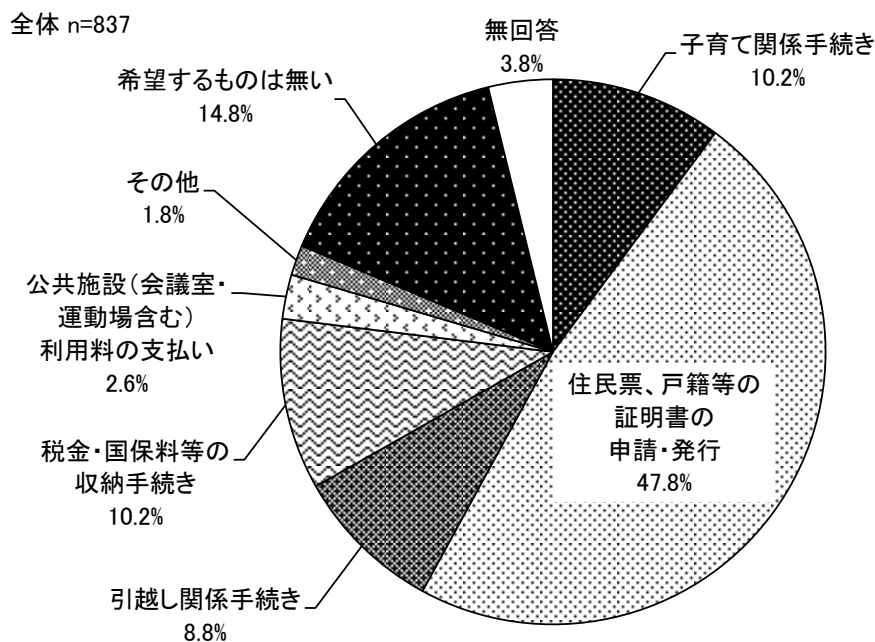


## (2) オンライン化を希望する行政手続き

◇「住民票、戸籍等の証明書の申請・発行」が5割弱で最も高くなっている

### 問2 行政手続きの中で最もオンライン化を希望するものは何ですか。(1つのみ)

オンライン化を希望する行政手続きについては、「住民票、戸籍等の証明書の申請・発行」が47.8%で最も高く、次いで「希望するものは無い」が14.8%、「子育て関係手続き」、「税金・国保料等の収納手続き」がともに10.2%となっている。

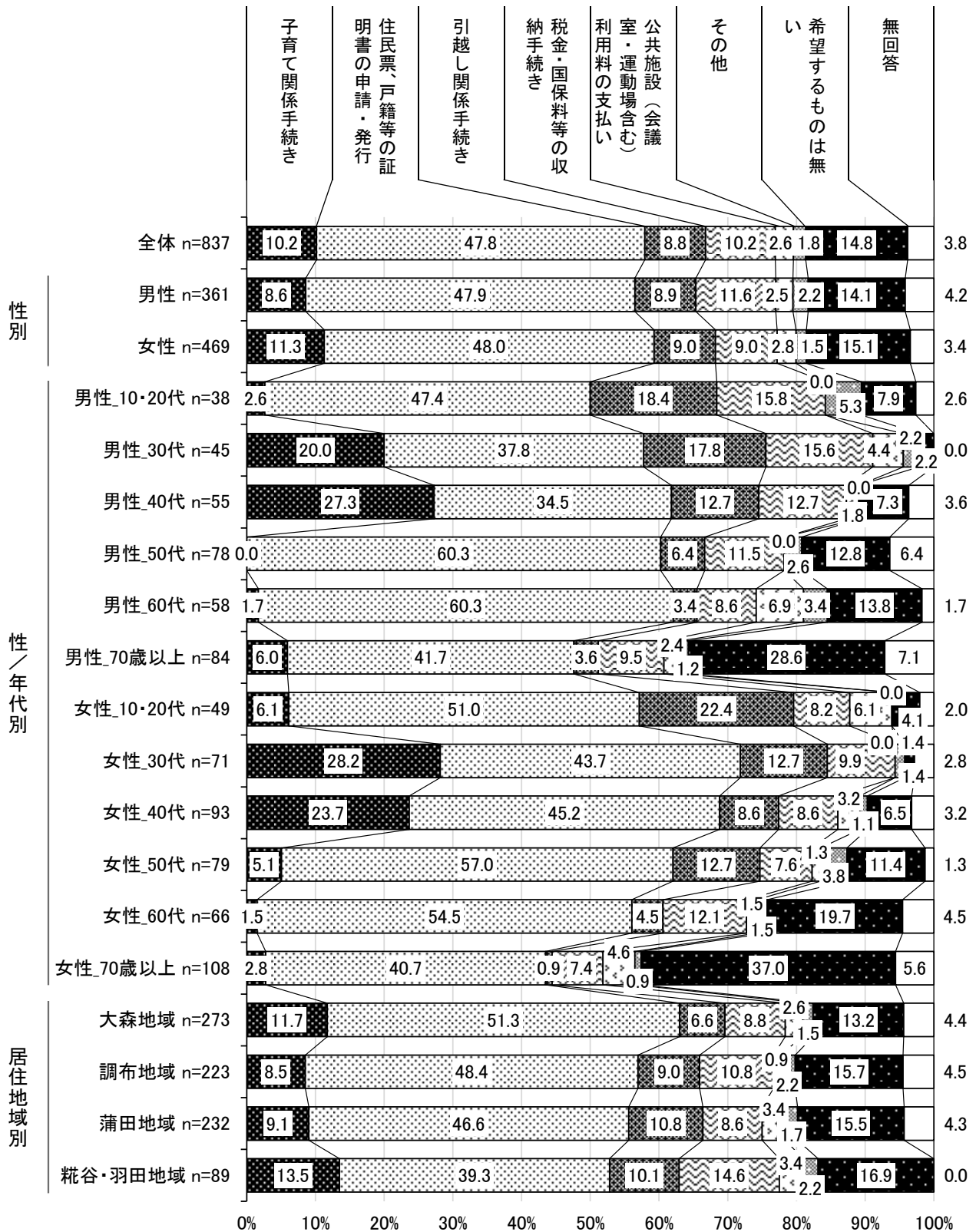


### ■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、「住民票、戸籍等の証明書の申請・発行」は男性では50代、60代で約6割、女性では10・20代、50代、60代で5割台となっている。

居住地域別でみると、「住民票、戸籍等の証明書の申請・発行」は大森地域で5割前半と高くなっている。



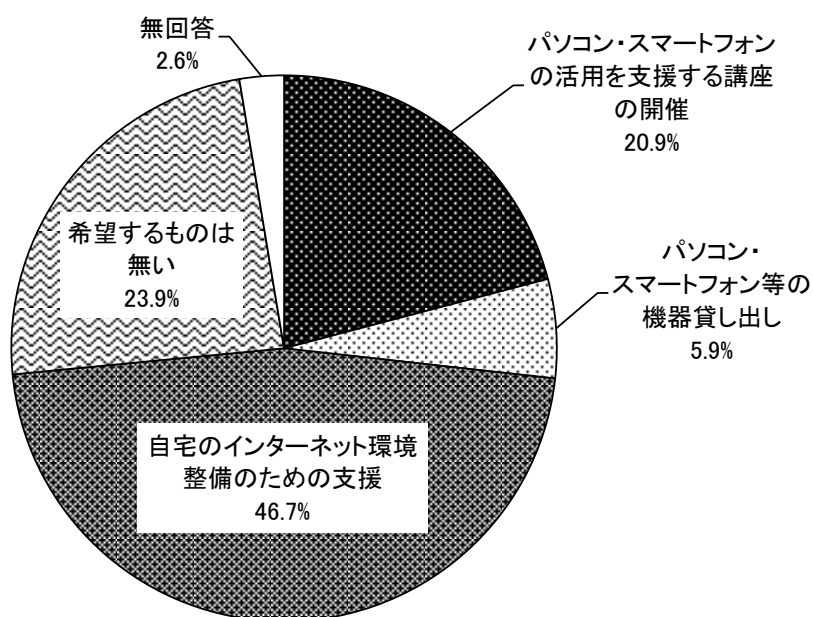
### (3) 「地域社会のデジタル化」への希望

◇「自宅のインターネット環境整備のための支援」が5割弱で最も高くなっている

**問3 国が今後進めていくとしている「地域社会のデジタル化」にあたり、最も支援・配慮を希望するものは何ですか。(1つのみ)**

“地域社会のデジタル化”への希望については、「自宅のインターネット環境整備のための支援」が46.7%で最も高く、次いで「希望するものは無い」が23.9%、「パソコン・スマートフォンの活用を支援する講座の開催」が20.9%となっている。

全体 n=837

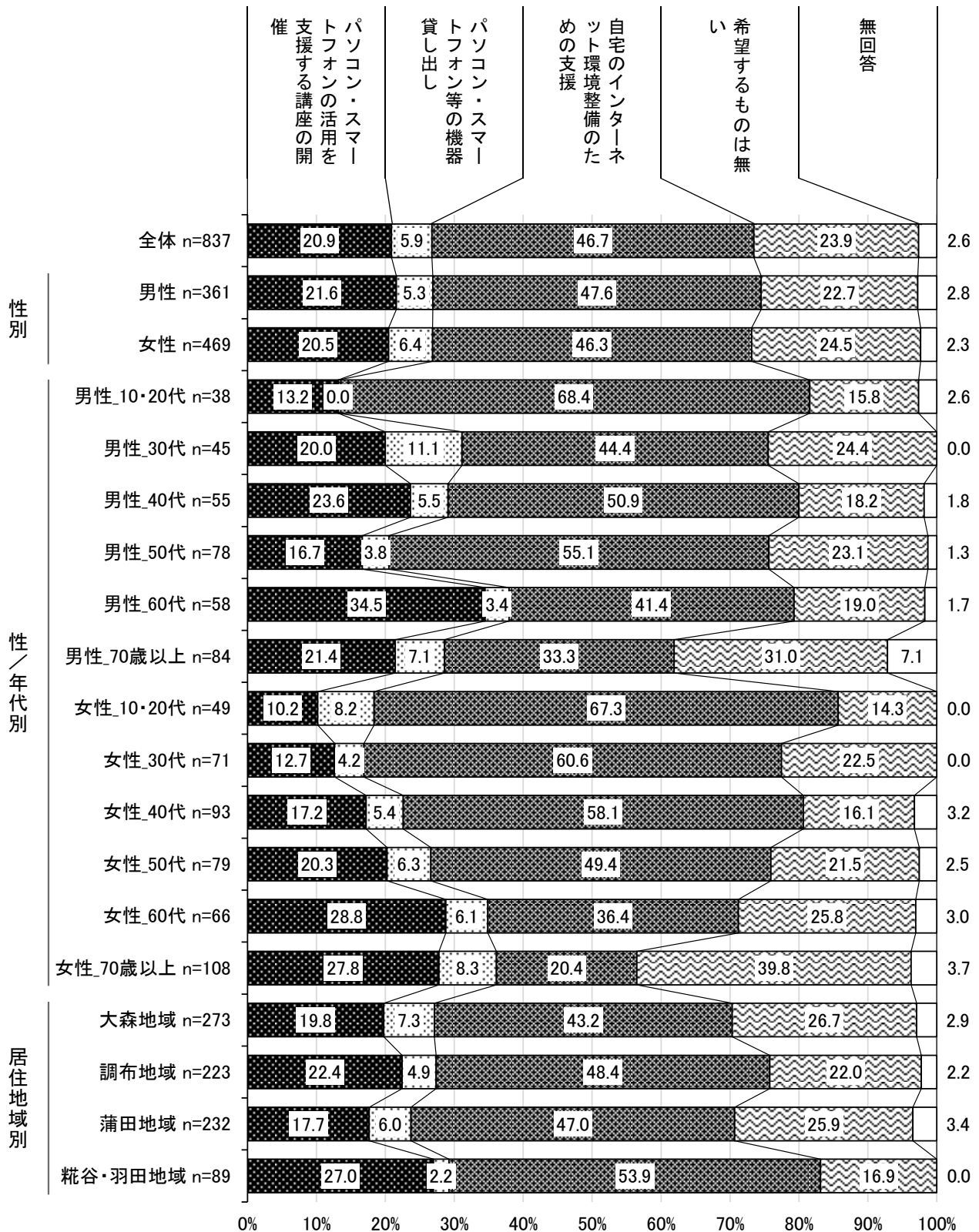


### ■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、大きな差はみられない。

性／年代別で見ると、「自宅のインターネット環境整備のための支援」は男性では10・20代で7割弱と高くなっている。女性では年代が下がるにつれて増加傾向であり、10・20代で7割弱となっている。

居住地域別で見ると、「自宅のインターネット環境整備のための支援」は糞谷・羽田地域で5割前半と高くなっている。



### 3 商店街について

#### (1) 普段の買い物で利用する業態及び理由

◇食料品、日用雑貨：近所のスーパーマーケットを利用する割合が高い

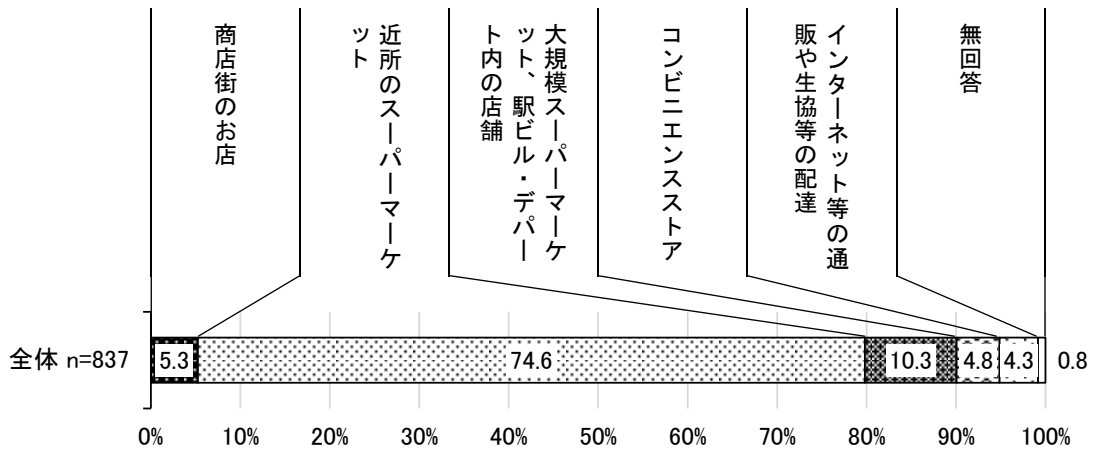
◇衣類：大規模スーパーマーケット、駅ビル・デパート内の店舗を利用する割合が高い

問4 あなたが普段の買い物で利用するのはどのようなお店ですか。

項目ごとに最も多く利用する「①業態」と、「②その理由」を、選択肢の中からそれぞれ1つを選んで、四角の中に数字とアルファベットを記入してください。(それぞれ1つのみ)

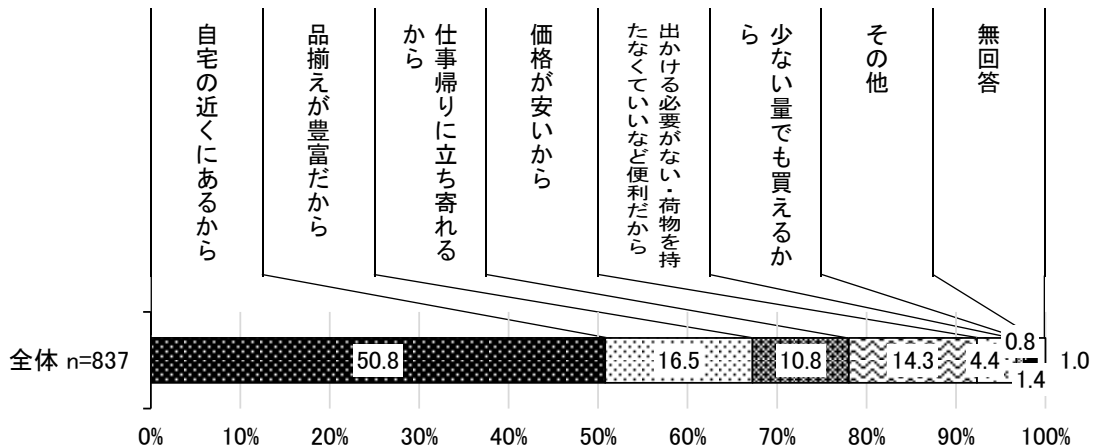
##### ■食料品【業態】

食料品を購入するお店の業態については、「近所のスーパーマーケット」が74.6%で最も高く、次いで「大規模スーパーマーケット、駅ビル・デパート内の店舗」が10.3%、「商店街のお店」が5.3%となっている。



##### ■食料品【理由】

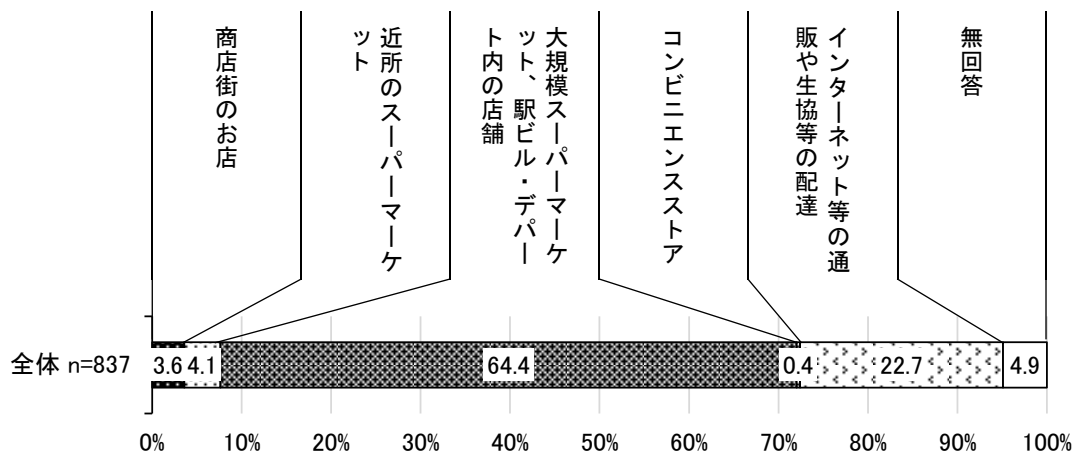
食料品を購入するお店を選ぶ理由については、「自宅の近くにあるから」が50.8%で最も高く、次いで「品揃えが豊富だから」が16.5%、「価格が安いから」が14.3%となっている。





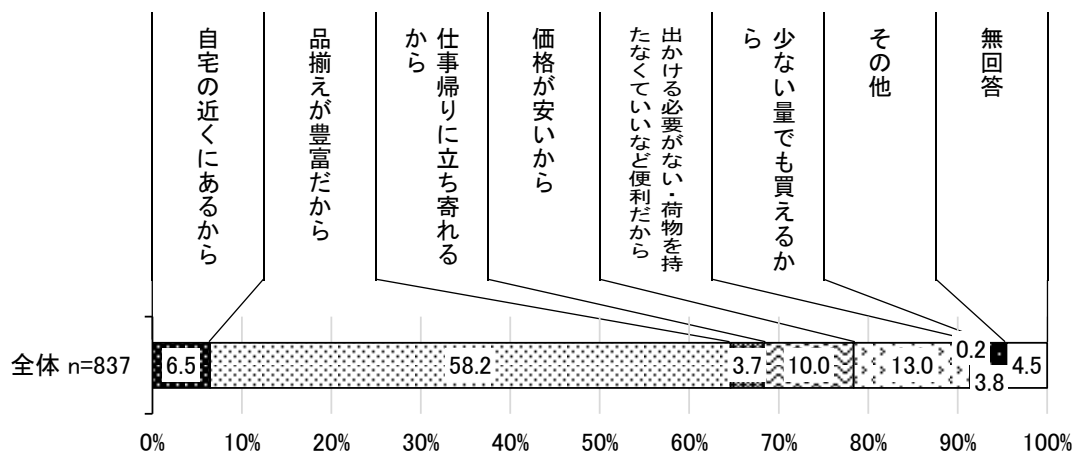
### ■衣類【業態】

衣類を購入するお店の業態については、「大規模スーパーマーケット、駅ビル・デパート内の店舗」が64.4%で最も高く、次いで「インターネット等の通販や生協等の配達」が22.7%、「近所のスーパーマーケット」が4.1%となっている。



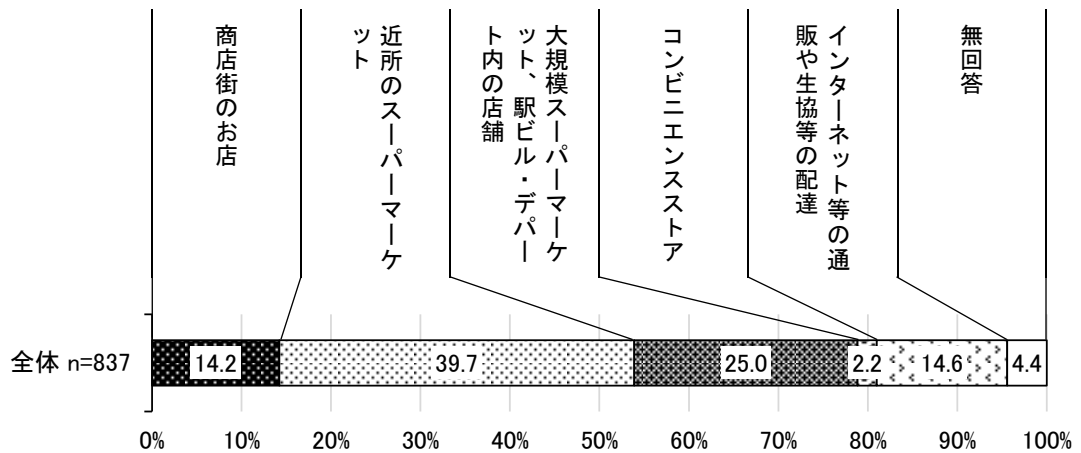
### ■衣類【理由】

衣類を購入するお店を選ぶ理由については、「品揃えが豊富だから」が58.2%で最も高く、次いで「出かける必要がない・荷物を持たなくていいなど便利だから」が13.0%、「価格が安いから」が10.0%となっている。



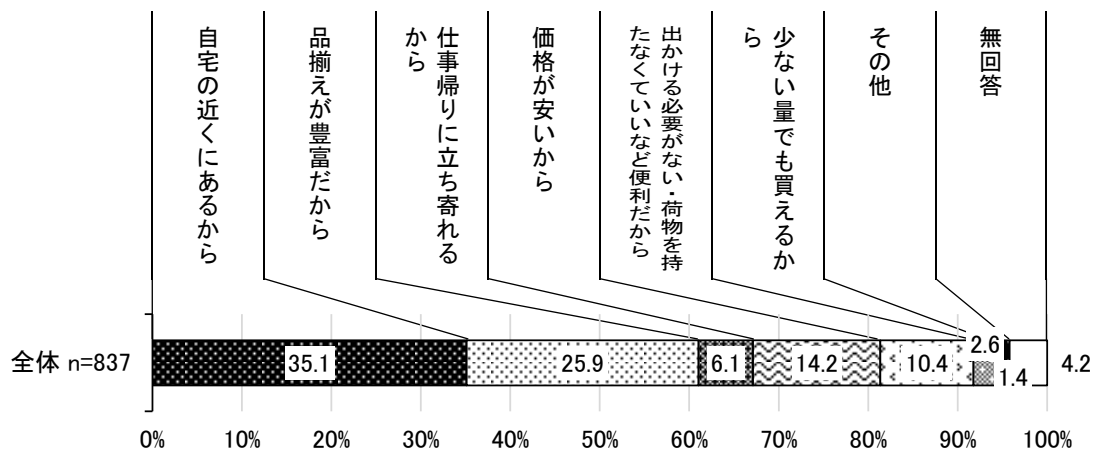
### ■ 日用雑貨【業態】

日用雑貨を購入するお店の業態については、「近所のスーパーマーケット」が39.7%で最も高く、次いで「大規模スーパーマーケット、駅ビル・デパート内の店舗」が25.0%、「インターネット等の通販や生協等の配達」が14.6%となっている。



### ■ 日用雑貨【理由】

日用雑貨を購入するお店を選ぶ理由については、「自宅の近くにあるから」が35.1%で最も高く、次いで「品揃えが豊富だから」が25.9%、「価格が安いから」が14.2%となっている。

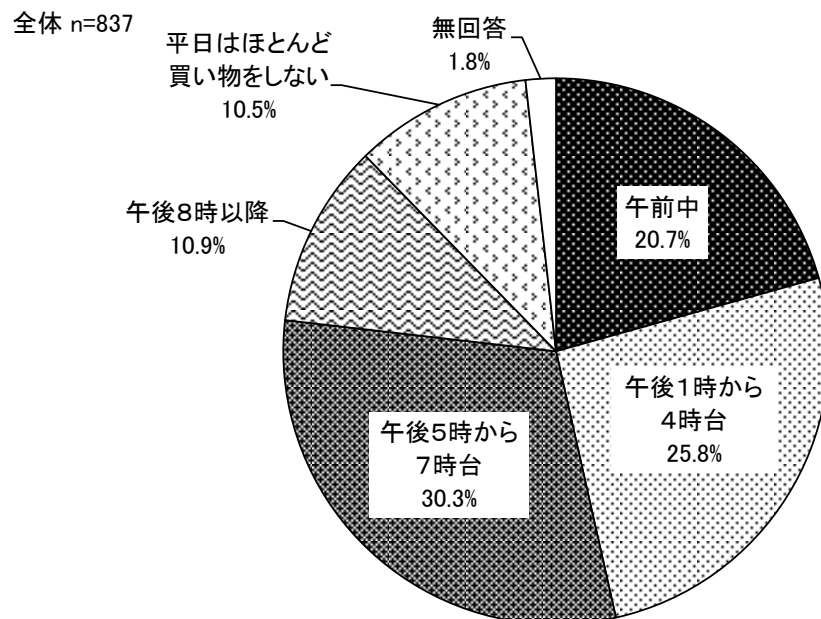


## (2) 買い物をする時間帯

◇「午後5時から7時台」が約3割で最も高くなっている

### 問5 平日に食料品や日用品の買い物をする主な時間帯はどれですか。(1つのみ)

買い物をする時間帯については、「午後5時から7時台」が30.3%で最も高く、次いで「午後1時から4時台」が25.8%、「午前中」が20.7%となっている。

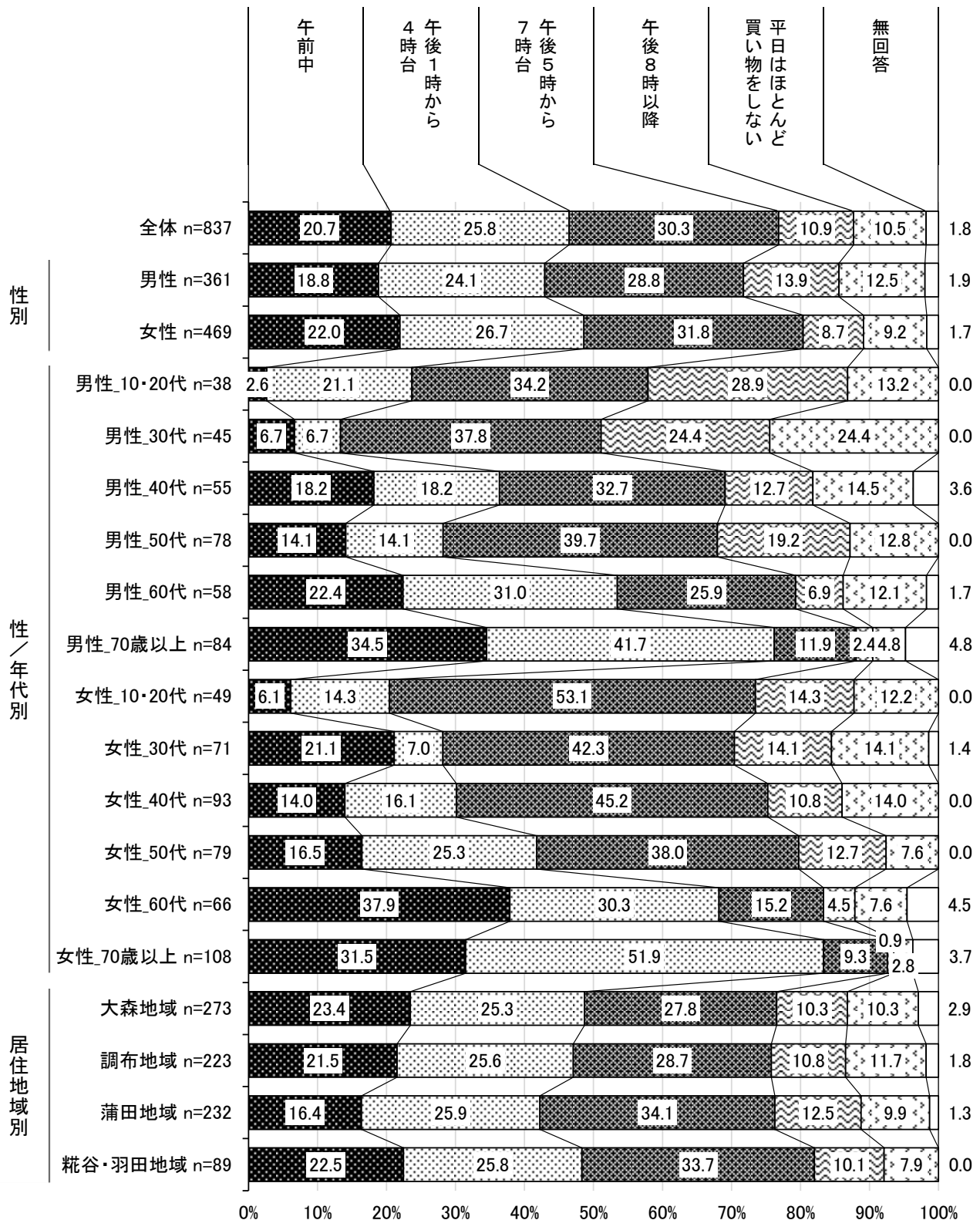


### ■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「平日はほとんど買い物をしない」は男性が12.5%、女性が9.2%と、男性が3.3ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「午前中」は男性では年代が上がるにつれて増加傾向であり、70歳以上で3割半ばとなっている。「午後5時から7時台」は女性では年代が上がるにつれて減少傾向であり、70歳以上では1割未満となっている。

居住地域別でみると、「午後5時から7時台」は蒲田地域、糀谷・羽田地域で3割台となっている。



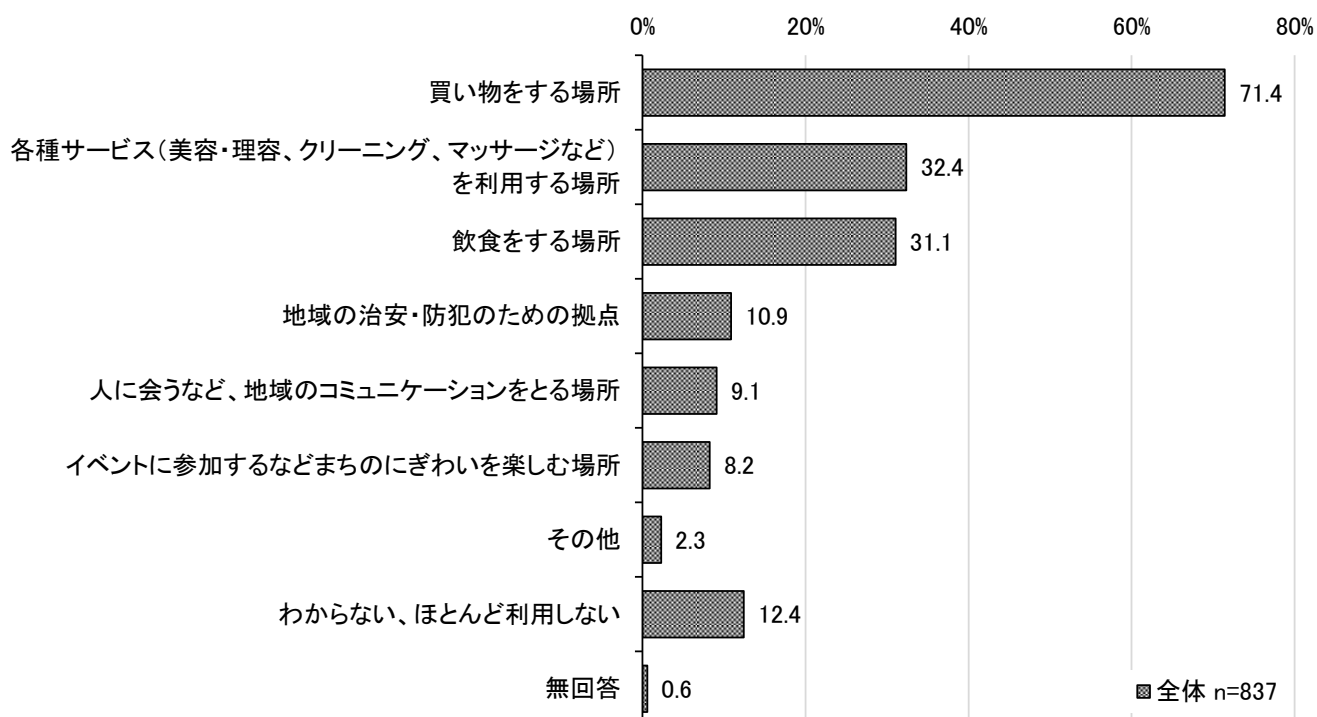
### (3) 商店街への印象

◇「買い物をする場所」が7割前半で最も高くなっている

#### 問6 あなたにとって、商店街はどのような場所ですか。(いくつでも)

商店街への印象については、「買い物をする場所」が71.4%で最も高く、次いで「各種サービス（美容・理容、クリーニング、マッサージなど）を利用する場所」が32.4%、「飲食をする場所」が31.1%となっている。

なお、「わからない、ほとんど利用しない」は12.4%となっている。

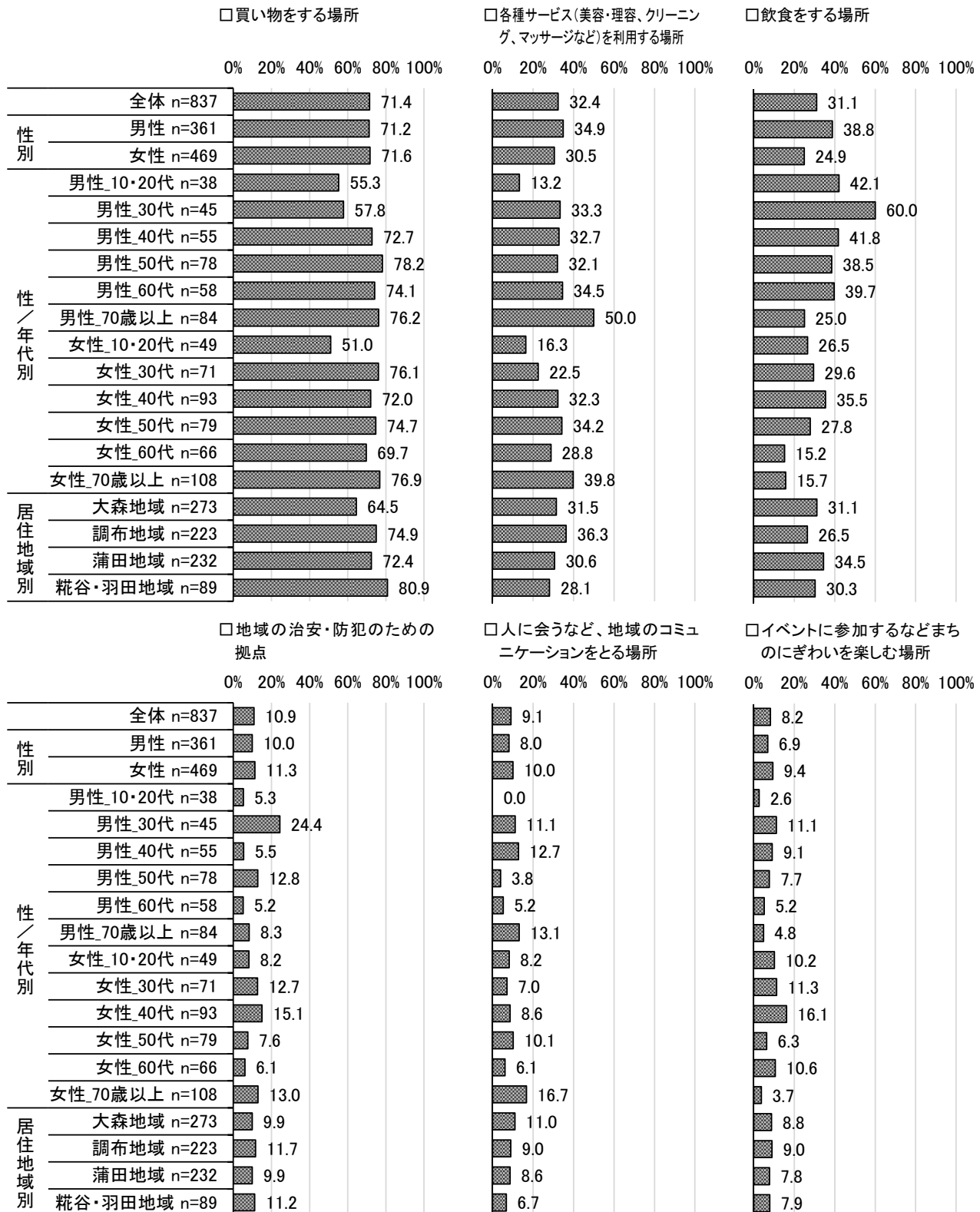


## ■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性、女性ともに「買い物をする場所」が最も高くなっている。

性／年代別でみると、男性30代を除き「買い物をする場所」が最も高くなっている。「飲食をする場所」は男性30代で6割と高くなっている。「地域の治安・防犯のための拠点」は男性30代で2割半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「買い物をする場所」が最も高く、糀谷・羽田地域で約8割と高くなっている。



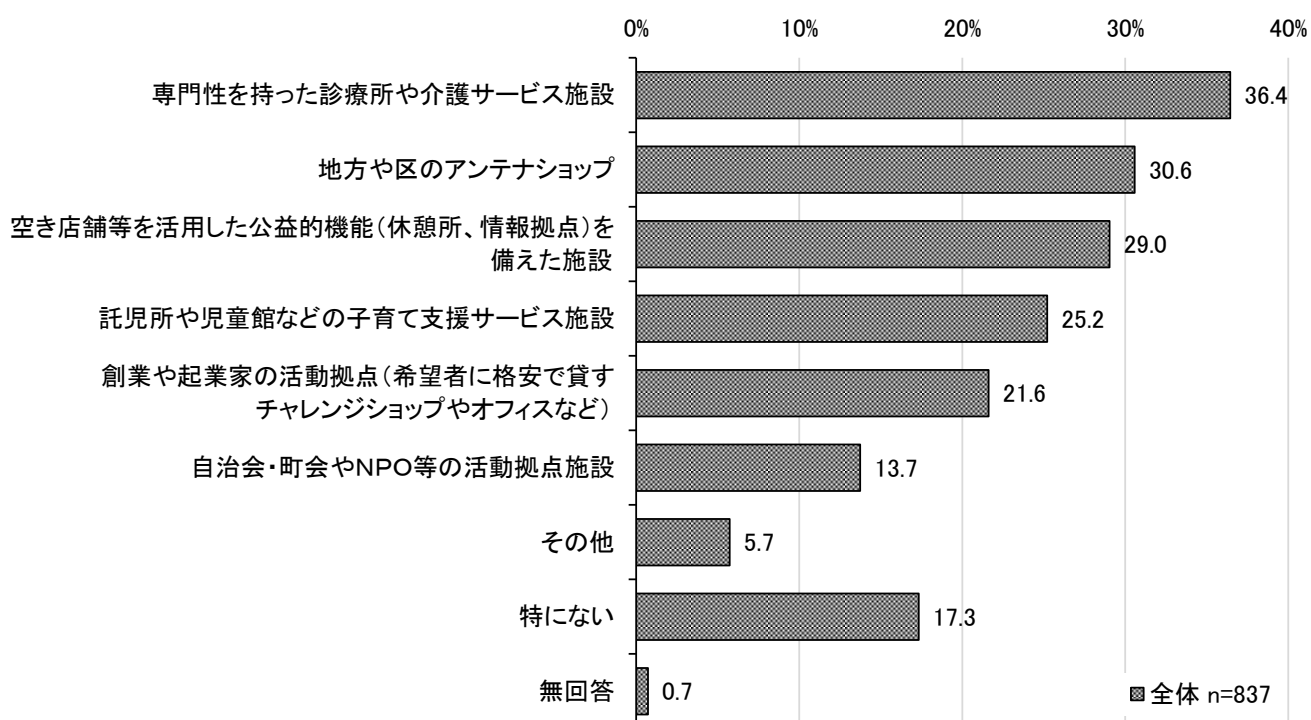
#### (4) 商店街に必要だと思う施設等

◇「専門性を持った診療所や介護サービス施設」が4割弱で最も高くなっている

##### 問7 あなたが商店街で必要だと思う施設等は何ですか。(いくつでも)

商店街に必要だと思う施設等については、「専門性を持った診療所や介護サービス施設」が36.4%で最も高く、次いで「地方や区のアンテナショップ」が30.6%、「空き店舗等を活用した公益的機能（休憩所、情報拠点）を備えた施設」が29.0%となっている。

なお、「特にない」は17.3%となっている。

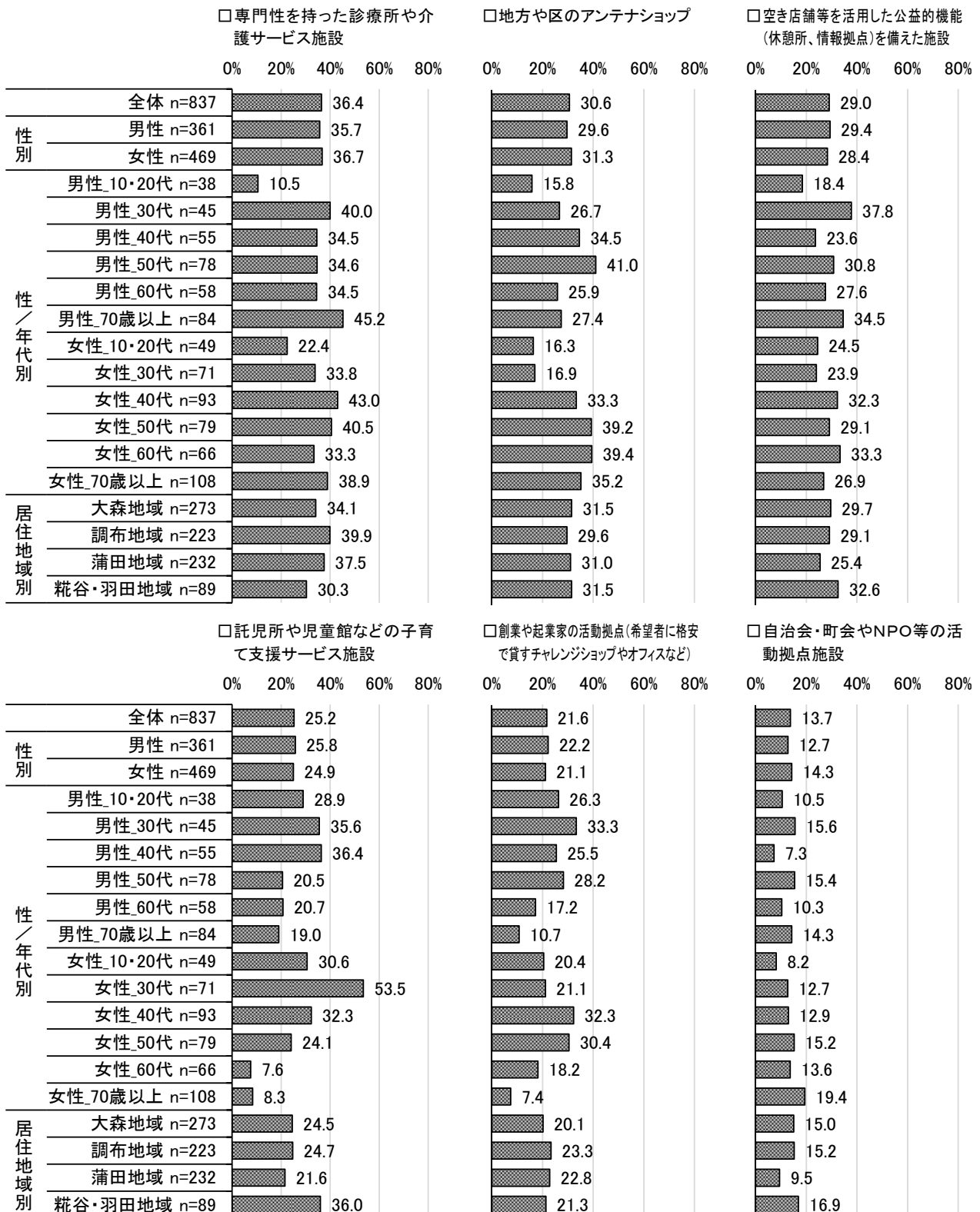


## ■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性、女性ともに「専門性を持った診療所や介護サービス施設」が最も高くなっている。

性／年代別でみると、「専門性を持った診療所や介護サービス施設」は男性では70歳以上で4割半ば、女性では40代で4割前半と高くなっている。「託児所や児童館などの子育て支援サービス施設」は女性30代で5割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、大森地域、調布地域、蒲田地域では「専門性を持った診療所や介護サービス施設」が最も高く、糀谷・羽田地域では「託児所や児童館などの子育て支援サービス施設」が最も高くなっている。





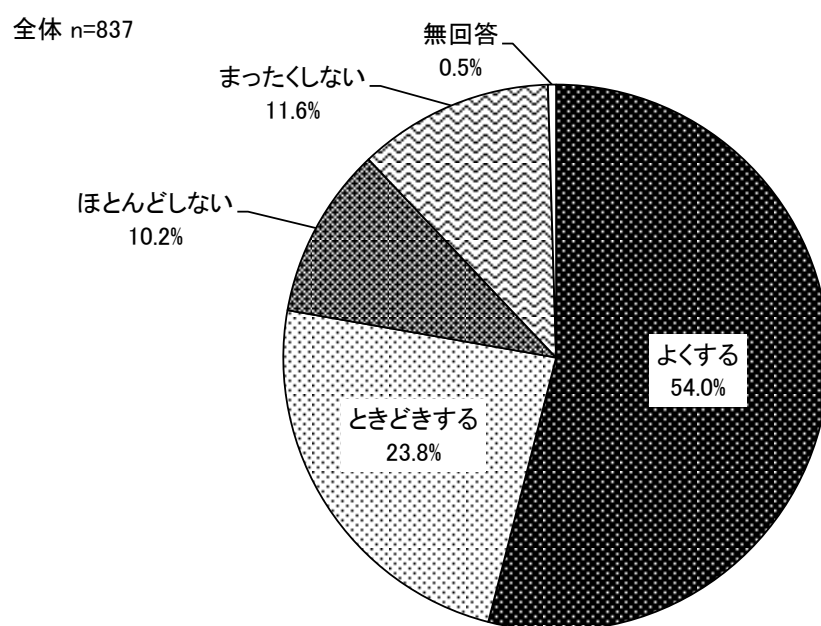
## 4 キャッシュレスについて

### (1) キャッシュレスでの支払い

◇「よくする」は5割前半となっている

**問8 あなたは普段の買い物でキャッシュレス（クレジットカード、電子マネー、プリペイドカードなど）による支払いをしていますか。（1つのみ）**

キャッシュレスでの支払いについては、「よくする」が54.0%で最も高く、次いで「ときどきする」が23.8%、「まったくしない」が11.6%となっている。

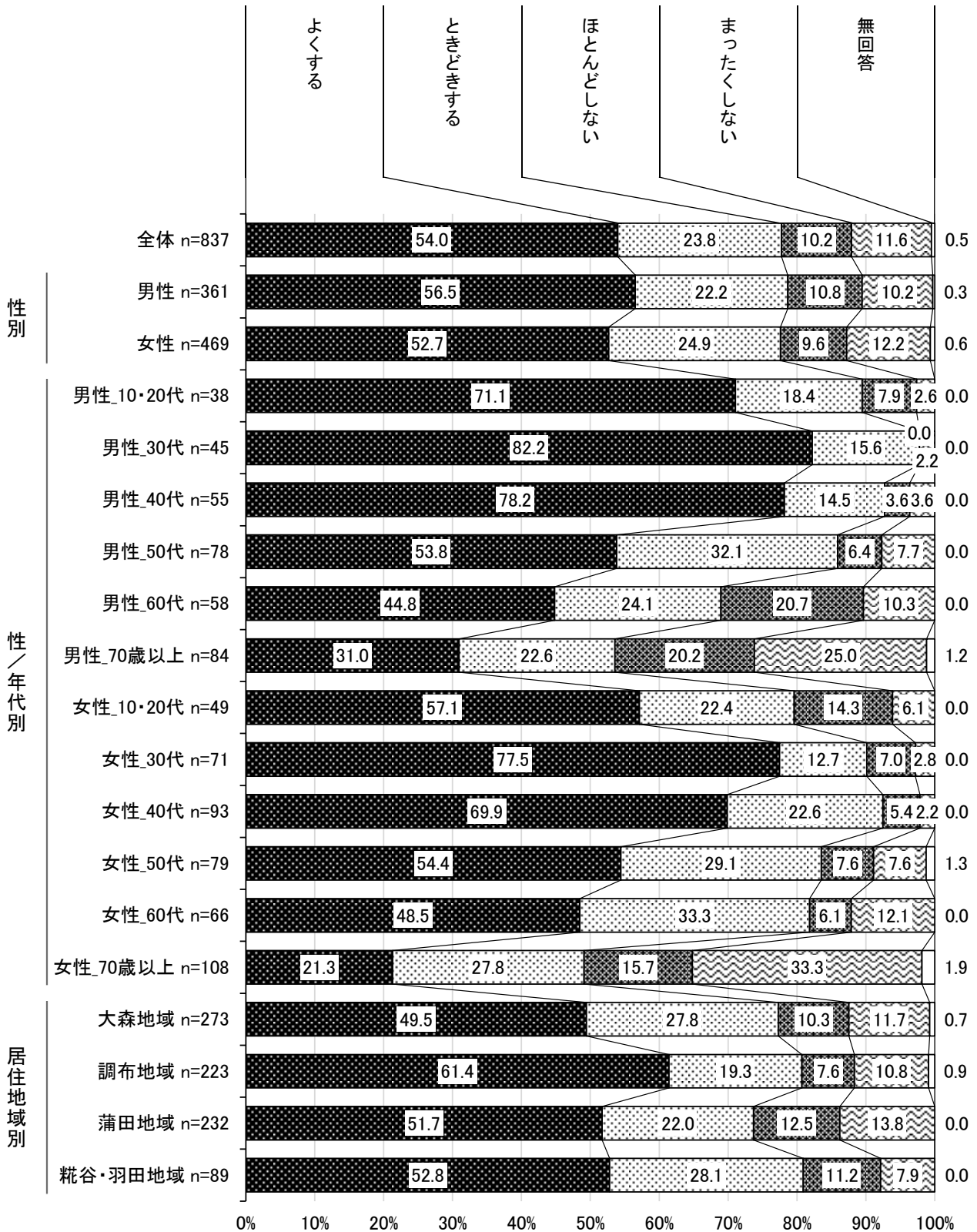


### ■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「よくする」は男性が56.5%、女性が52.7%と、男性が3.8ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「よくする」は男性30代で8割前半、男性10・20代、男性40代、女性30代で7割台となっている。

居住地域別でみると、「よくする」は調布地域で6割前半と高くなっている。



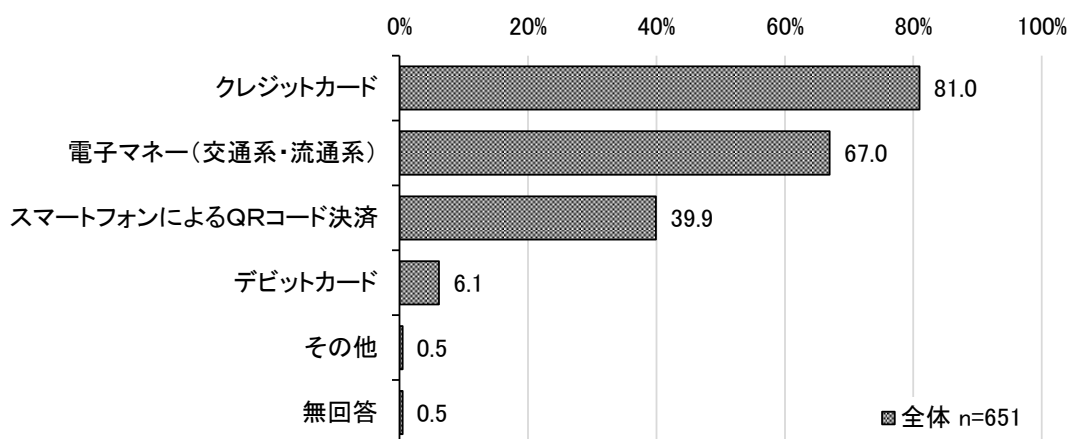
## (2) キャッシュレスの支払いで利用している手段

◇「クレジットカード」が約8割となっている

【問8で「よくする」「ときどきする」と回答した方に伺います。】

### 問8-1 現在、活用しているキャッシュレスの支払い手段は何ですか。(いくつでも)

キャッシュレスの支払いで利用している手段については、「クレジットカード」が81.0%で最も高く、次いで「電子マネー(交通系・流通系)」が67.0%、「スマートフォンによるQRコード決済」が39.9%となっている。

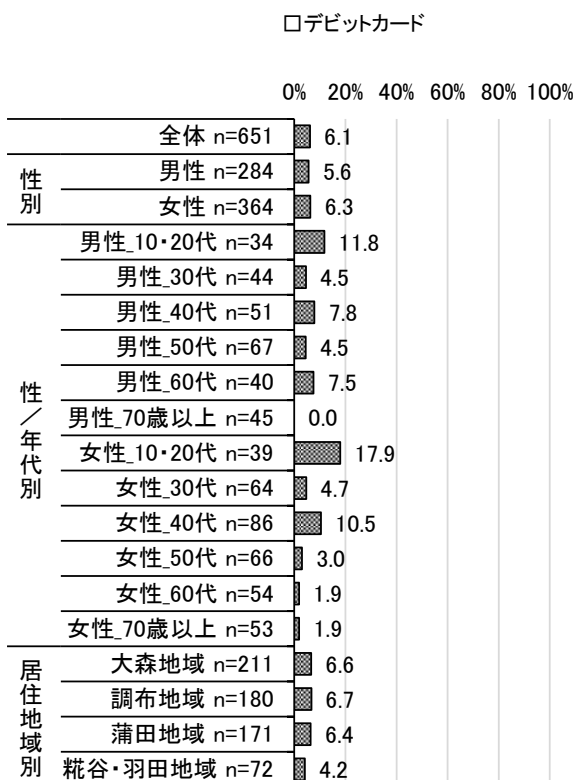
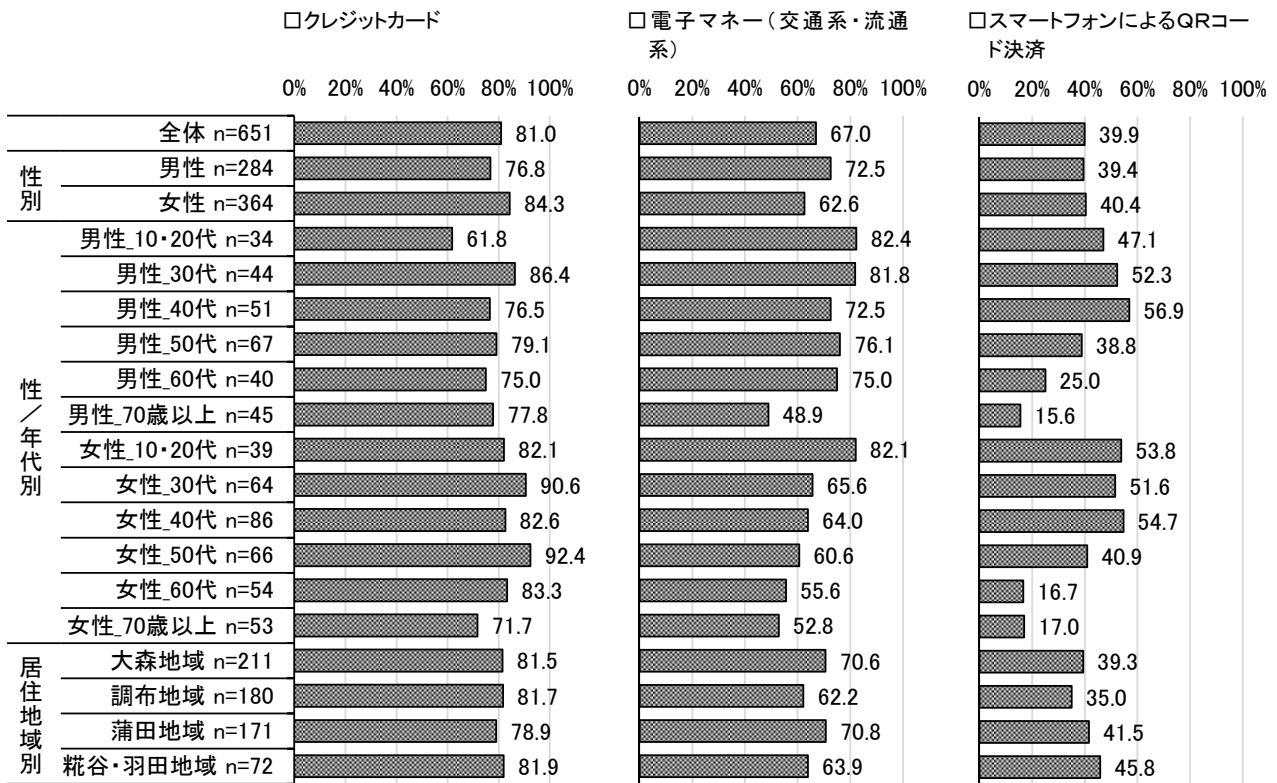


## ■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性、女性ともに「クレジットカード」が最も高く、男性が76.8%、女性が84.3%と、女性が7.5ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「クレジットカード」は女性30代、女性50代では9割台と高くなっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「クレジットカード」が最も高く、大森地域、調布地域、糀谷・羽田地域で8割前半となっている。



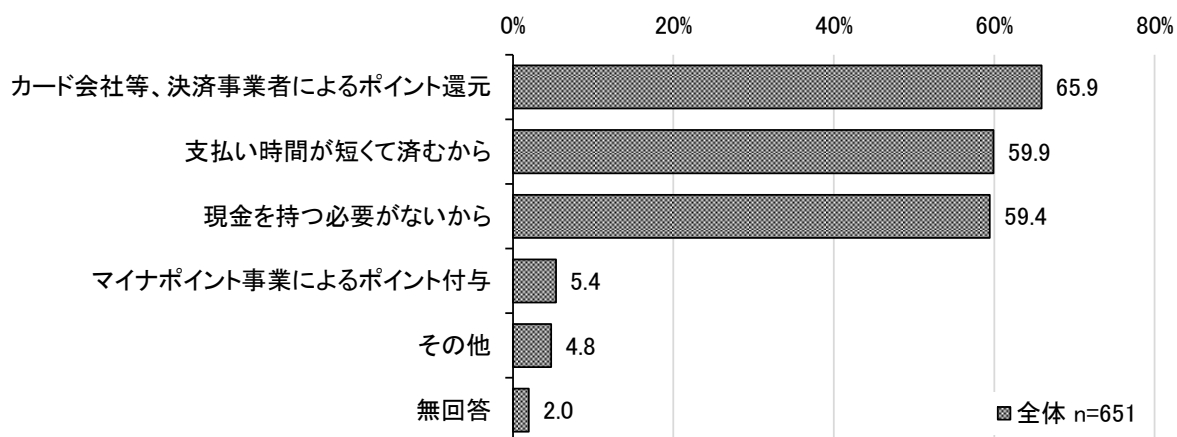
### (3) キャッシュレスで支払いをする理由

◇「カード会社等、決済事業者によるポイント還元」が6割半ばで最も高くなっている

【問8で「よくする」「ときどきする」と回答した方に伺います。】

#### 問8-2 キャッシュレスで支払いをする理由は何ですか。(いくつでも)

キャッシュレスで支払いをする理由については、「カード会社等、決済事業者によるポイント還元」が65.9%で最も高く、次いで「支払い時間が短くて済むから」が59.9%、「現金を持つ必要がないから」が59.4%となっている。

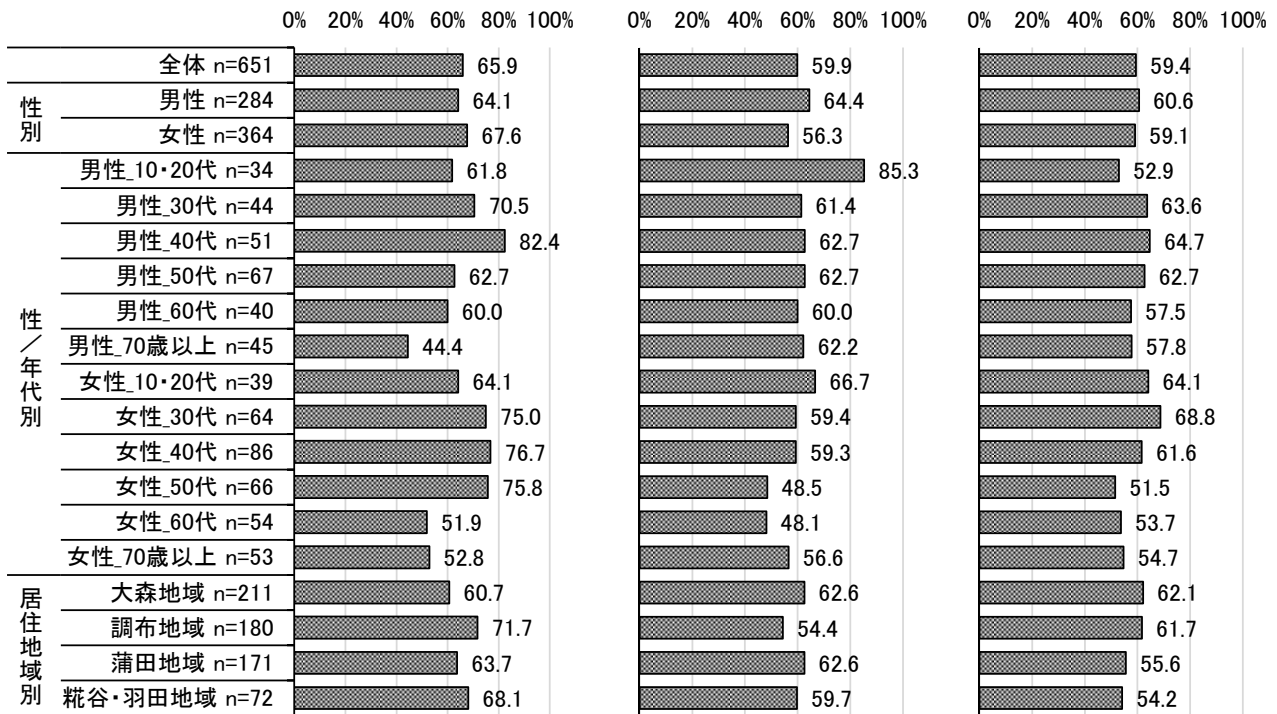


## ■性別・性／年代別・居住地域別

□カード会社等、決済事業者によるポイント還元

□支払い時間が短くて済むから

□現金を持つ必要がないから



□マイナポイント事業によるポイント付与



性別で見ると、男性では「支払い時間が短くて済むから」が最も高く、女性では「カード会社等、決済事業者によるポイント還元」が最も高くなっている。「支払い時間が短くて済むから」は男性が64.4%、女性が56.3%と、男性が8.1ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「カード会社等、決済事業者によるポイント還元」は男性40代で8割前半、男性30代、女性30代から50代で7割台となっている。「支払い時間が短くて済むから」は男性10・20代で8割半ばと高くなっている。

居住地域別で見ると、大森地域では「支払い時間が短くて済むから」が最も高く、調布地域、蒲田地域、糀谷・羽田地域では「カード会社等、決済事業者によるポイント還元」が最も高くなっている。

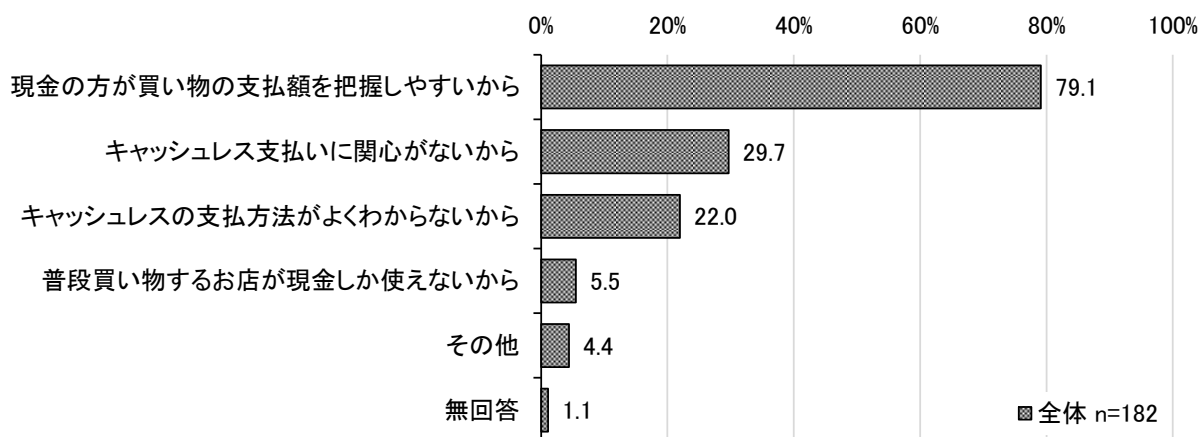
#### (4) キャッシュレスで支払いをしない理由

◇「現金の方が買い物の支払額を把握しやすいから」が約8割で最も高くなっている

【問8で「ほとんどしない」「まったくしない」と回答した方に伺います。】

##### 問8-3 キャッシュレスで支払いをしない（あまりしない）理由は何ですか。（いくつでも）

キャッシュレスで支払いをしない理由については、「現金の方が買い物の支払額を把握しやすいから」が79.1%で最も高く、次いで「キャッシュレス支払いに関心がないから」が29.7%、「キャッシュレスの支払方法がよくわからないから」が22.0%となっている。

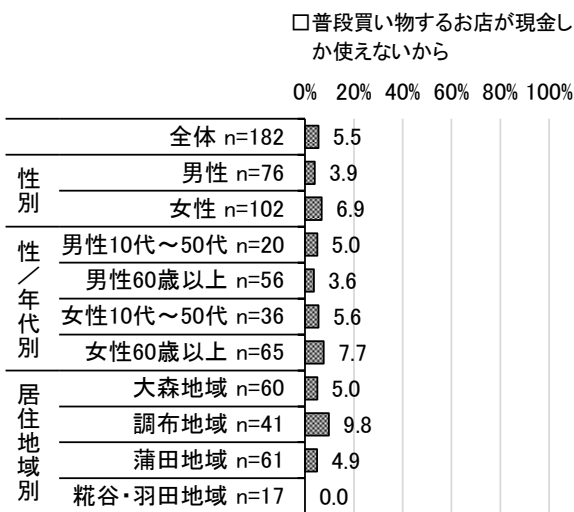
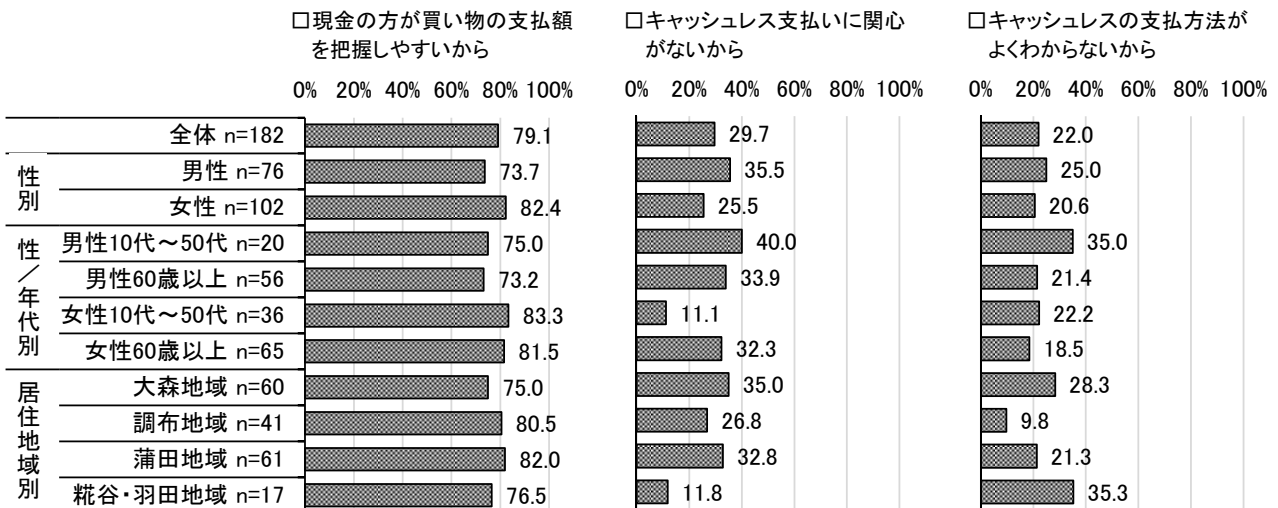




## ■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「現金の方が買い物の支払額を把握しやすいから」は男性が 73.7%、女性が 82.4%と、女性が 8.7 ポイント上回っている。「キャッシュレス支払いに関心がないから」は男性が 35.5%、女性が 25.5%と、男性が 10.0 ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「現金の方が買い物の支払額を把握しやすいから」は女性 10 代～50 代、女性 60 歳以上で 8 割前半となっている。



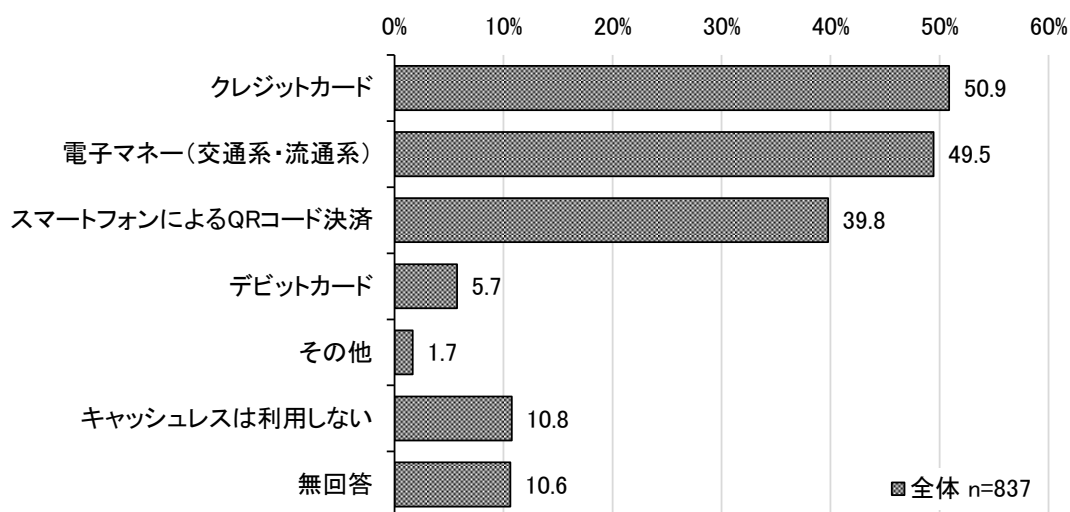
## (5) 今後、活用したいキャッシュレスでの支払いの手段

◇「クレジットカード」、「電子マネー（交通系・流通系）」が約5割となっている

### 問9 今後、活用したいキャッシュレスの支払い手段は何ですか。(いくつでも)

今後、活用したいキャッシュレスでの支払いの手段については、「クレジットカード」が50.9%で最も高く、次いで「電子マネー（交通系・流通系）」が49.5%、「スマートフォンによるQRコード決済」が39.8%となっている。

なお、「キャッシュレスは利用しない」は10.8%となっている。

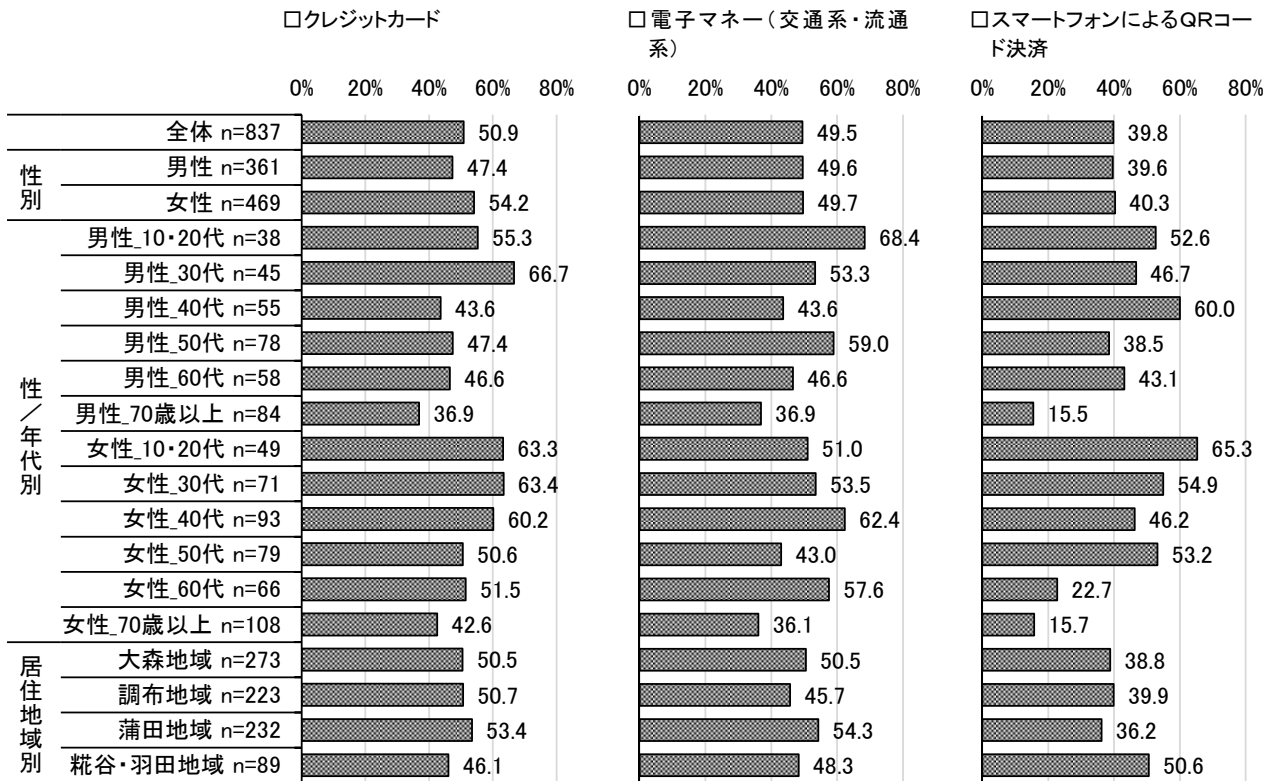


## ■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性では「電子マネー（交通系・流通系）」が最も高く、女性では「クレジットカード」が最も高くなっている。「クレジットカード」は男性が47.4%、女性が54.2%と、女性が6.8ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「クレジットカード」は男性30代、女性10・20代から40代で6割台となっている。

居住地域別でみると、「スマートフォンによるQRコード決済」は糀谷・羽田地域で約5割と高くなっている。



## 5 まちづくりについて

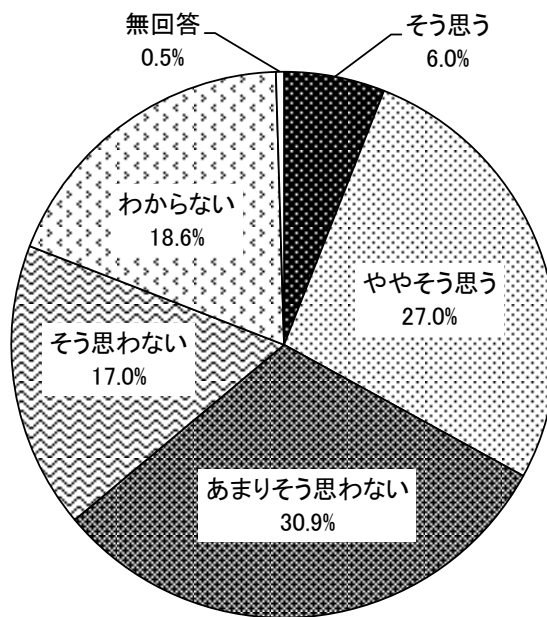
### (1) 活力・国際性のある都市づくりの進捗状況

◇《思う》(「そう思う」、「ややそう思う」の合計値)は3割前半となっている

#### 問 10 大田区では、活力・国際性のある都市づくりが進んでいると思いますか。(1つのみ)

活力・国際性のある都市づくりの進捗状況については、「そう思う」、「ややそう思う」の合計値《思う》が33.0%である一方で、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計値《思わない》が47.9%と、《思わない》が14.9ポイント上回っている。

全体 n=837

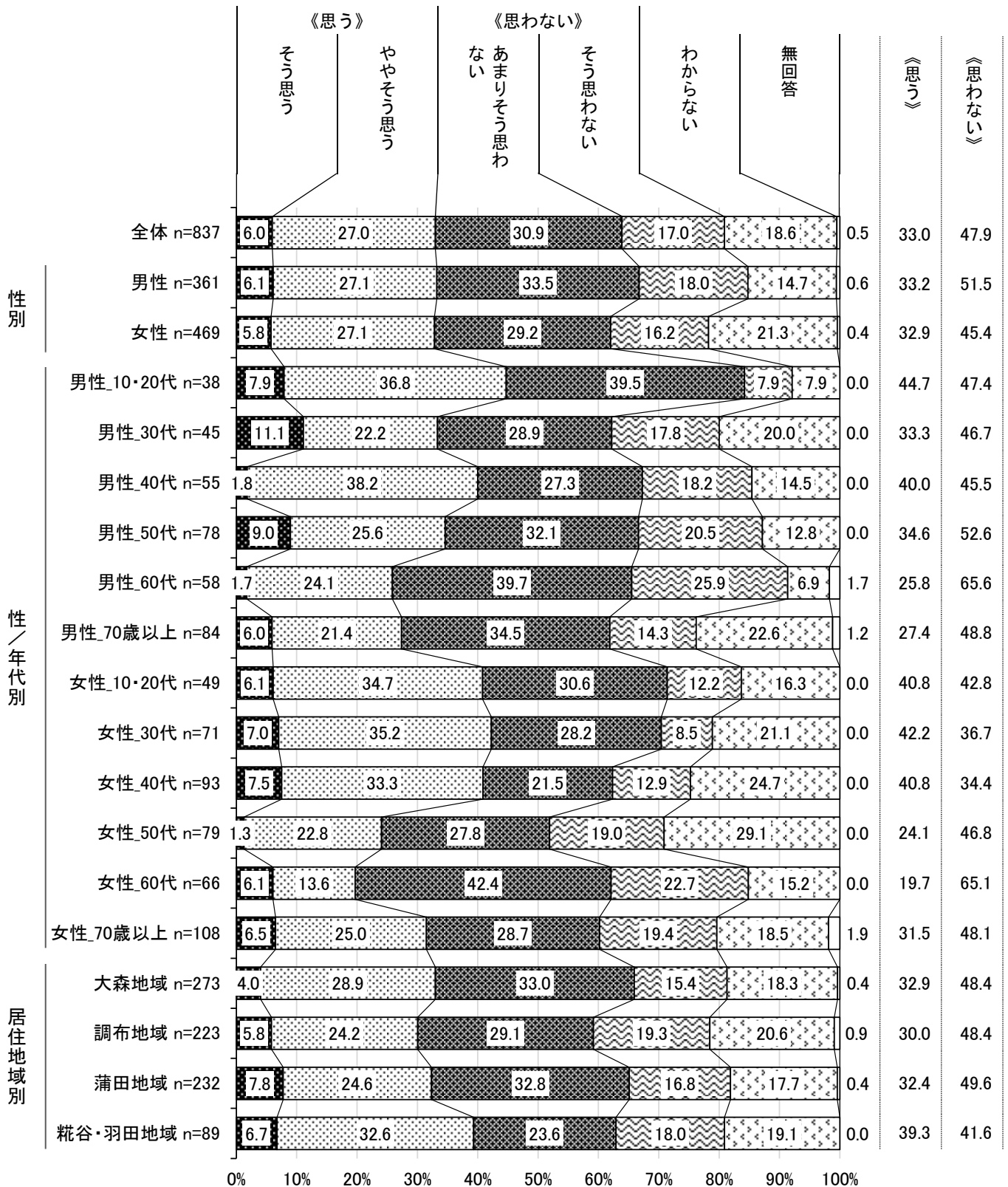


### ■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《思う》に大きな差はみられないものの、《思わない》では男性が51.5%、女性が45.4%と、男性が6.1ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《思う》は男性では10・20代で4割半ば、女性では30代で4割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、《思う》は糀谷・羽田地域で約4割と高くなっている。



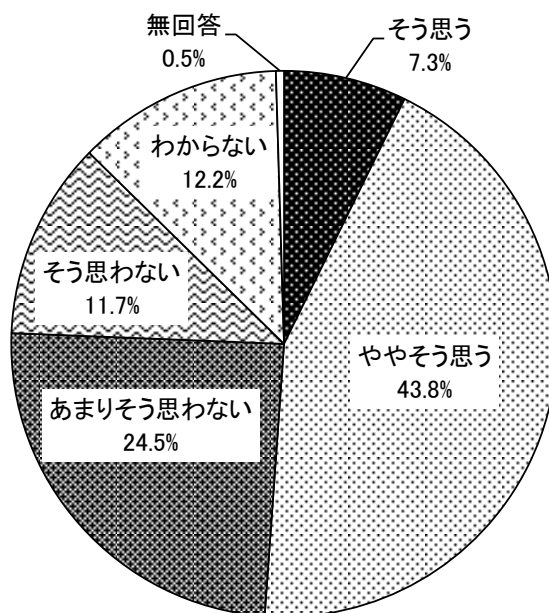
## (2) 暮らしやすい都市づくりの進捗状況

◇ 《思う》（「そう思う」、「ややそう思う」の合計値）は5割前半となっている

### 問 11 大田区では、暮らしやすい都市づくりが進んでいると思いますか。（1つのみ）

暮らしやすい都市づくりの進捗状況については、「そう思う」、「ややそう思う」の合計値《思う》が 51.1%である一方で、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計値《思わない》が 36.2%と、《思う》が 14.9 ポイント上回っている。

全体 n=837

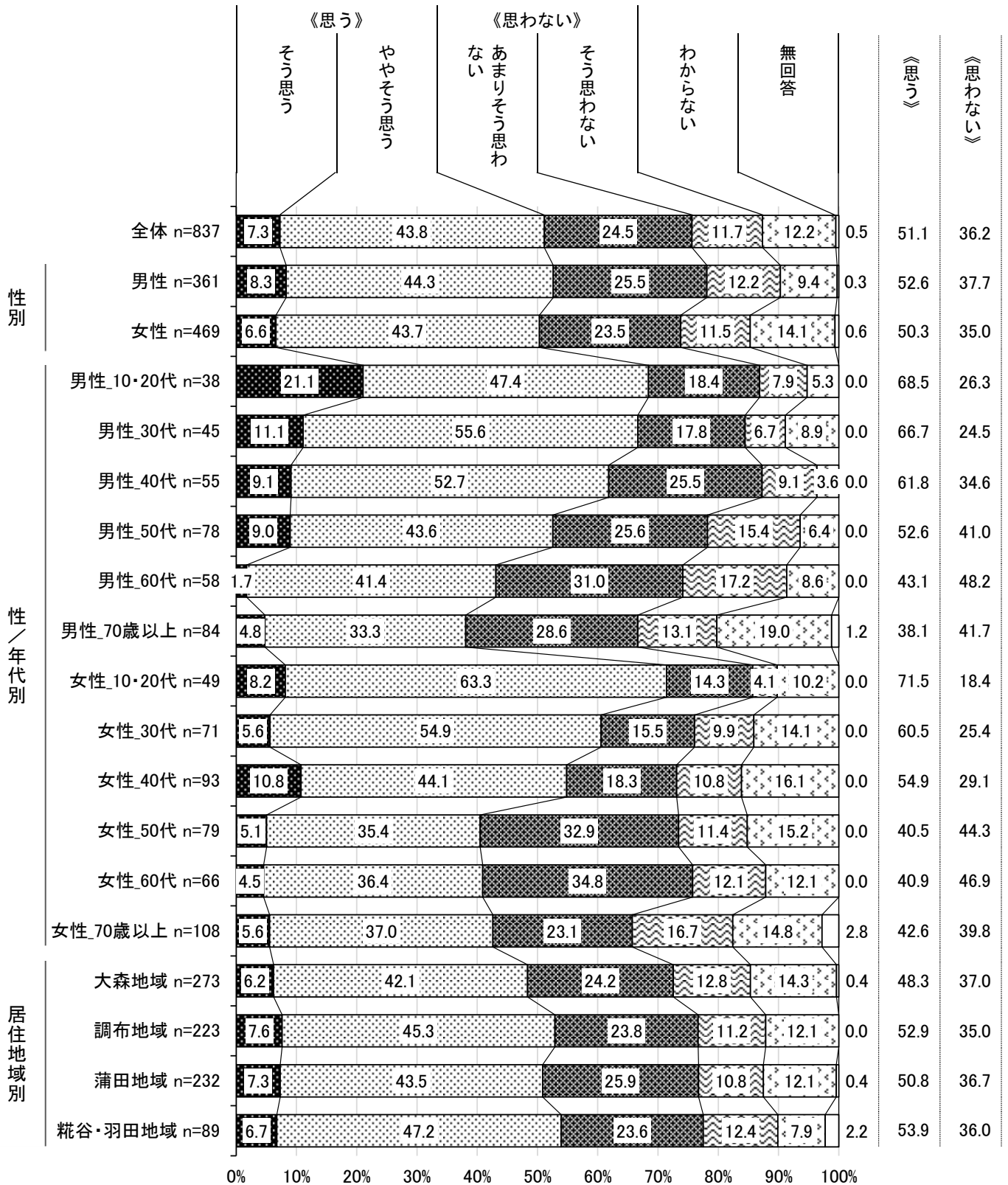


### ■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、《思う》は男性では10・20代、30代で7割弱、女性では10・20代で7割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、《思う》は調布地域、糀谷・羽田地域で5割前半と高くなっている。



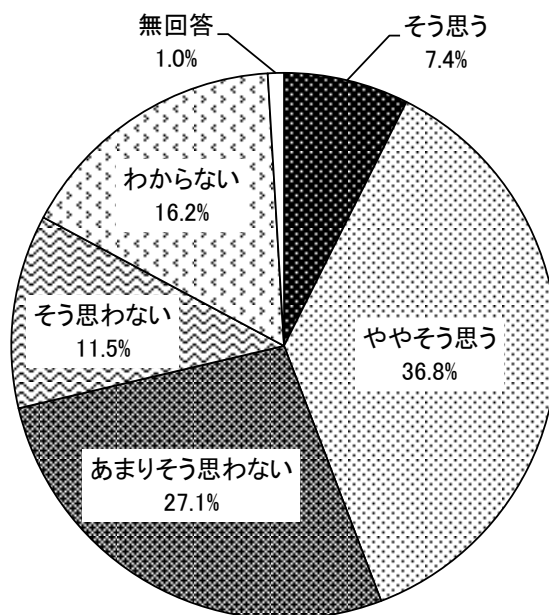
### (3) 安全・安心な都市づくりの進捗状況

◇《思う》(「そう思う」、「ややそう思う」の合計値)は4割半ばとなっている

#### 問 12 大田区では、安全・安心な都市づくりが進んでいると思いますか。(1つのみ)

安全・安心な都市づくりの進捗状況については、「そう思う」、「ややそう思う」の合計値《思う》が44.2%である一方で、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計値《思わない》が38.6%と、《思う》が5.6ポイント上回っている。

全体 n=837



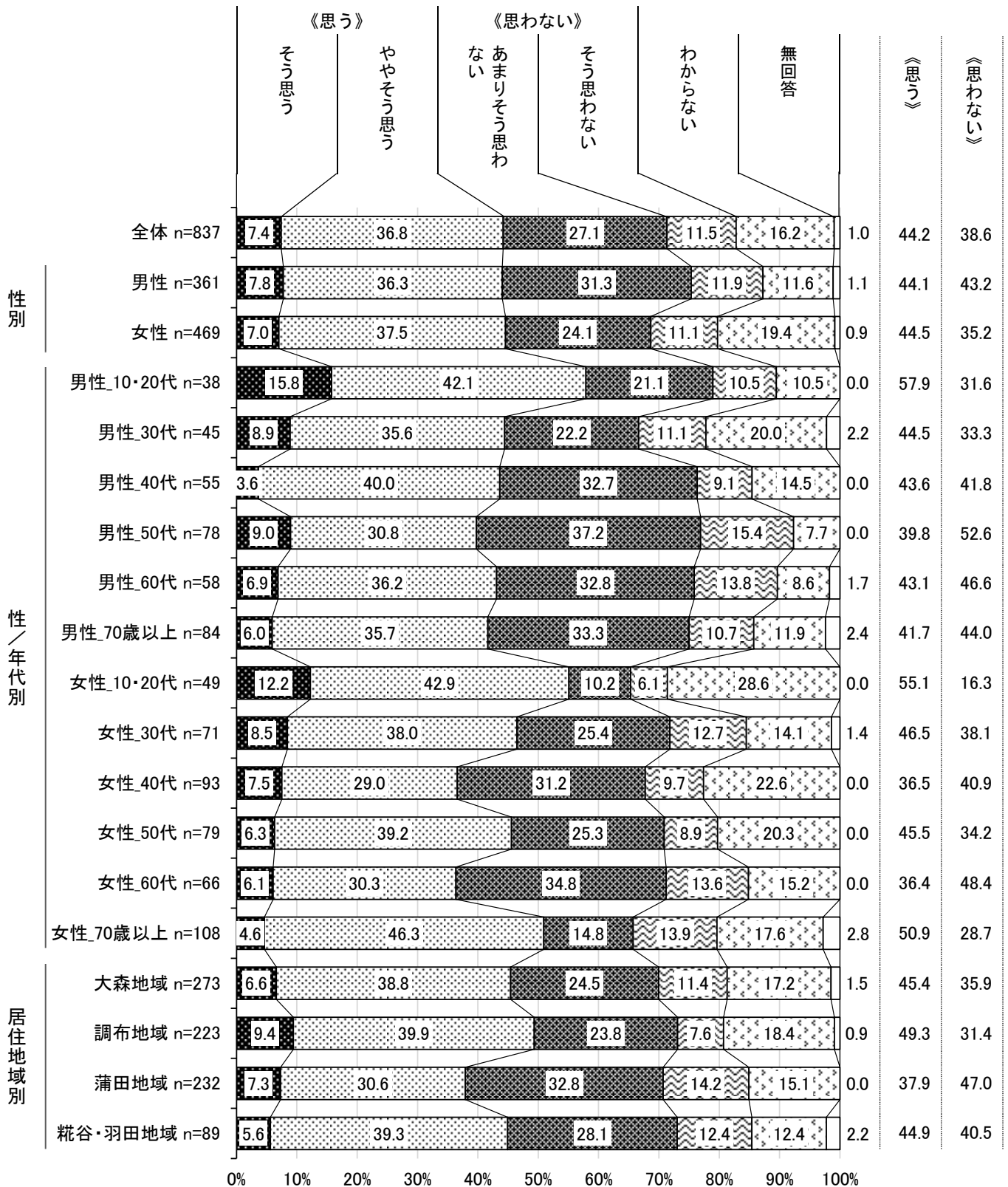


### ■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《思う》に大きな差はみられないものの、《思わない》では男性が43.2%、女性が35.2%と、男性が8.0ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《思う》は男性では10・20代で6割弱、女性では10・20代で5割半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、《思う》は調布地域で約5割と高くなっている。



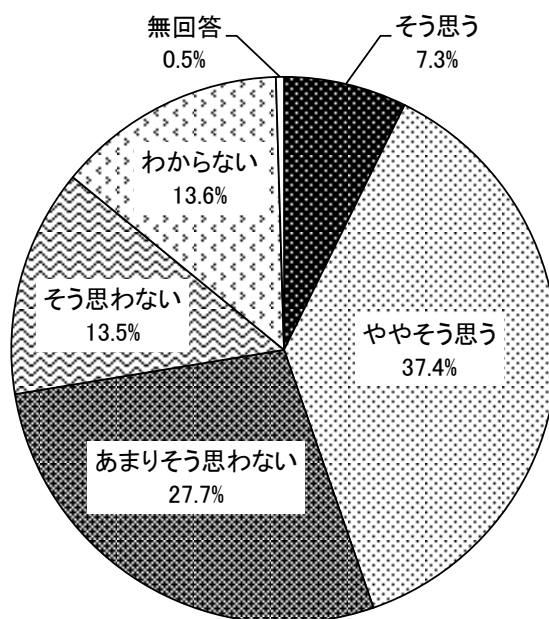
#### (4) 環境に配慮した都市づくりの進捗状況

◇ 《思う》(「そう思う」、「ややそう思う」の合計値)は4割半ばとなっている

##### 問 13 大田区では、環境に配慮した都市づくりが進んでいると思いますか。(1つのみ)

環境に配慮した都市づくりの進捗状況については、「そう思う」、「ややそう思う」の合計値《思う》が44.7%である一方で、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計値《思わない》が41.2%と、《思う》が3.5ポイント上回っている。

全体 n=837

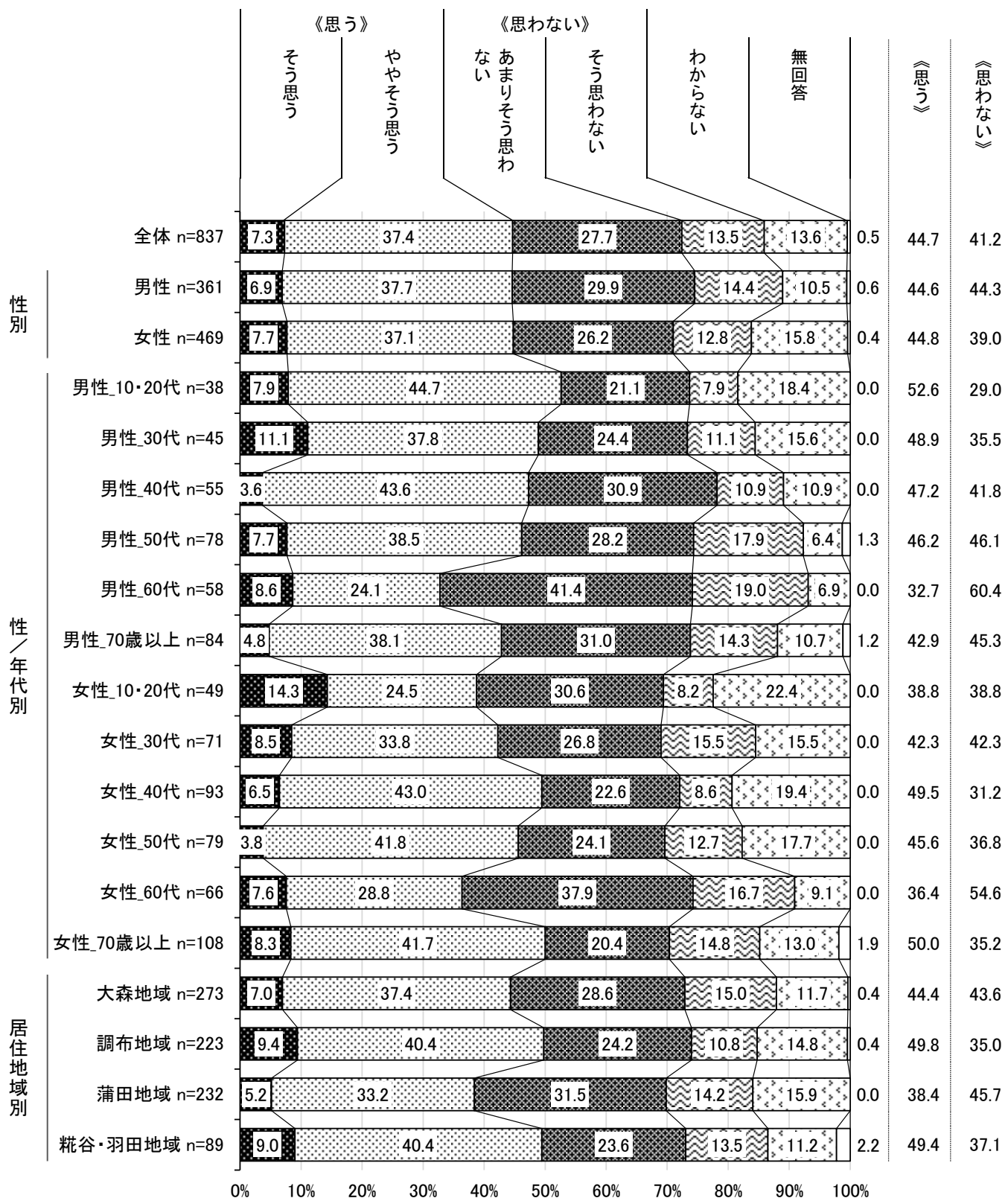


### ■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《思う》に大きな差はみられないものの、《思わない》では男性が44.3%、女性が39.0%と、男性が5.3ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《思う》は男性では10・20代で5割前半、女性では40代、70歳以上で約5割と高くなっている。

居住地域別でみると、《思う》は調布地域で約5割と高くなっている。



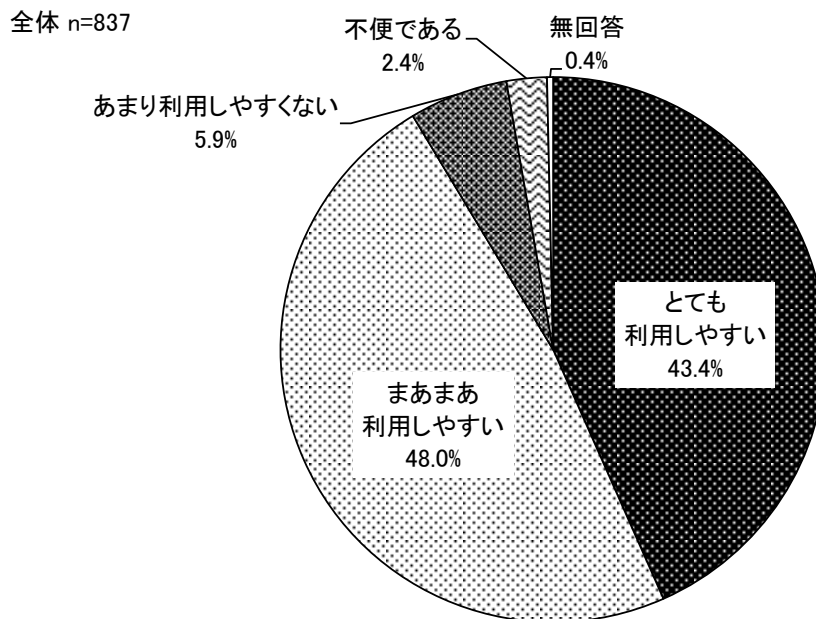
## 6 公共交通機関について

### (1) 公共交通機関の環境

◇「とても利用しやすい」は4割前半となっている

#### 問 14 自宅の近くにバス停や駅があるなど、公共交通機関が利用しやすい環境ですか。(1つのみ)

公共交通機関の環境については、「まあまあ利用しやすい」が48.0%で最も高く、次いで「とても利用しやすい」が43.4%、「あまり利用しやすすくない」が5.9%となっている。

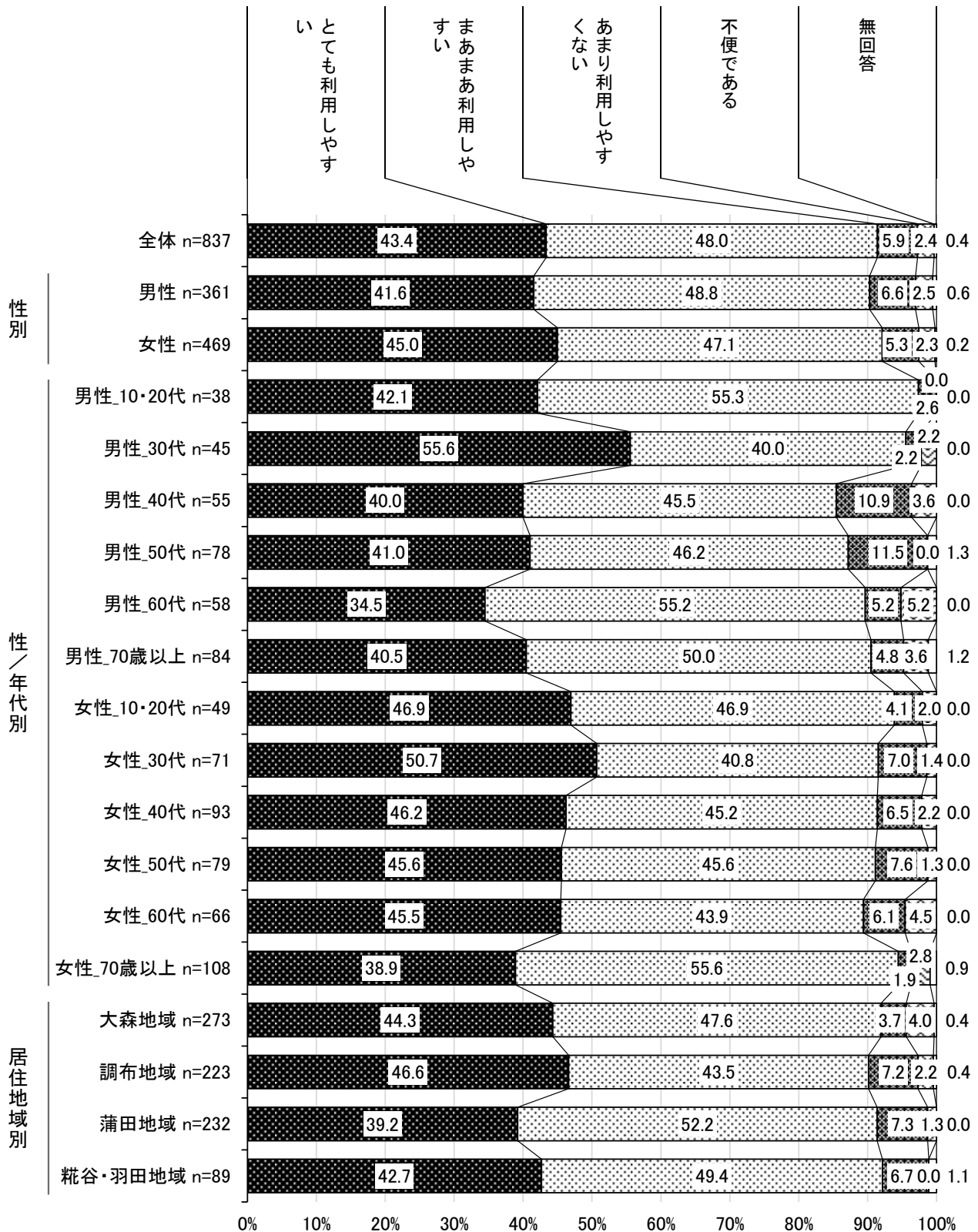


### ■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「とても利用しやすい」は男性が41.6%、女性が45.0%と、女性が3.4ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「とても利用しやすい」は男性では30代で5割半ば、女性では30代で約5割となっている。

居住地域別でみると、「とても利用しやすい」は調布地域で5割弱と高くなっている。

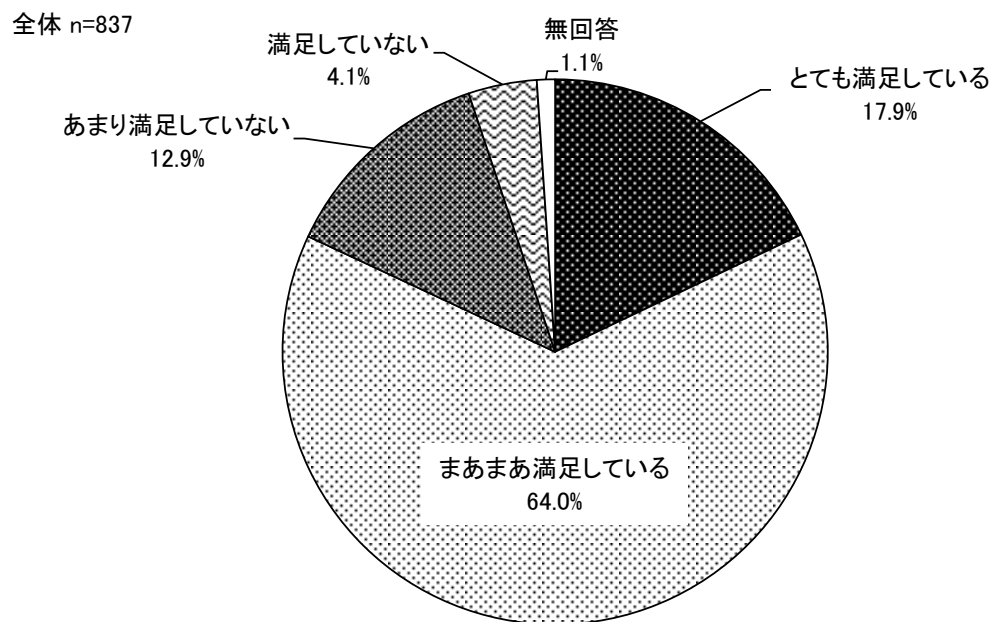


## (2) 大田区内の公共交通網への満足度

◇「とても満足している」は2割弱となっている

### 問 15 大田区内の公共交通網に満足していますか。(1つのみ)

大田区内の公共交通網への満足度については、「とても満足している」、「まあまあ満足している」の合計値《満足している》が81.9%である一方で、「あまり満足していない」、「満足していない」の合計値《満足していない》が17.0%と、《満足している》が64.9ポイント上回っている。

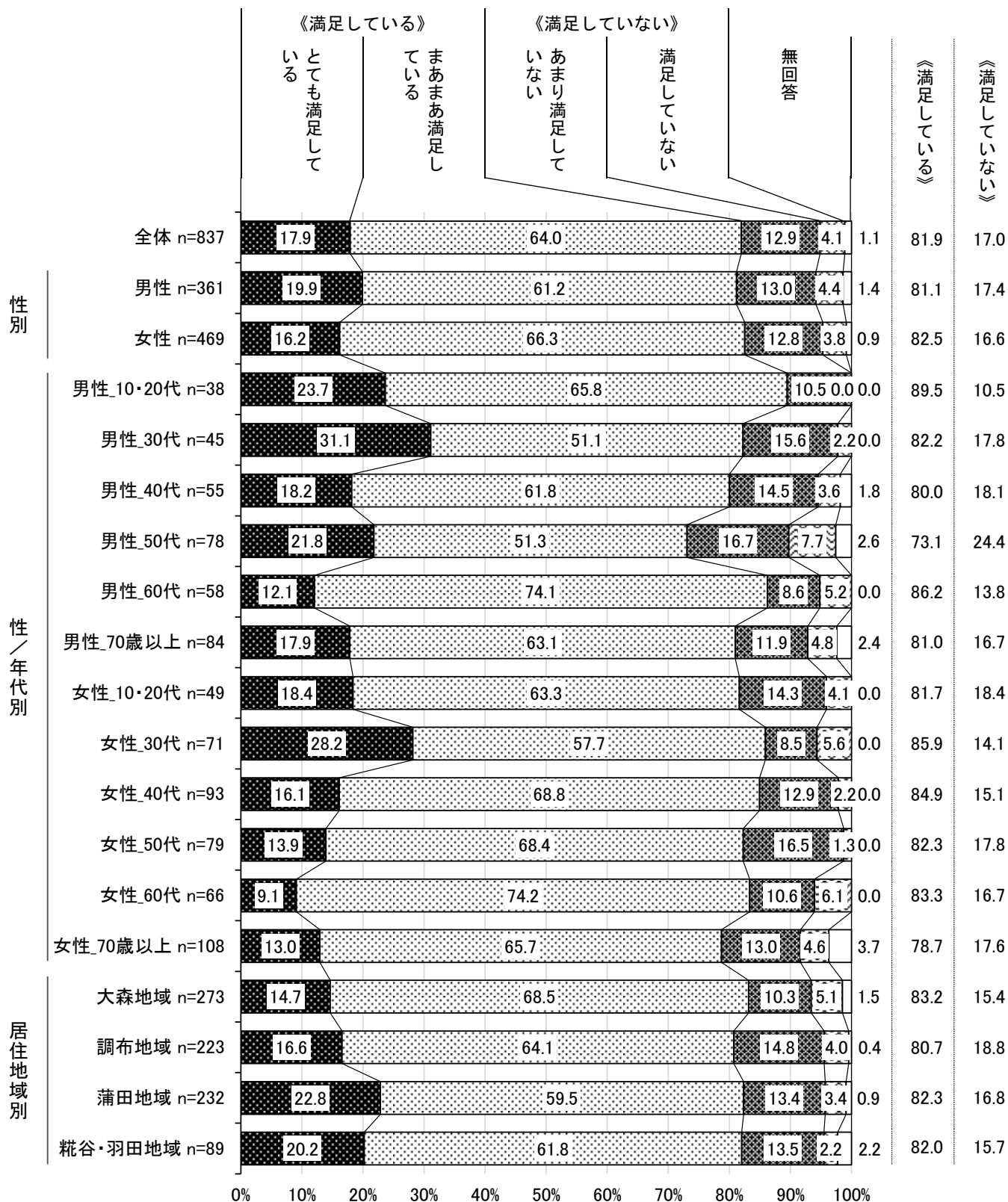


### ■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、《満足している》は男性 50 代、女性 70 歳以上を除き 8 割台となっている。

居住地域別でみると、すべての地域で《満足している》が 8 割台となっている。



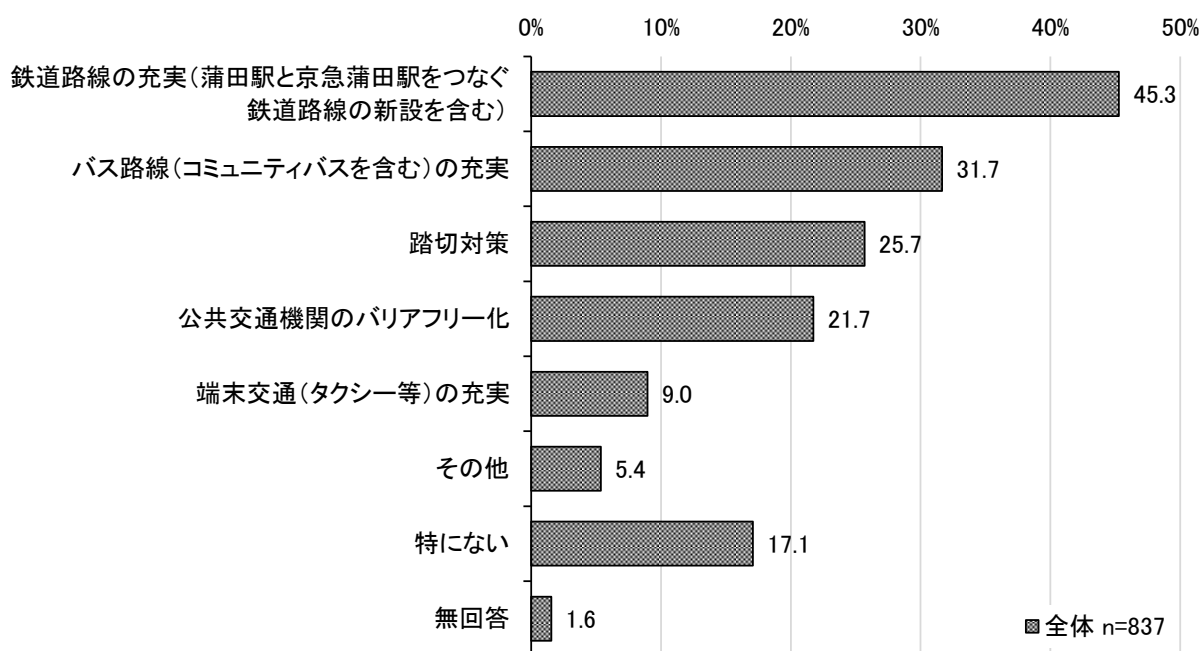
### (3) 早期に実現してほしい大田区内の公共交通対策

◇「鉄道路線の充実（蒲田駅と京急蒲田駅をつなぐ鉄道路線の新設を含む）」が4割半ばで最も高くなっている

#### 問 16 アfterコロナにおいて、大田区内の公共交通対策の中で、早期に実現してほしいものがありますか。（いくつでも）

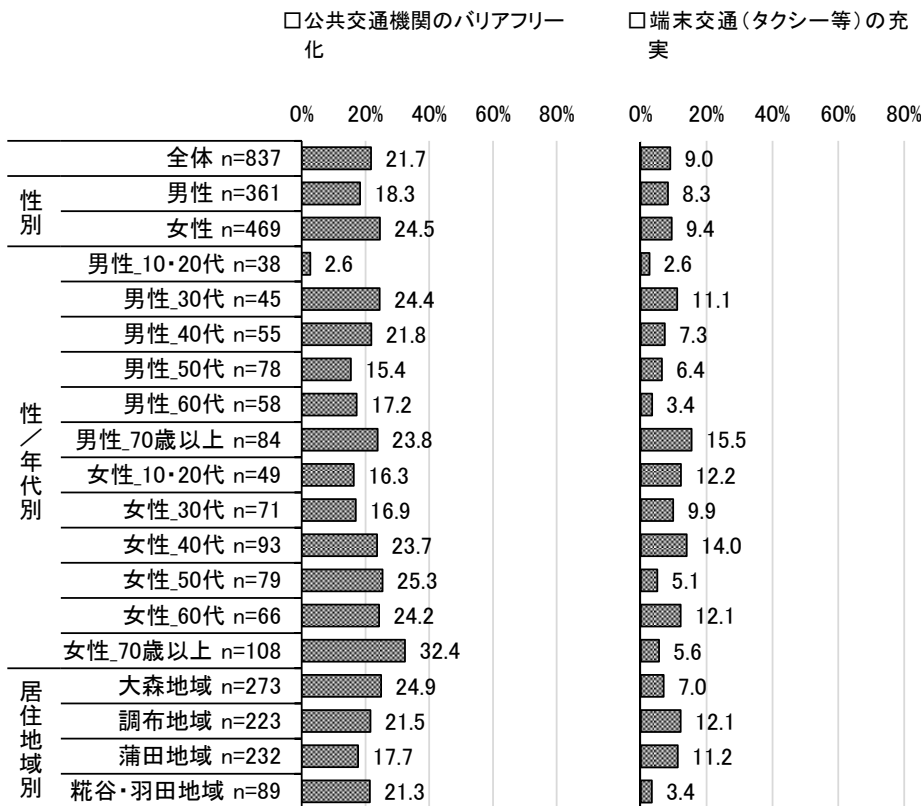
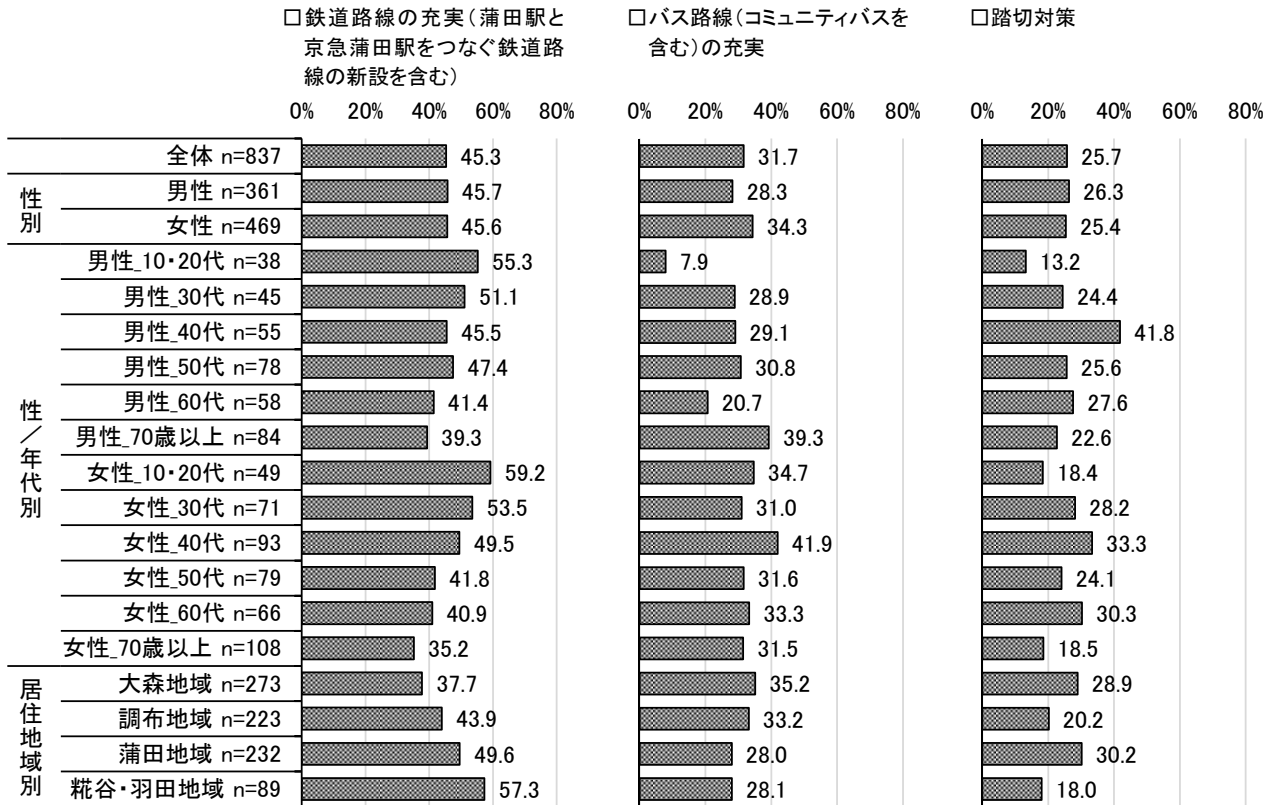
早期に実現してほしい大田区内の公共交通対策については、「鉄道路線の充実（蒲田駅と京急蒲田駅をつなぐ鉄道路線の新設を含む）」が45.3%で最も高く、次いで「バス路線（コミュニティバスを含む）の充実」が31.7%、「踏切対策」が25.7%となっている。

なお、「特にない」は17.1%となっている。





## ■性別・性／年代別・居住地域別



性別で見ると、男性、女性ともに「鉄道路線の充実（蒲田駅と京急蒲田駅をつなぐ鉄道路線の新設を含む）」が最も高くなっている。

性／年代別で見ると、「鉄道路線の充実（蒲田駅と京急蒲田駅をつなぐ鉄道路線の新設を含む）」は男性、女性ともに年代が下がるにつれて増加傾向であり、男性 10・20 代で 5 割半ば、女性 10・20 代で約 6 割となっている。「踏切対策」は男性 40 代で 4 割前半と高くなっている。

居住地域別で見ると、すべての地域で「鉄道路線の充実（蒲田駅と京急蒲田駅をつなぐ鉄道路線の新設を含む）」が最も高く、糀谷・羽田地域で 6 割弱となっている。

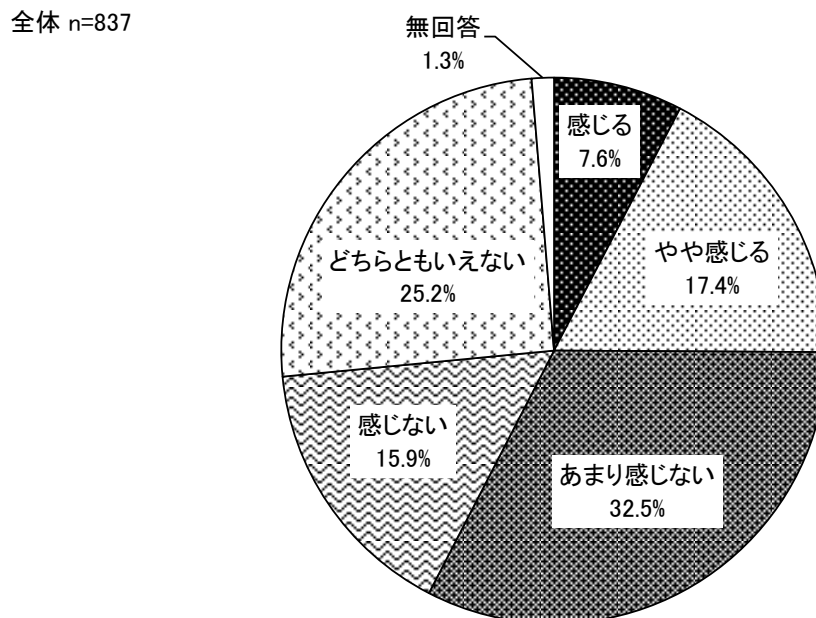
## 7 空港臨海部について

### (1) 空港臨海部へのアクセス

◇ 《感じる》（「感じる」、「やや感じる」の合計値）は2割半ばとなっている

**問 17** バス、車、自転車等で空港臨海部の埋立島部（平和島、昭和島、京浜島、東海、城南島、令和島）へ訪れやすくなったと感じますか。（1つのみ）

空港臨海部へアクセスしやすいと感じるかについては、「感じる」、「やや感じる」の合計値《感じる》が25.0%である一方で、「あまり感じない」、「感じない」の合計値《感じない》が48.4%と、《感じる》が23.4ポイント上回っている。

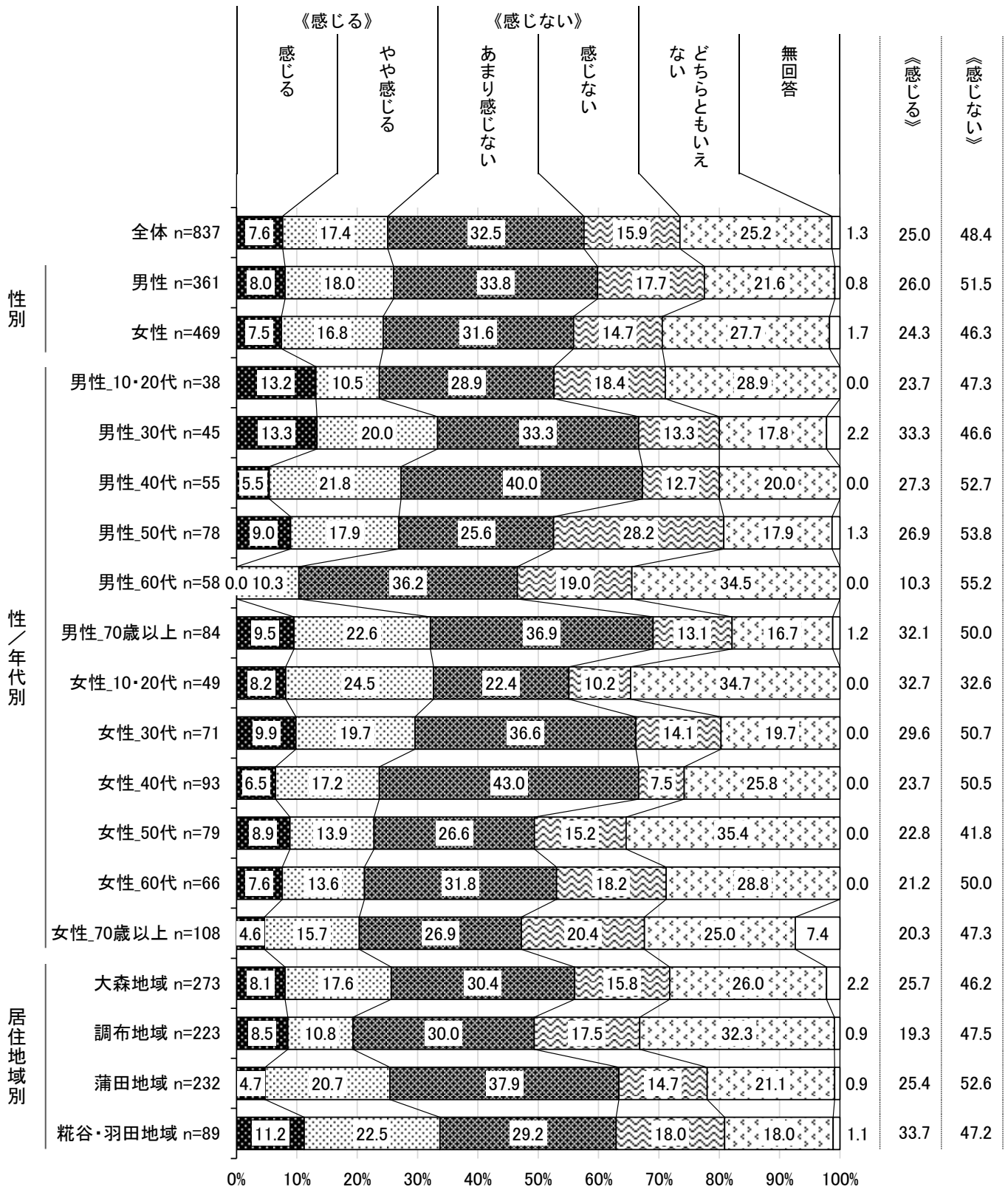


### ■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《感じる》に大きな差はみられないものの、《感じない》では男性が 51.5%、女性が 46.3%と、男性が 5.2 ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《感じる》は男性では 30 代、70 歳以上で 3 割前半、女性では 10・20 代で 3 割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、《感じる》は糞谷・羽田地域で 3 割前半と高くなっている。



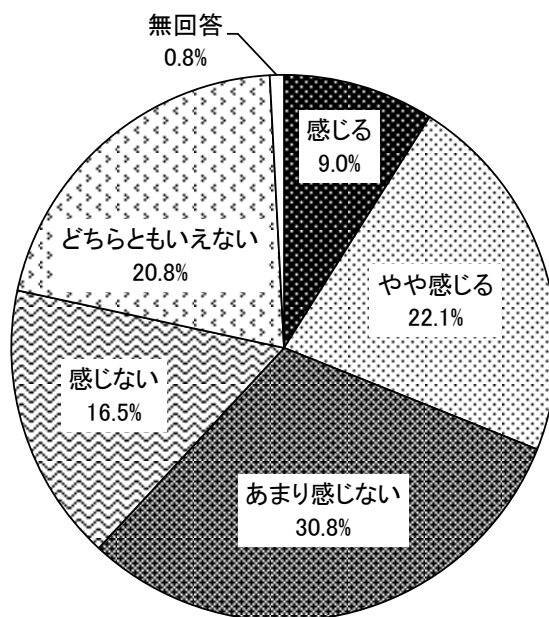
## (2) 空港臨海部の魅力度

◇ 《感じる》（「感じる」、「やや感じる」の合計値）は3割前半となっている

### 問 18 遊ぶ場所、働く場所として空港臨海部に魅力を感じますか。（1つのみ）

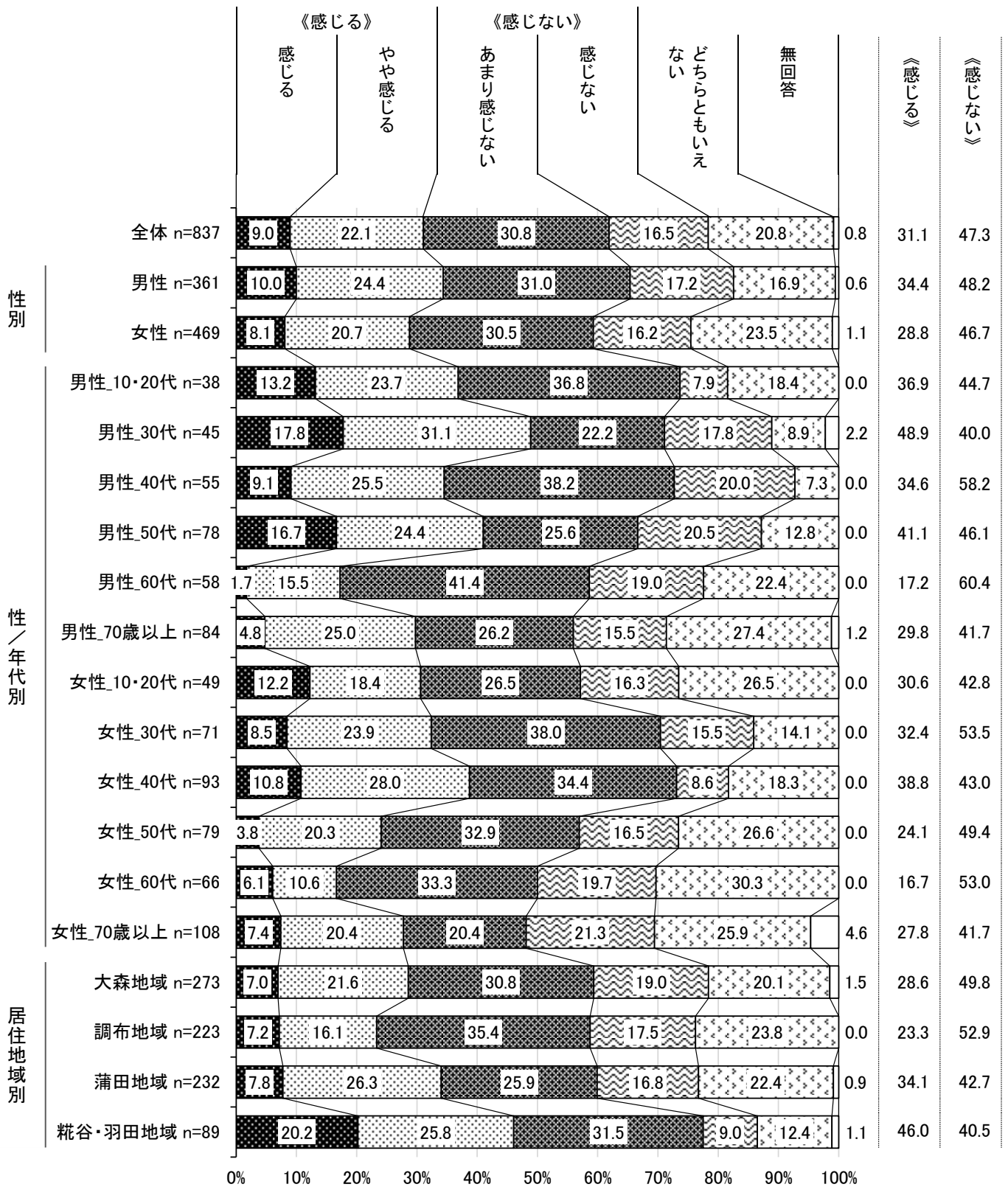
空港臨海部に魅力を感じるかについては、「感じる」、「やや感じる」の合計値《感じる》が31.1%である一方で、「あまり感じない」、「感じない」の合計値《感じない》が47.3%と、《感じる》が16.2ポイント上回っている。

全体 n=837



### ■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《感じる》は男性が34.4%、女性が28.8%と、男性が5.6ポイント上回っている。  
 性／年代別でみると、《感じる》は男性では30代で5割弱、女性では40代で4割弱と高くなっている。  
 居住地域別でみると、《感じる》は糀谷・羽田地域で4割半ばと高くなっている。



## 8 羽田空港跡地について

### (1) 「羽田空港跡地第1ゾーン整備事業」を認知したきっかけ

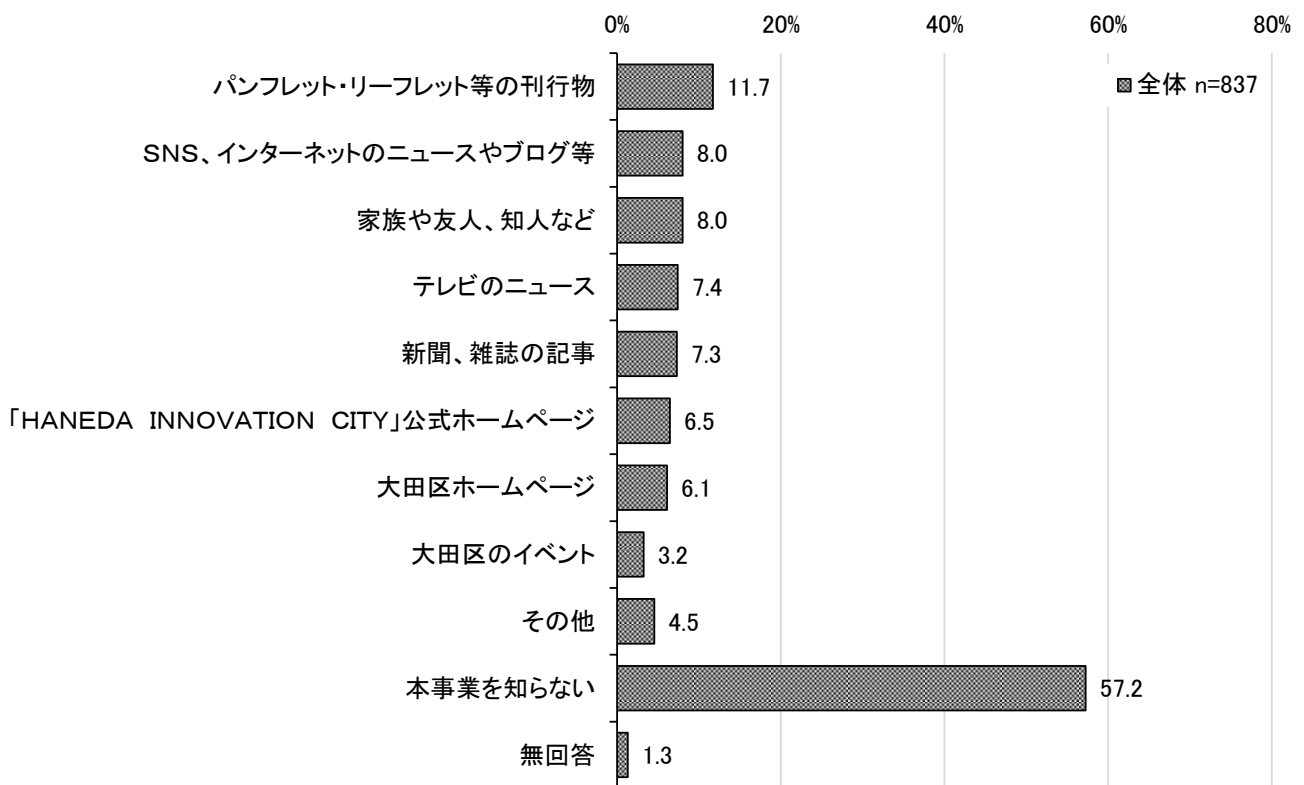
◇「本事業を知らない」が6割弱となっている

◇認知したきっかけは「パンフレット・リーフレット等の刊行物」が1割前半で最も高くなっている

**問 19 空港の沖合移転に伴い発生した天空橋駅周辺の羽田空港跡地のまちづくり「羽田空港跡地第1ゾーン整備事業」が進められていることについて、どのように知りましたか。(いくつでも)**

“羽田空港跡地第1ゾーン整備事業”を認知したきっかけについては、「パンフレット・リーフレット等の刊行物」が11.7%で最も高く、次いで「SNS、インターネットのニュースやブログ等」、「家族や友人、知人など」がともに8.0%、「テレビのニュース」が7.4%となっている。

なお、「本事業を知らない」は57.2%となっている。

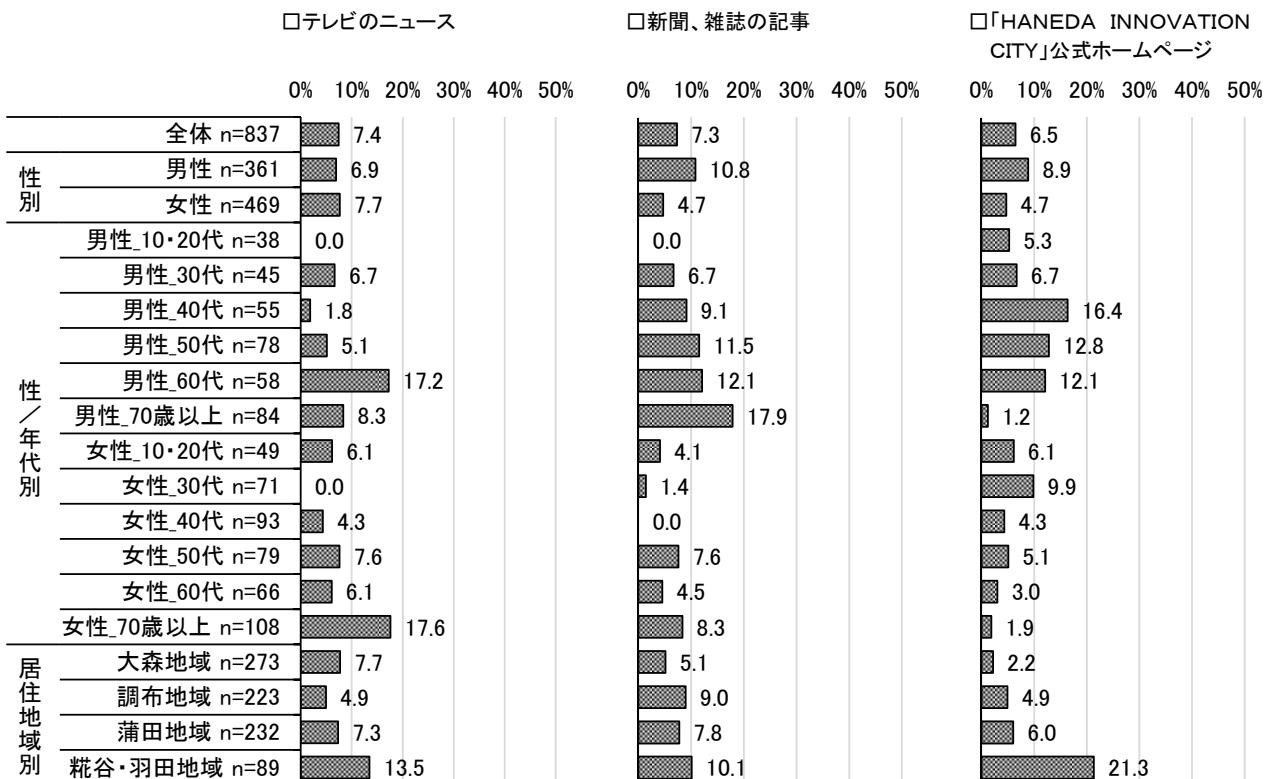
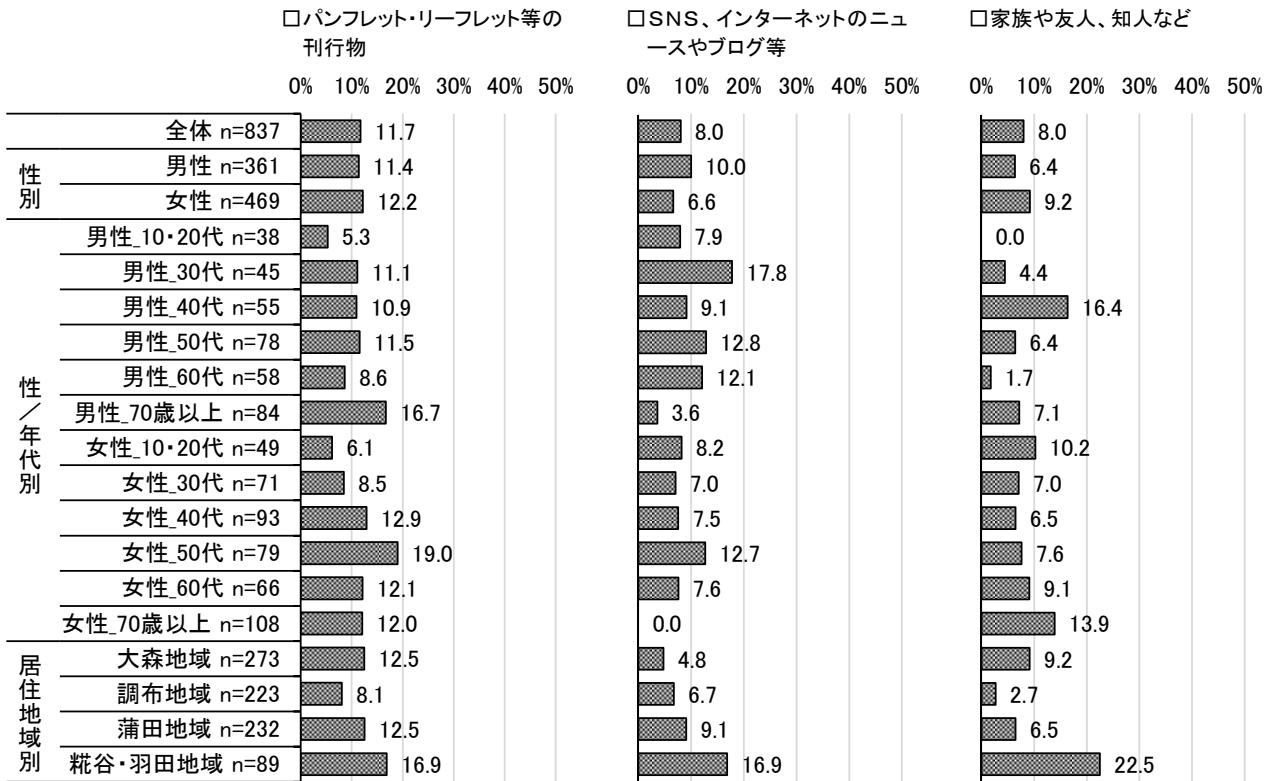


## ■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、男性、女性ともに「パンフレット・リーフレット等の刊行物」が最も高くなっている。

性／年代別でみると、「『HANEDA INNOVATION CITY』公式ホームページ」は男性40代から60代で1割台となっている。

居住地域別でみると、大森地域、蒲田地域では「パンフレット・リーフレット等の刊行物」が、調布地域では「新聞、雑誌の記事」が、糀谷・羽田地域では「家族や友人、知人など」が最も高くなっている。





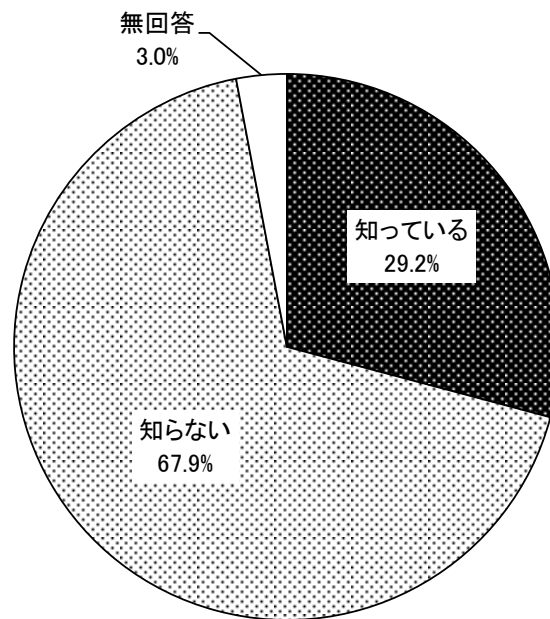
## (2) 「羽田イノベーションシティ」の認知度

◇「知っている」は約3割となっている

**問 20 「羽田空港跡地第1ゾーン整備事業」の第一期事業（羽田イノベーションシティ）について  
知っていますか。（1つのみ）**

“羽田イノベーションシティ”の認知度については、「知っている」が29.2%、「知らない」が67.9%と、「知らない」が38.7ポイント上回っている。

全体 n=837

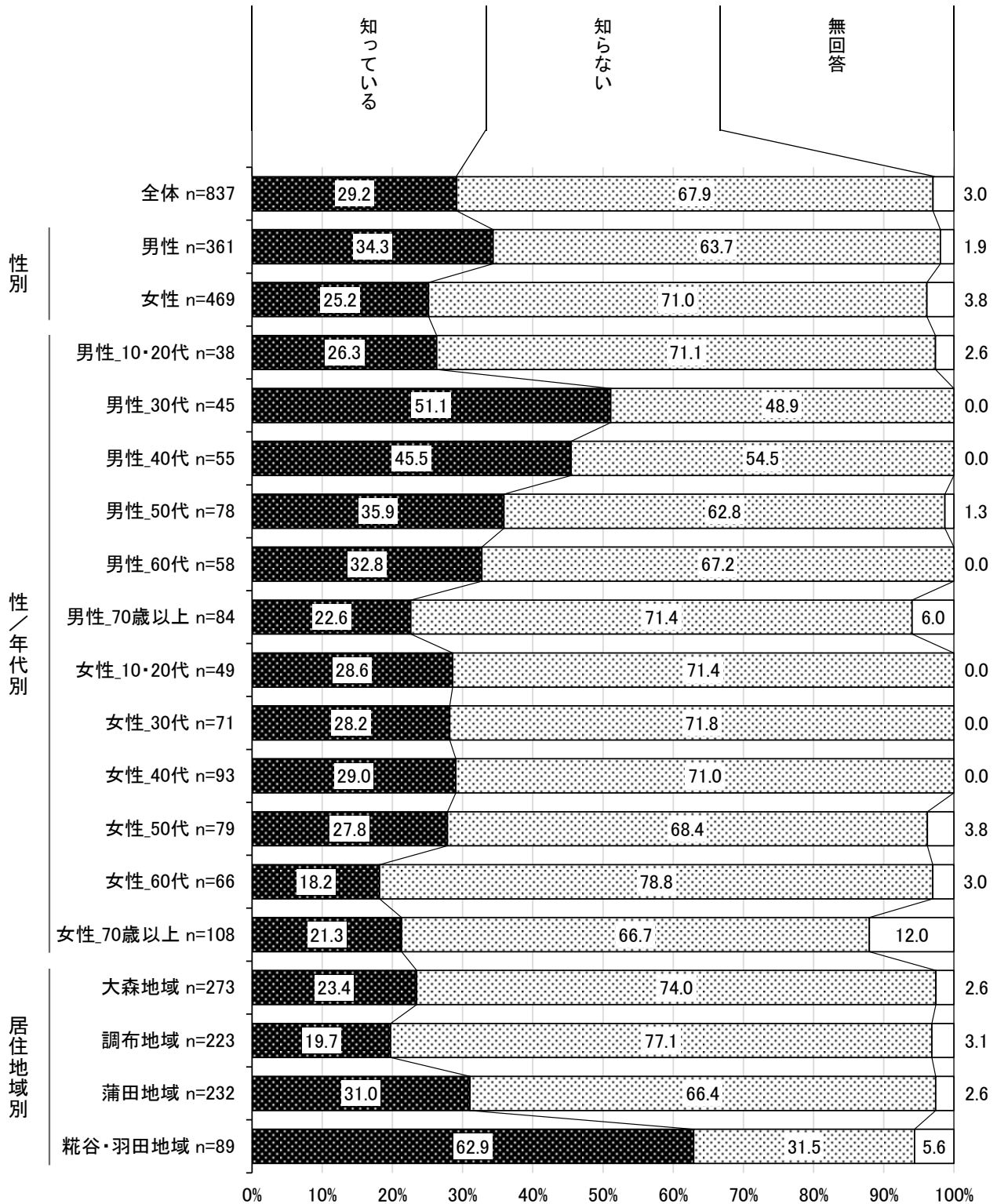


### ■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「知っている」は男性が34.3%、女性が25.2%と、男性が9.1ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「知っている」は男性では30代で5割前半と高くなっている。女性では10・20代から50代で3割弱となっている。

居住地域別でみると、「知っている」は糀谷・羽田地域で6割前半と高くなっている。

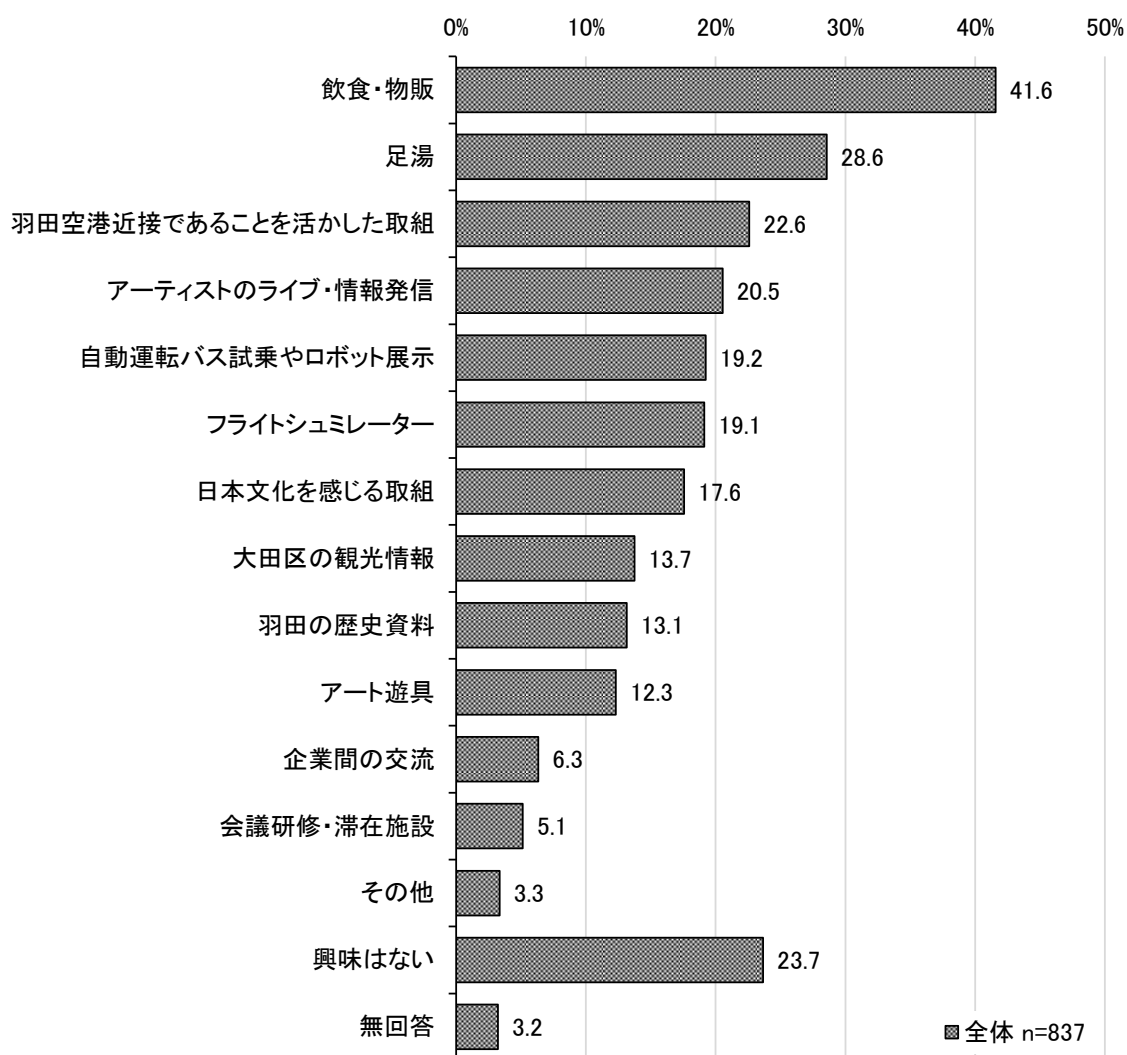


### (3) 「羽田イノベーションシティ」において興味があるもの

◇「飲食・物販」が4割前半で最も高くなっている

#### 問 21 「羽田空港跡地第1ゾーン整備事業」の第一期事業（羽田イノベーションシティ）のうち、興味があるものはありますか。（いくつでも）

“羽田イノベーションシティ”において興味があるものについては、「飲食・物販」が41.6%で最も高く、次いで「足湯」が28.6%、「羽田空港近接であることを活かした取組」が22.6%となっている。なお、「興味はない」は23.7%となっている。

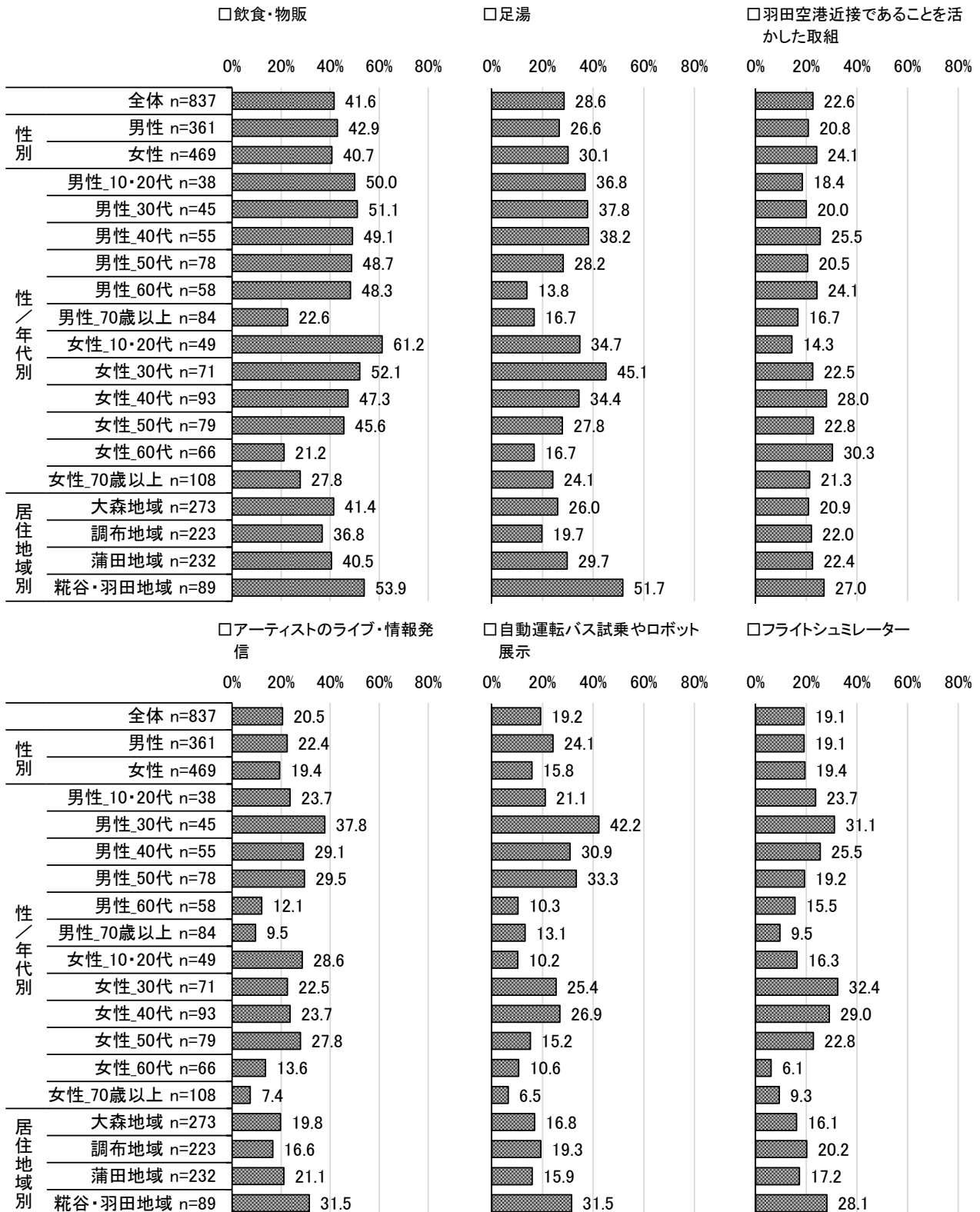


## ■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、男性、女性ともに「飲食・物販」が最も高くなっている。

性／年代別でみると、女性60代を除き「飲食・物販」が最も高く、女性10・20代で6割前半となっている。「足湯」は女性30代で4割半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「飲食・物販」が最も高く、糀谷・羽田地域で5割前半となっている。



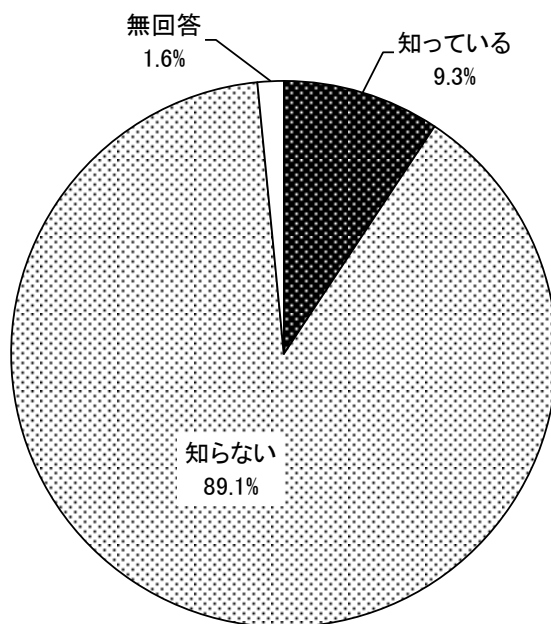
#### (4) 「羽田空港跡地第1ゾーンの公園整備」の認知度

◇「知っている」は約1割となっている

**問 22 羽田空港跡地第1ゾーンに公園(300m×70m程度)が整備される予定があることを知っていますか。(1つのみ)**

“羽田空港跡地第1ゾーンの公園整備”の認知度については、「知っている」が9.3%、「知らない」が89.1%と、「知らない」が79.8ポイント上回っている。

全体 n=837

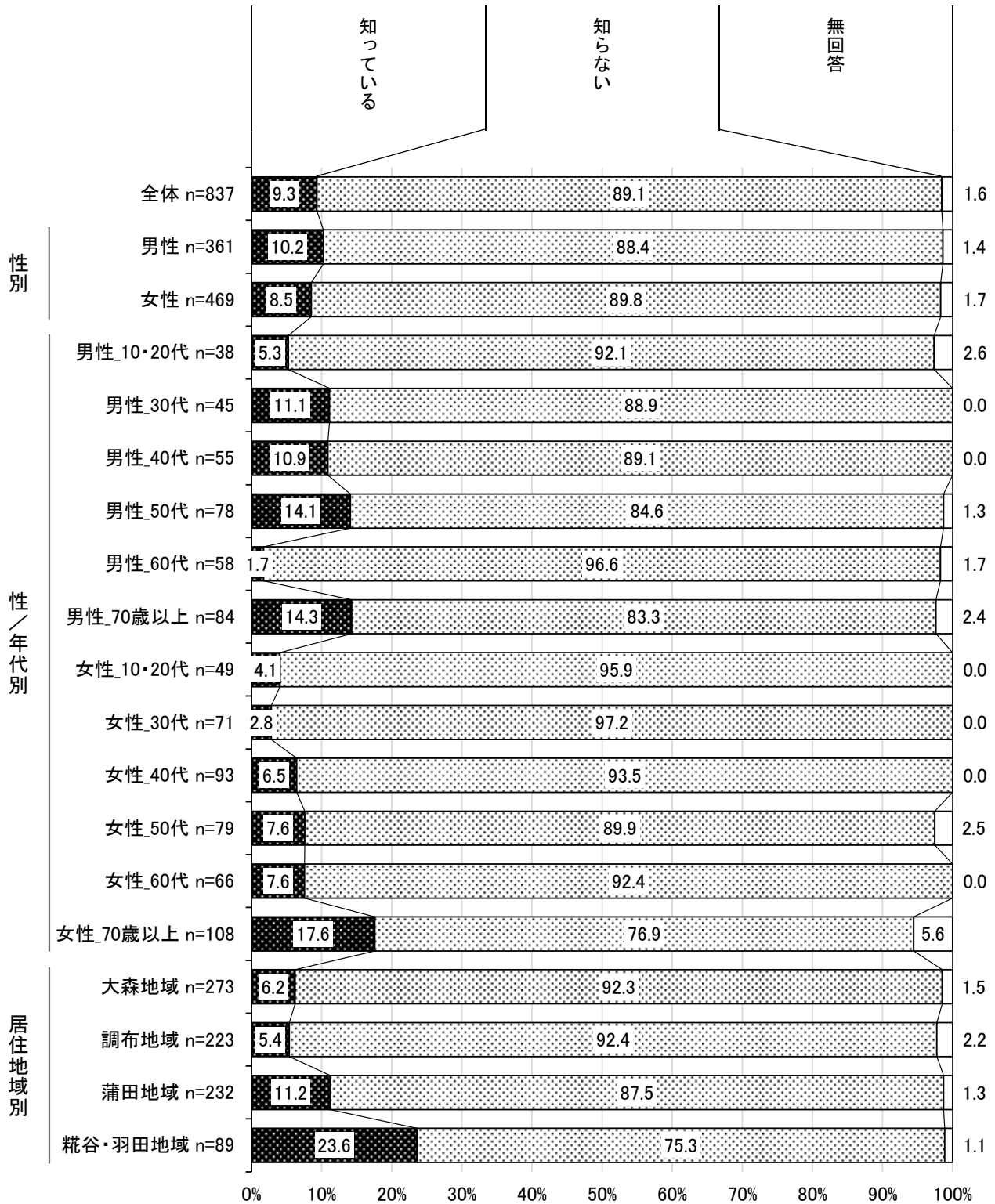


### ■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、「知っている」は男性10・20代、男性60代、女性10・20代から60代で1割未満となっている。

居住地域別でみると、「知っている」は糞谷・羽田地域で2割前半と高くなっている。

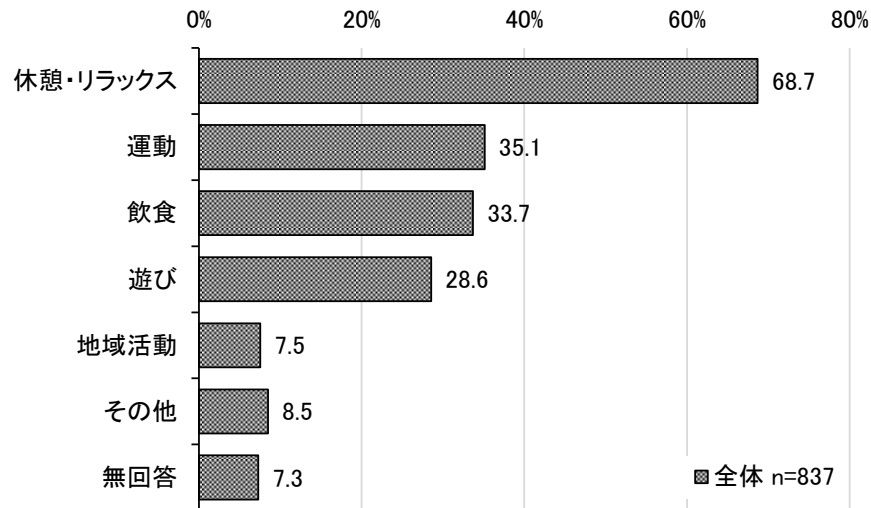


## (5) 整備される公園でしたいこと

◇「休憩・リラックス」が7割弱で最も高くなっている

### 問 23 整備される予定の公園で、したいことはありますか。(いくつでも)

整備される公園でしたいことについては、「休憩・リラックス」が68.7%で最も高く、次いで「運動」が35.1%、「飲食」が33.7%となっている。

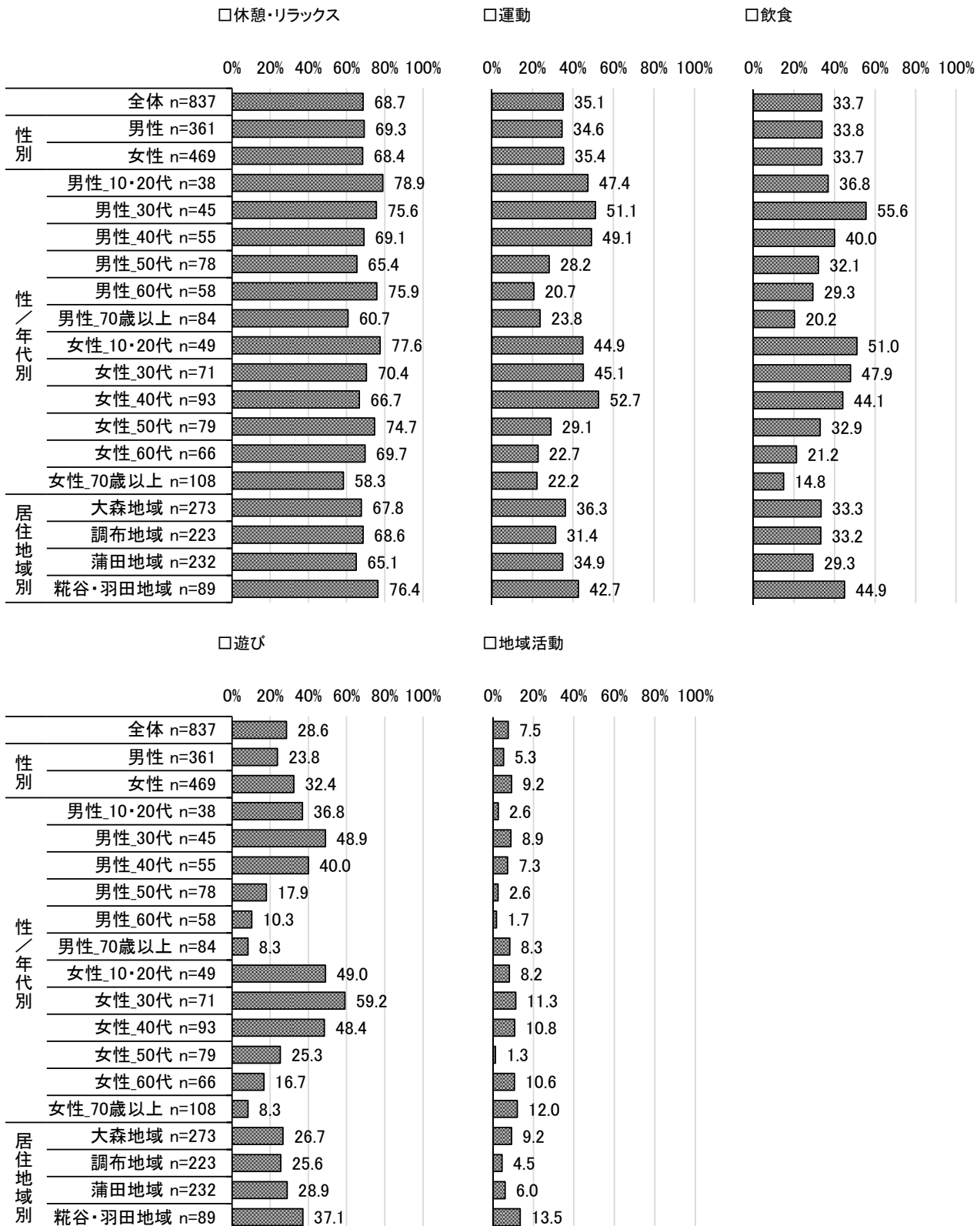


## ■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性、女性ともに「休憩・リラックス」が最も高くなっている。

性／年代別でみると、すべての性／年代で「休憩・リラックス」が最も高く、男性10・20代、女性10・20代で8割弱となっている。「遊び」は男性では30代で5割弱、女性では30代で約6割と高くなっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「休憩・リラックス」が最も高く、糀谷・羽田地域で8割弱となっている。



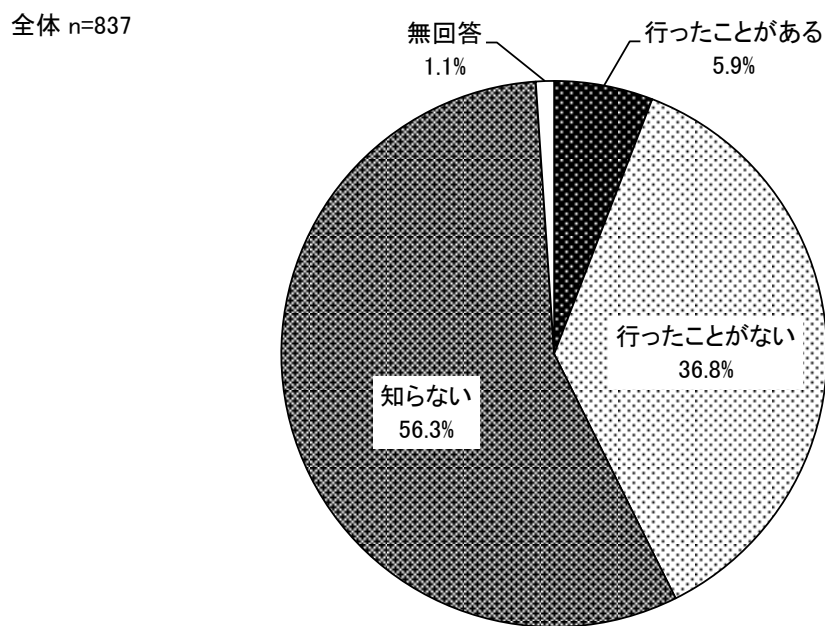


## (6) 「ソラムナード羽田緑地」の利用状況

◇「行ったことがある」は1割未満となっている

**問 24 羽田空港跡地の多摩川沿い（第2ゾーン）に整備された「ソラムナード羽田緑地」（1,100m×15m程度）に行ったことはありますか。（1つのみ）**

“ソラムナード羽田緑地”の利用状況については、「知らない」が56.3%で最も高く、次いで「行ったことがない」が36.8%、「行ったことがある」が5.9%となっている。

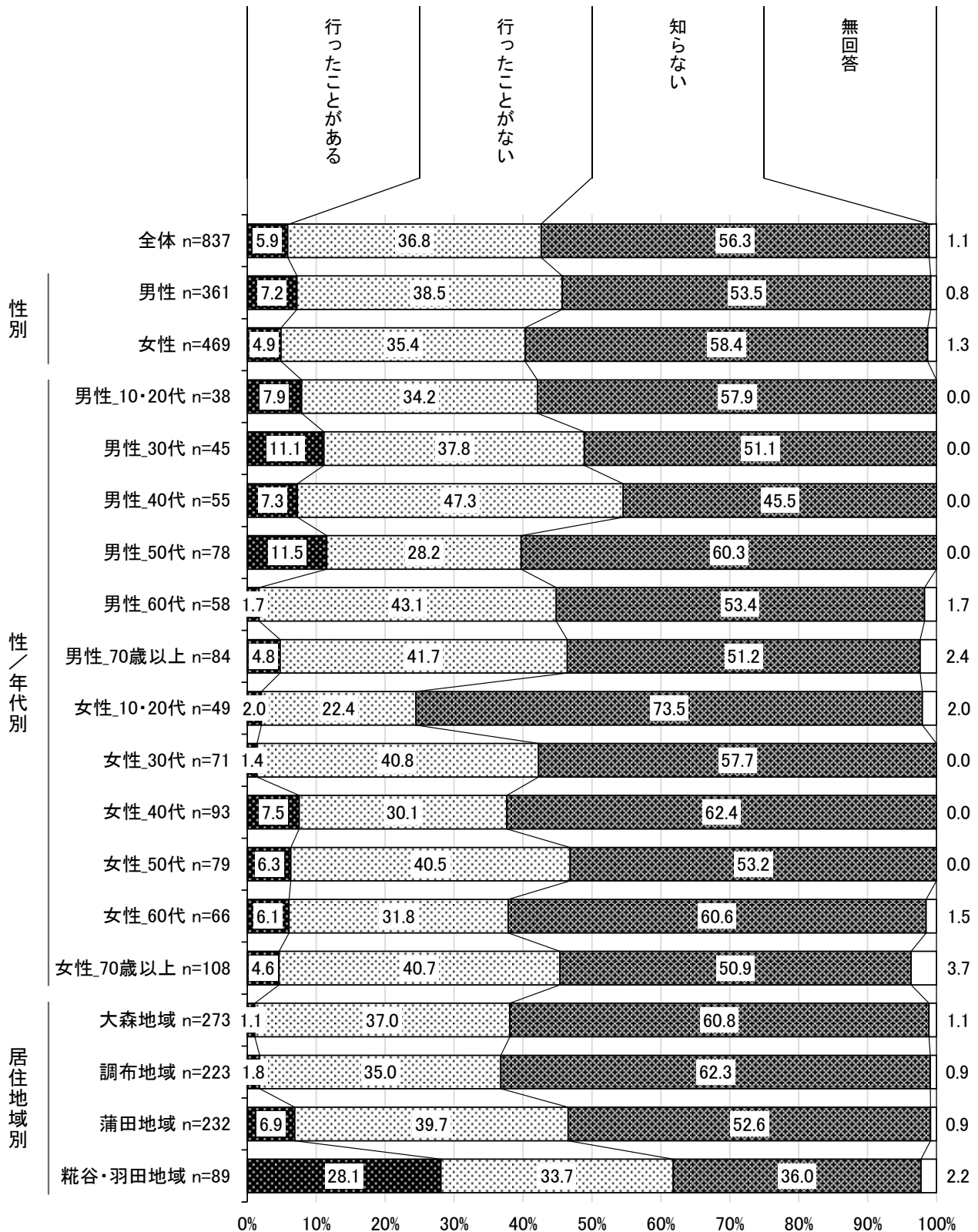


### ■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「行ったことがある」に大きな差はみられないものの、「知らない」では男性が53.5%、女性が58.4%と、女性が4.9ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「行ったことがある」は男性では30代、50代で1割前半、女性では40代で1割弱と高くなっている。

居住地域別でみると、「行ったことがある」は糀谷・羽田地域で3割弱と高くなっている。

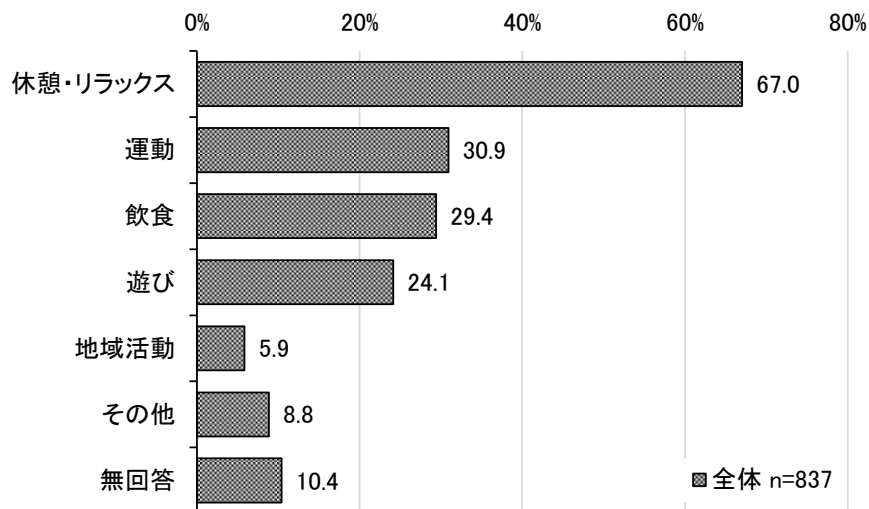


## (7) 「ソラムナード羽田緑地」でしたいこと

◇「休憩・リラックス」が7割弱で最も高くなっている

### 問 25 「ソラムナード羽田緑地」でしたいことはありますか。(いくつでも)

“ソラムナード羽田緑地”でしたいことについては、「休憩・リラックス」が67.0%で最も高く、次いで「運動」が30.9%、「飲食」が29.4%となっている。

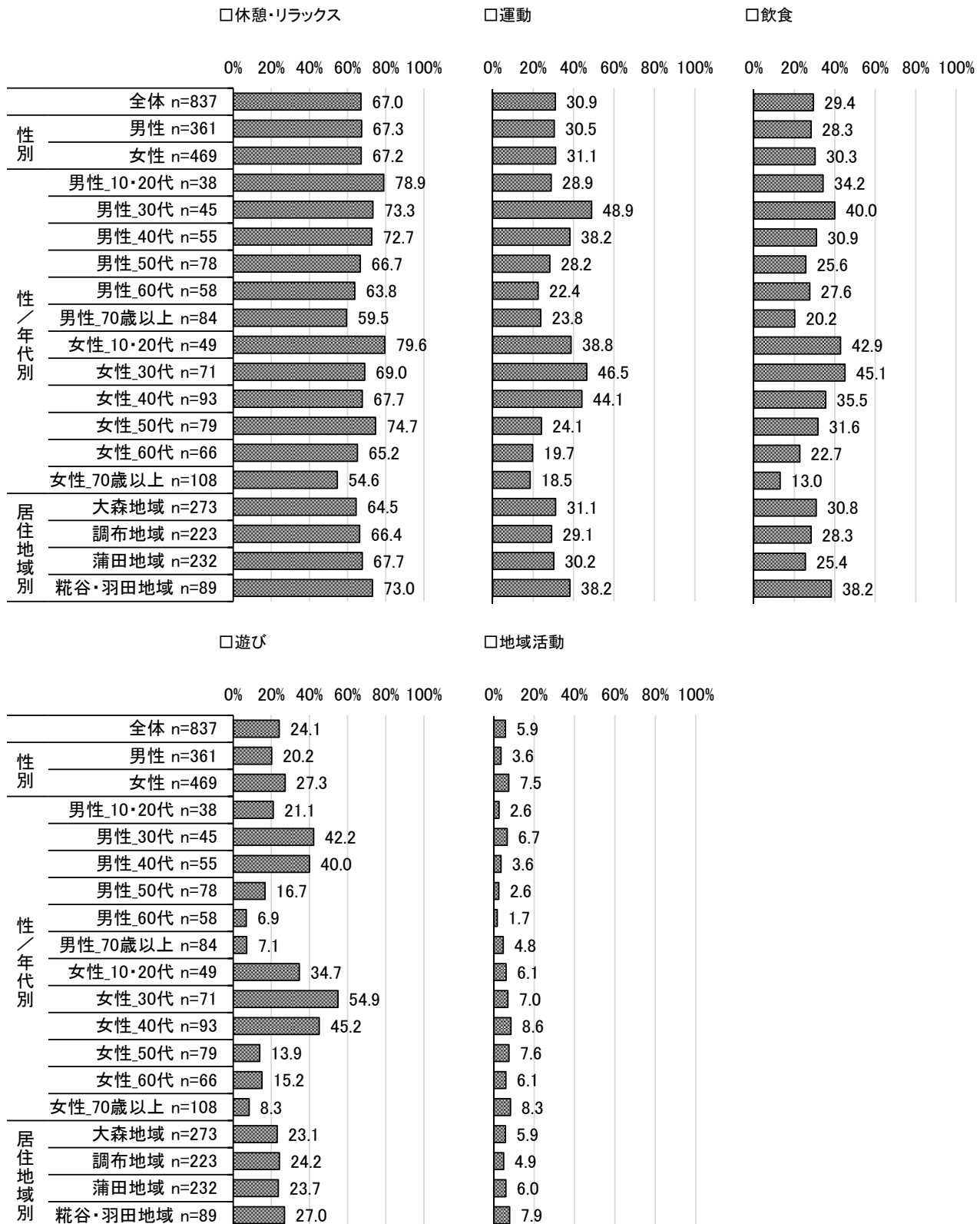


## ■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性、女性ともに「休憩・リラックス」が最も高くなっている。

性／年代別でみると、すべての性／年代で「休憩・リラックス」が最も高く、男性10・20代、女性10・20代で8割弱となっている。「遊び」は男性では30代、40代で4割台、女性では30代で5割半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「休憩・リラックス」が最も高く、糎谷・羽田地域で7割前半となっている。



## 9 耐震改修について

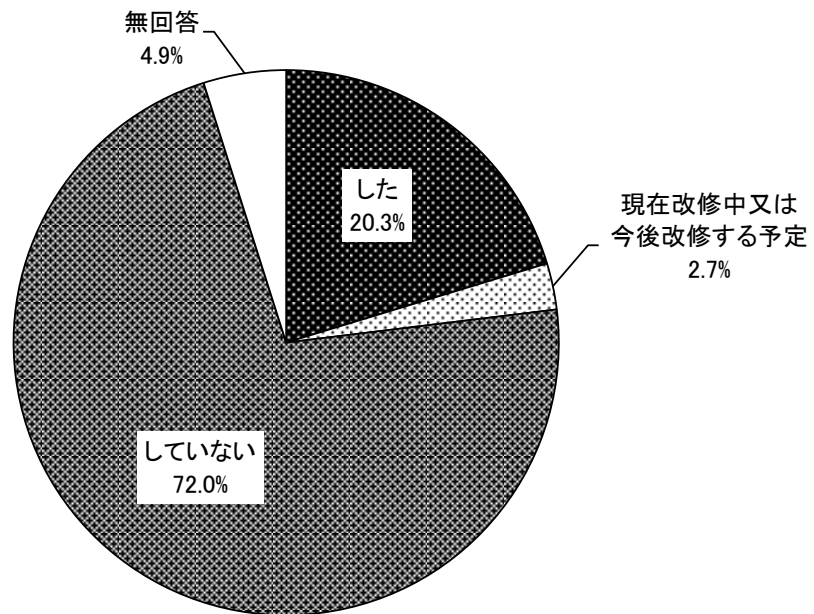
### (1) 住まいや所有建築物の耐震改修の状況

◇「した」が約2割となっている

#### 問 26 あなたは、現在のお住まいや区内に所有している建物の耐震改修をしましたか。(1つのみ)

住まいや所有建築物の耐震改修の状況については、「していない」が72.0%で最も高く、次いで「した」が20.3%、「現在改修中又は今後改修する予定」が2.7%となっている。

全体 n=837

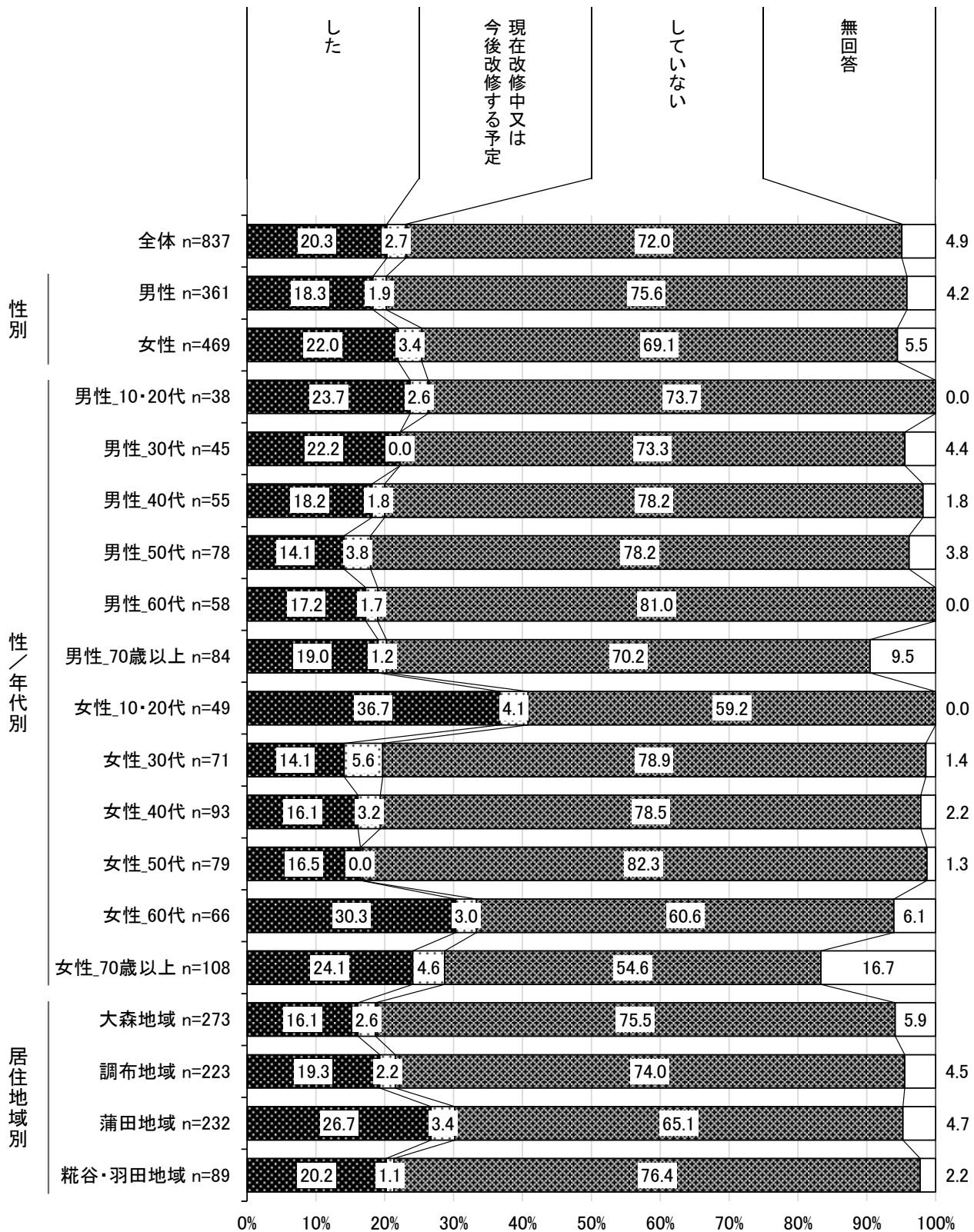


### ■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「した」は男性が18.3%、女性が22.0%と、女性が3.7ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「した」は男性では10・20代、30代で2割前半、女性では10・20代で4割弱と高くなっている。

居住地域別でみると、「した」は蒲田地域で3割弱と高くなっている。



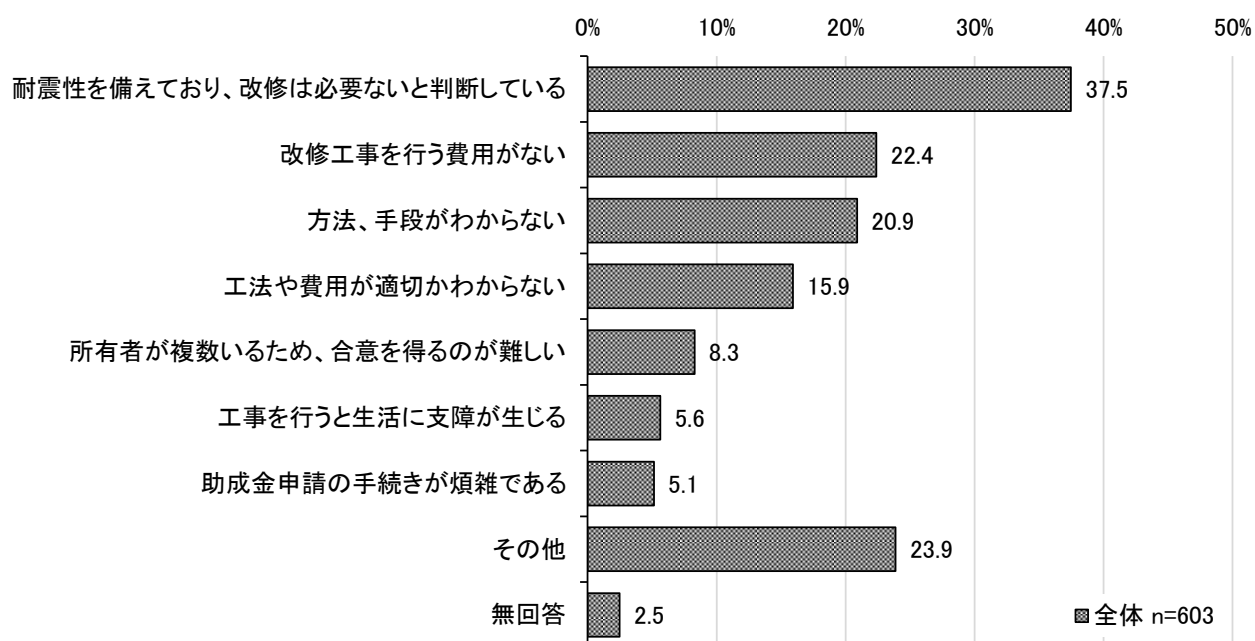
## (2) 耐震改修を行っていない理由

◇「耐震性を備えており、改修は必要ないと判断している」が4割弱で最も高くなっている

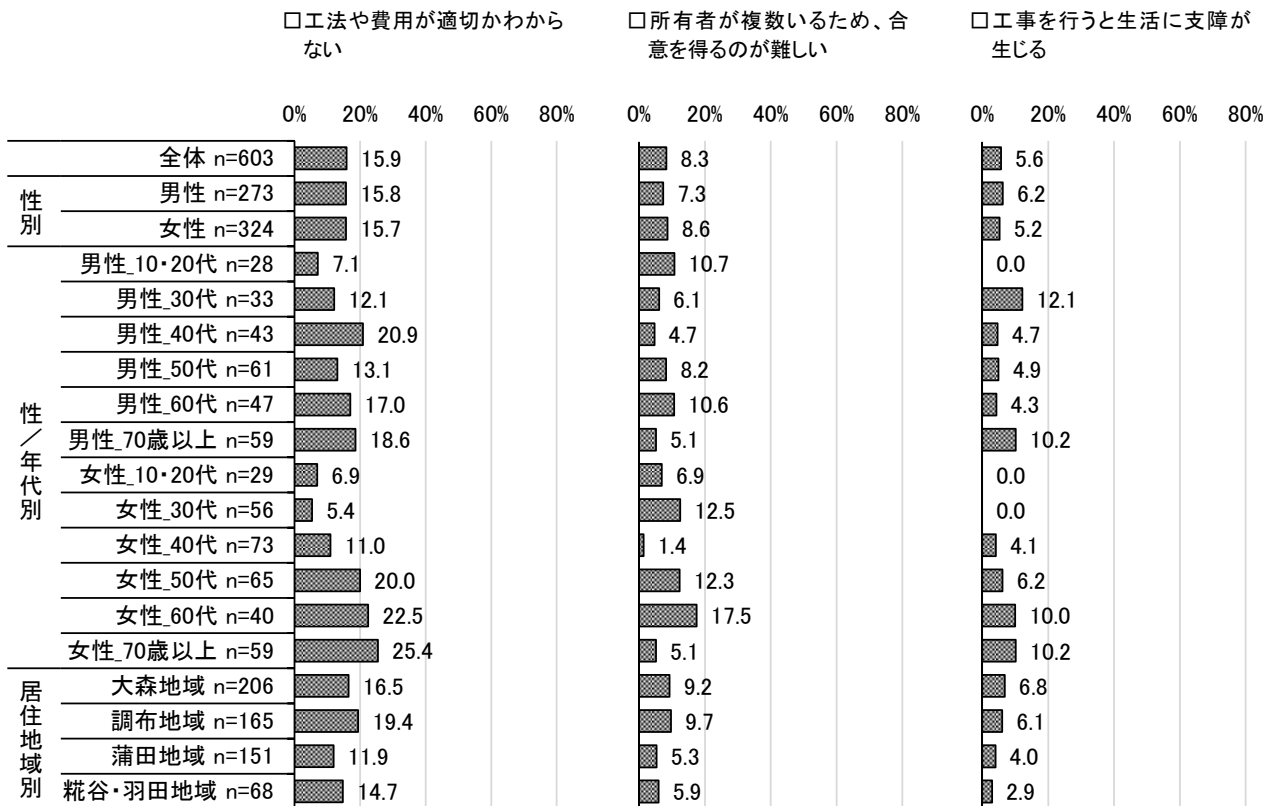
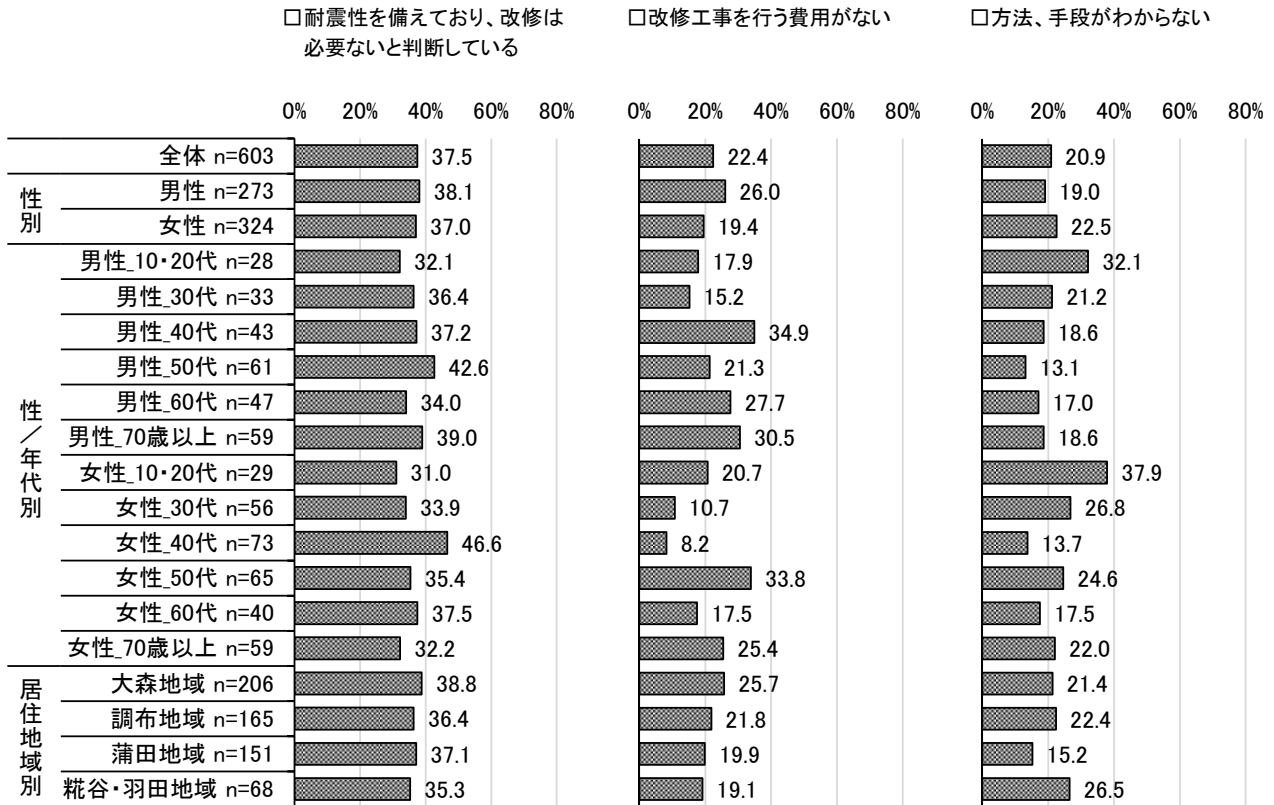
【問 26 で「していない」と回答した方に伺います。】

### 問 26-1 耐震改修を行っていない理由は何ですか。(いくつでも)

耐震改修を行っていない理由については、「耐震性を備えており、改修は必要ないと判断している」が 37.5%で最も高く、次いで「改修工事を行う費用がない」が 22.4%、「方法、手段がわからない」が 20.9%となっている。



## ■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）





性別で見ると、男性、女性ともに「耐震性を備えており、改修は必要ないと判断している」が最も高くなっている。

性／年代別で見ると、女性10・20代を除き「耐震性を備えており、改修は必要ないと判断している」が最も高く、男性50代、女性40代で4割台となっている。「方法、手段がわからない」は男性では10・20代で3割前半、女性では10・20代で4割弱と高くなっている。

居住地域別で見ると、すべての地域で「耐震性を備えており、改修は必要ないと判断している」が最も高くなっている。

## 10 空家について

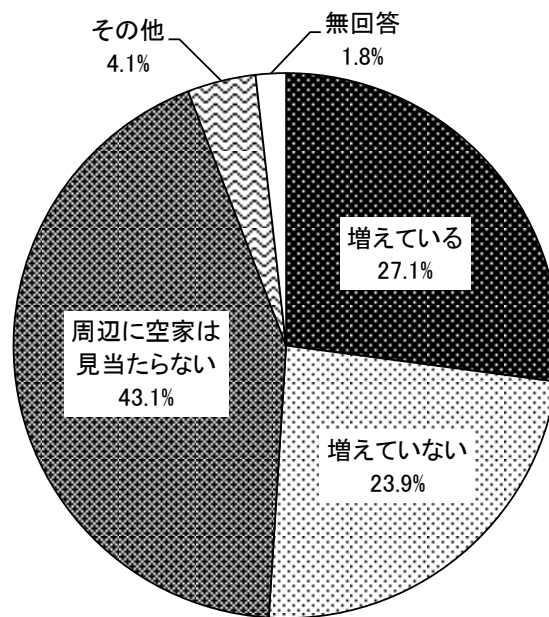
### (1) 自宅周辺の空家の状況

◇「増えている」は3割弱となっている

#### 問 27 ご自宅の周辺などで空家が増えていると感じますか。(1つのみ)

自宅周辺の空家の状況については、「周辺に空家は見当たらない」が43.1%で最も高く、次いで「増えている」が27.1%、「増えていない」が23.9%となっている。

全体 n=837

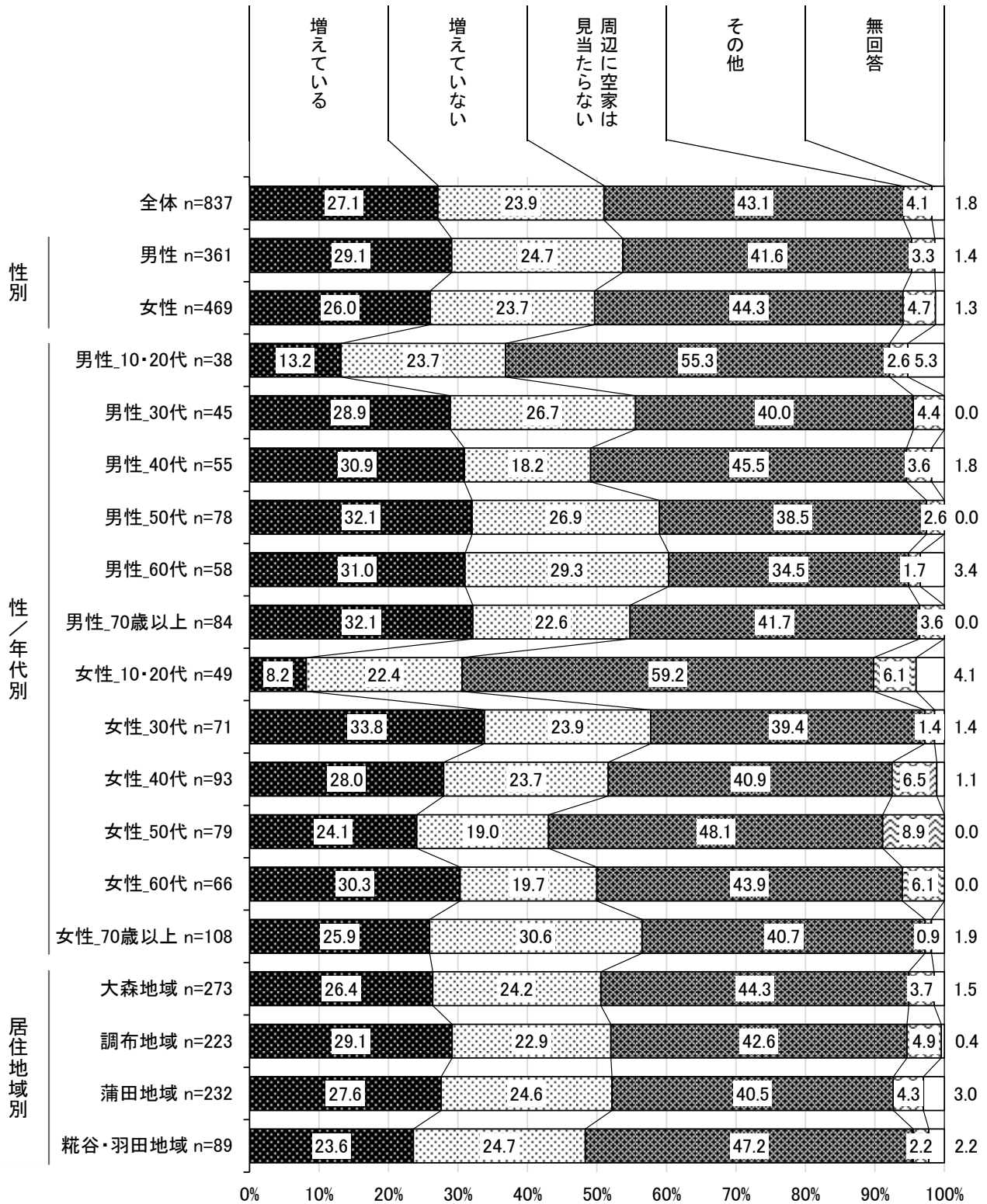


### ■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、「増えている」は男性40代から70歳以上、女性30代、女性60代で3割台となっている。

居住地域別でみると、「増えている」は調布地域で約3割と高くなっている。

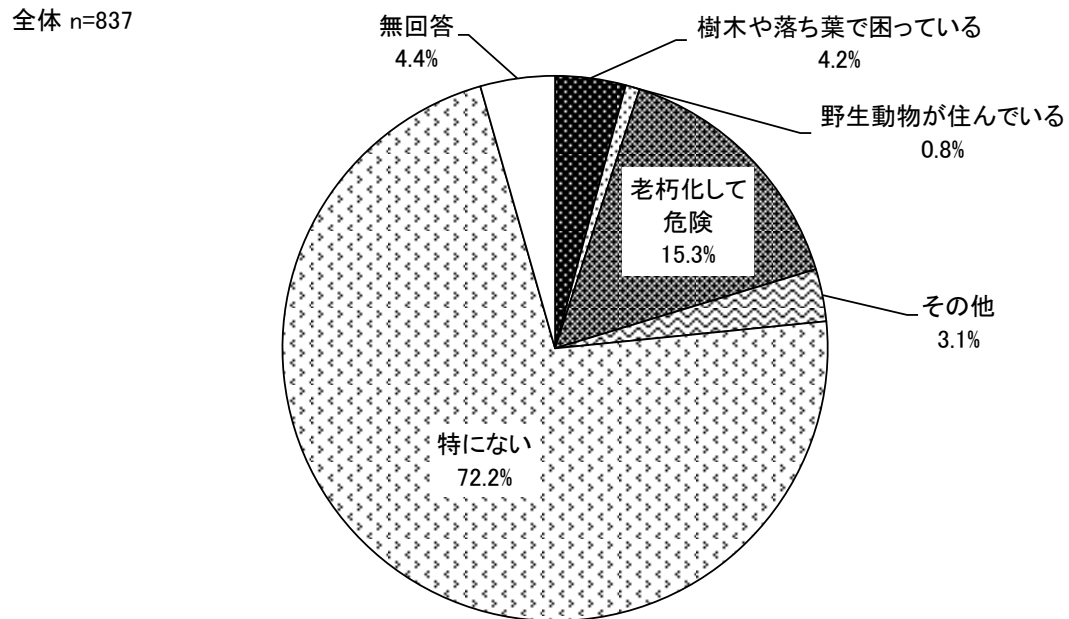


## (2) 空家によるトラブルや不都合

◇「老朽化して危険」が1割半ばとなっている

### 問 28 空家によりトラブルや不都合はありますか。(1つのみ)

空家によるトラブルや不都合については、「特にない」が72.2%で最も高く、次いで「老朽化して危険」が15.3%、「樹木や落ち葉で困っている」が4.2%となっている。

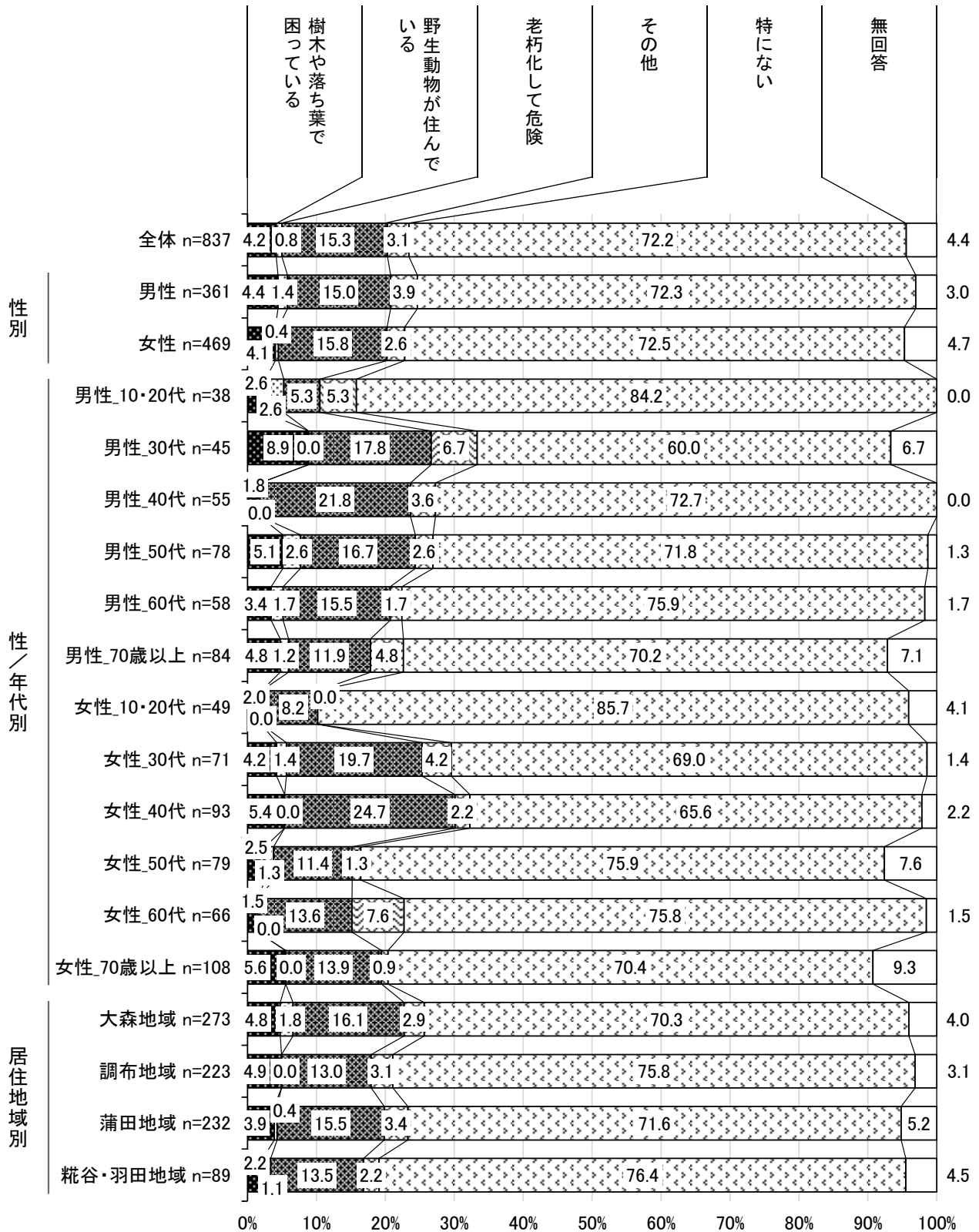


### ■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、「老朽化して危険」は男性では40代で2割前半、女性では40代で2割半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、「老朽化して危険」は大森地域、蒲田地域で1割半ばと高くなっている。



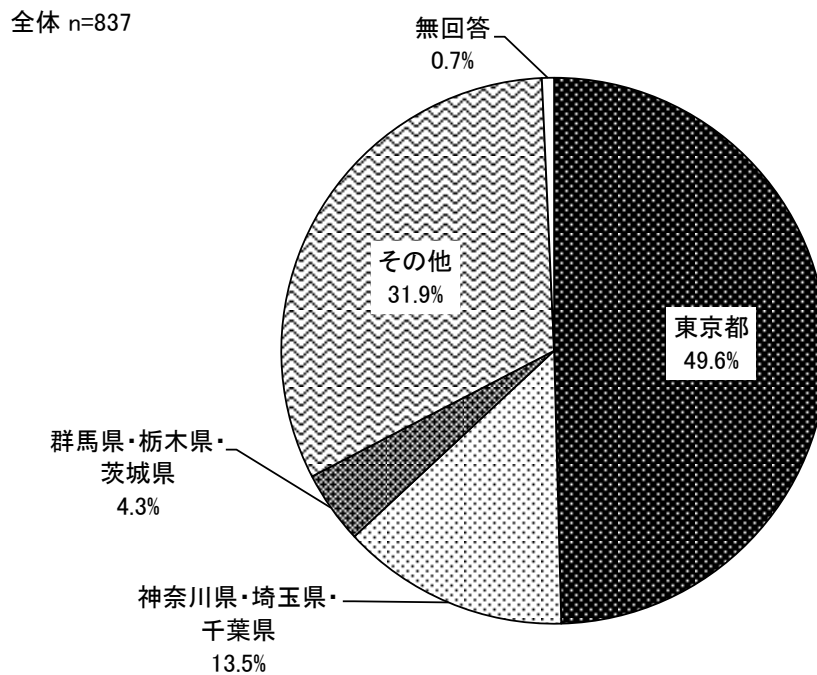
## 11 移住について

### (1) 自身の出身地

◇「東京都」が約5割となっている

#### 問 29 あなたの出身地はどこですか。(1つのみ)

自身の出身地については、「東京都」が49.6%で最も高く、次いで「神奈川県・埼玉県・千葉県」が13.5%、「群馬県・栃木県・茨城県」が4.3%となっている。

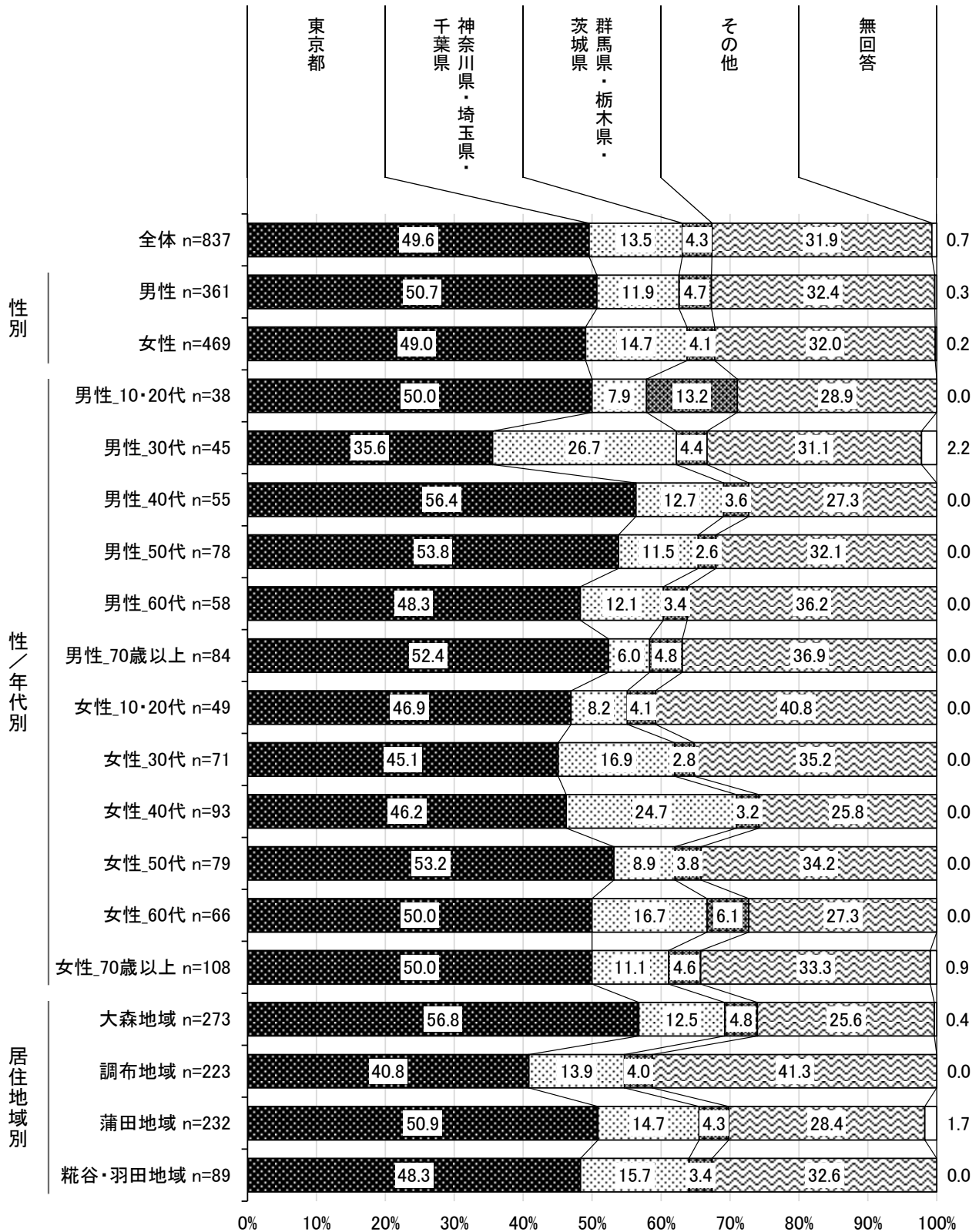


### ■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

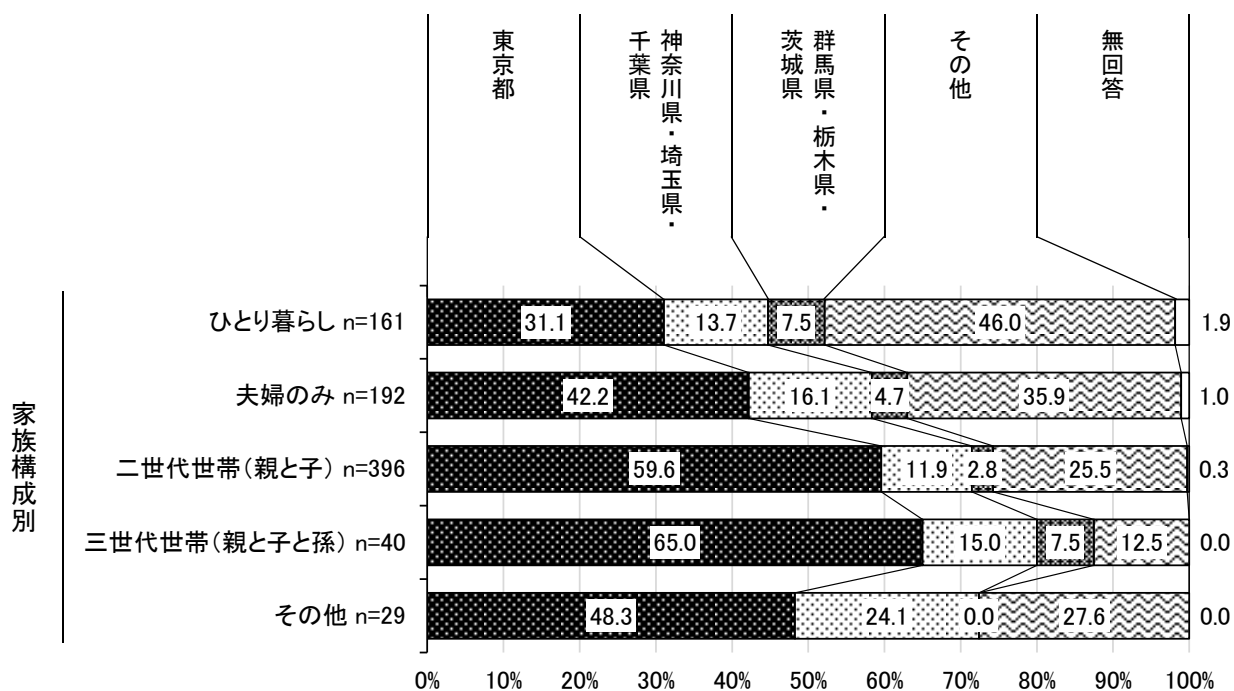
性／年代別でみると、「東京都」は男性10・20代、男性40代、男性50代、男性70歳以上、女性50代から70歳以上で5割台となっている。

居住地域別でみると、「東京都」は大森地域で6割弱と高くなっている。



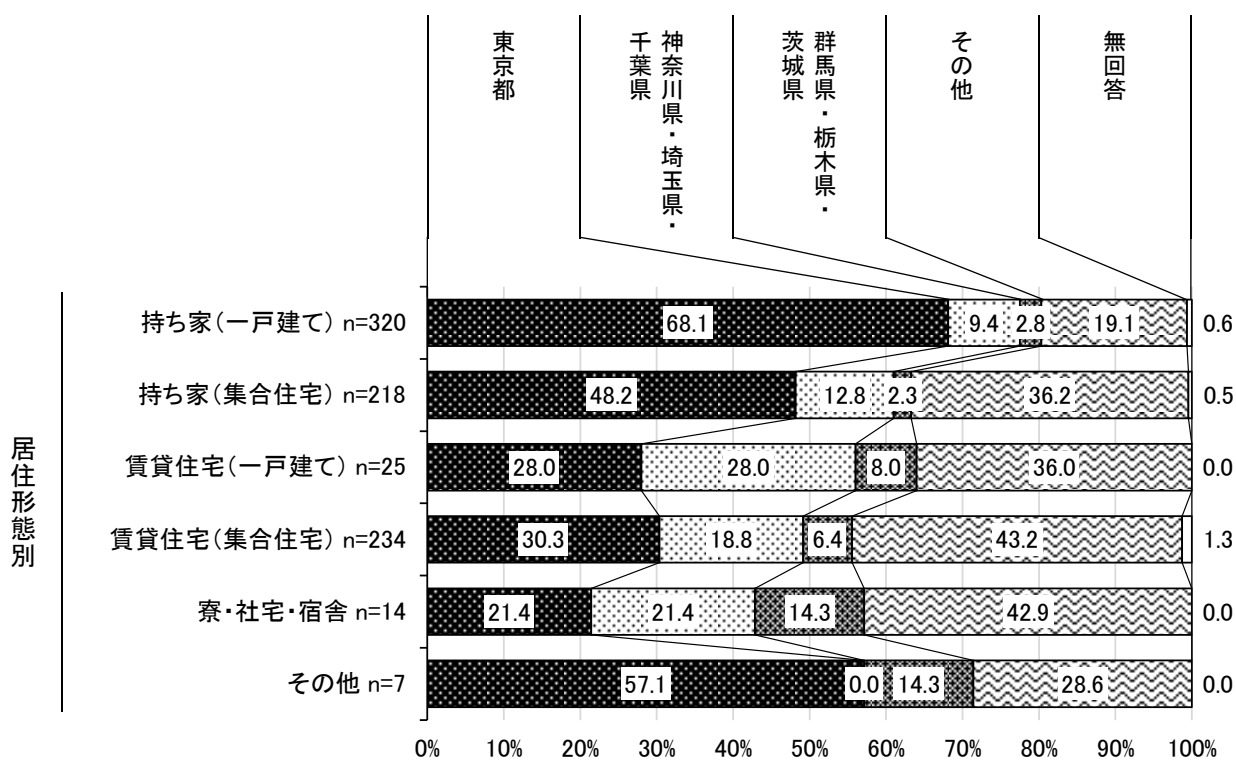
## ■ 家族構成別

家族構成別でみると、「東京都」は三世代世帯（親と子と孫）で6割半ばと高くなっている。



## ■ 居住形態別

居住形態別でみると、「東京都」は持ち家（一戸建て）で7割弱と高くなっている。



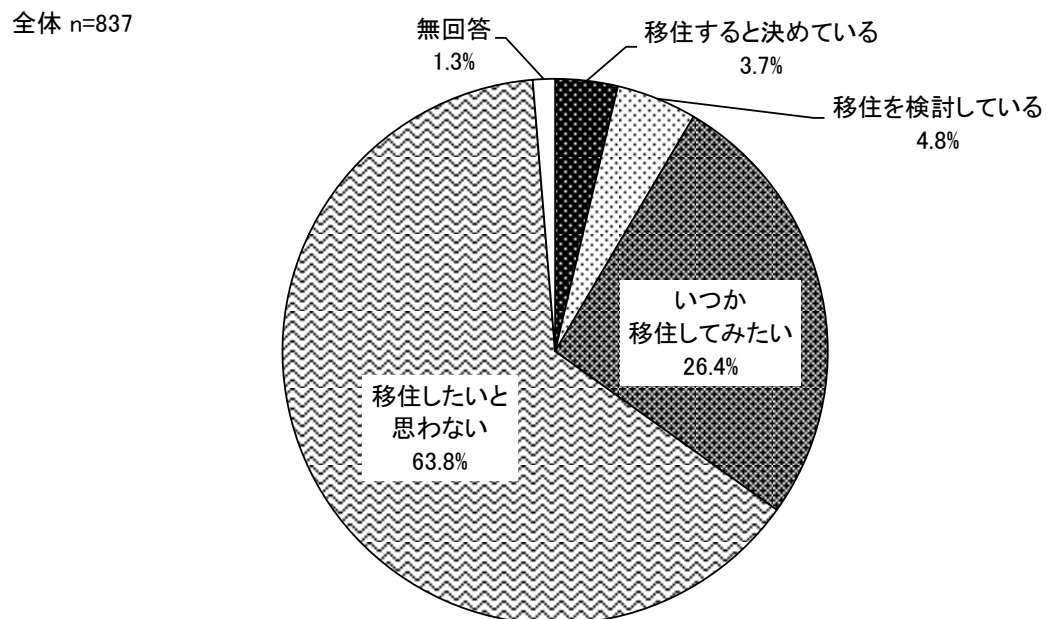


## (2) 東京都外への移住意向

◇「移住すると決めている」は4%未満となっている

### 問 30 あなたは東京都外へ移住したいと思いますか。(1つのみ)

東京都外への移住意向については、「移住したいと思わない」が63.8%で最も高く、次いで「いつか移住してみたい」が26.4%、「移住を検討している」が4.8%となっている。

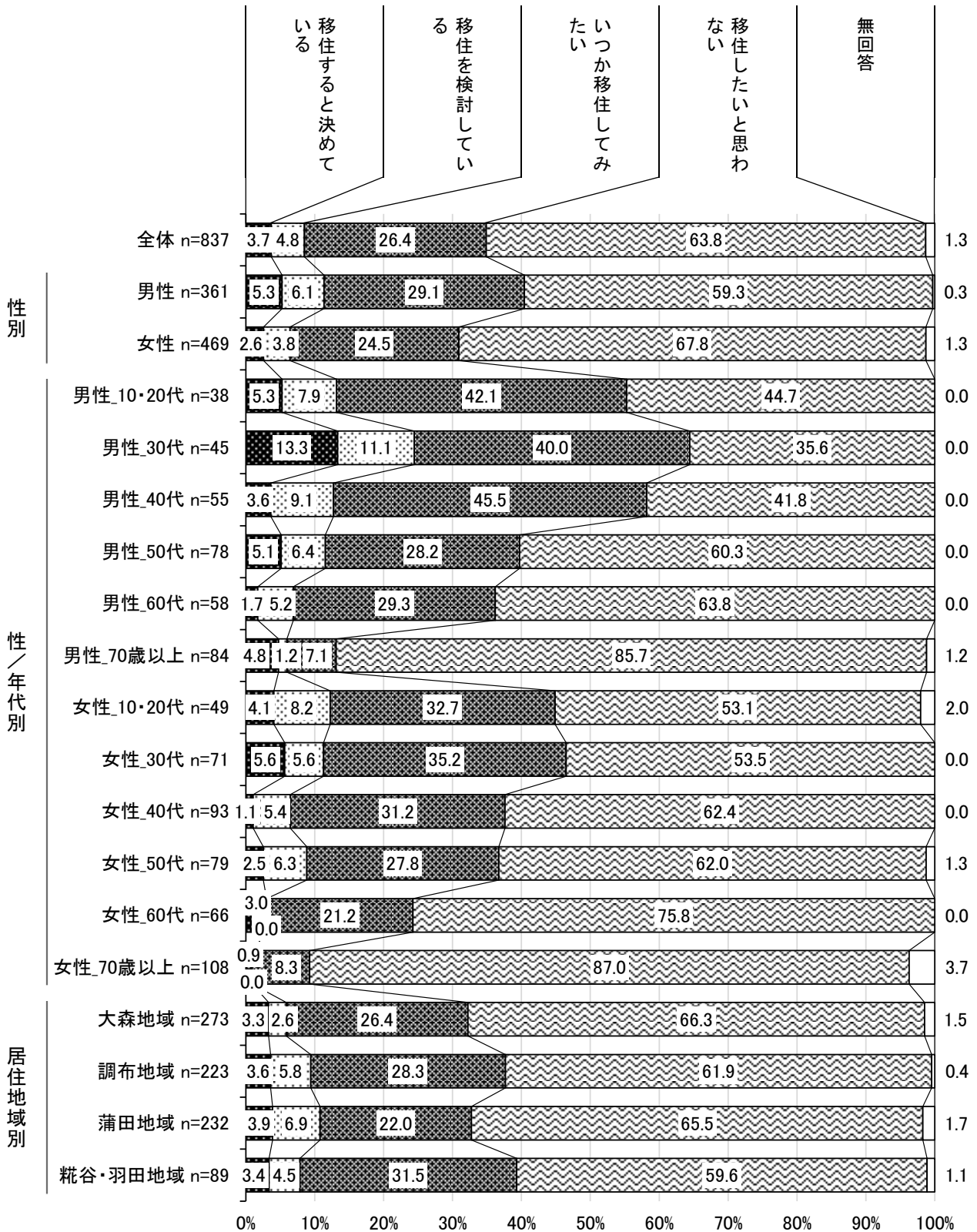


### ■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「移住すると決めている」は男性が5.3%、女性が2.6%と、男性が2.7ポイント上回っている。

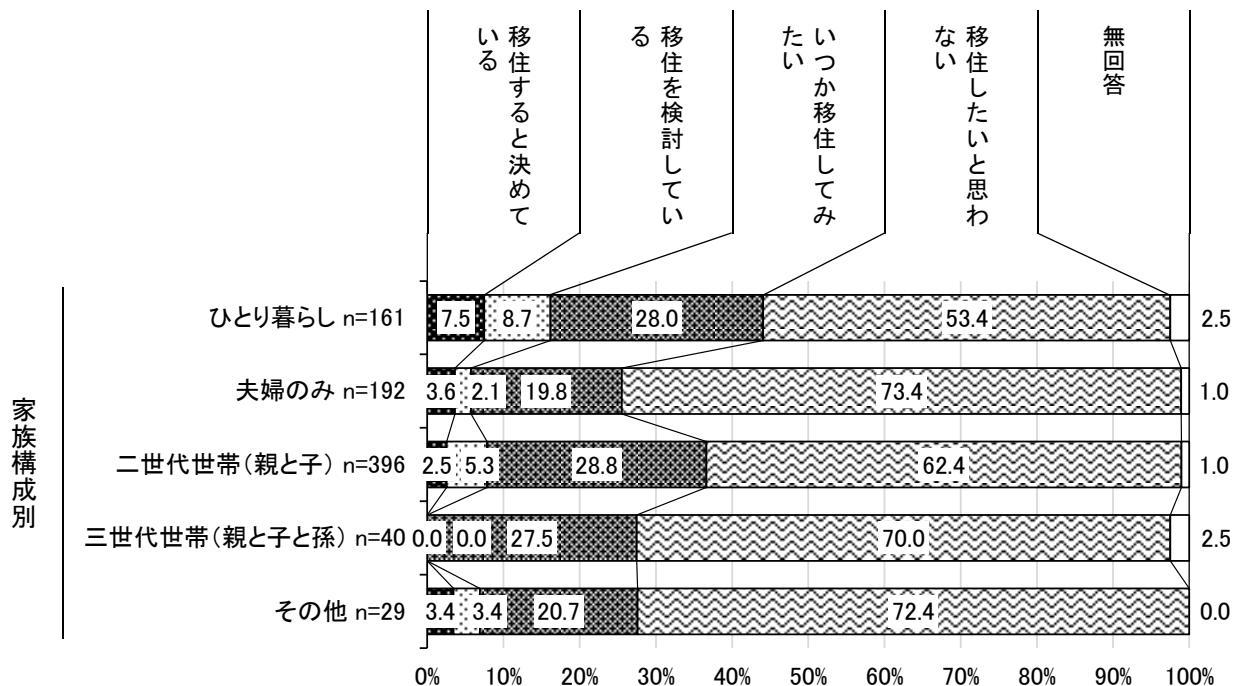
性／年代別でみると、「移住すると決めている」は男性30代で1割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「移住すると決めている」は4%未満となっている。



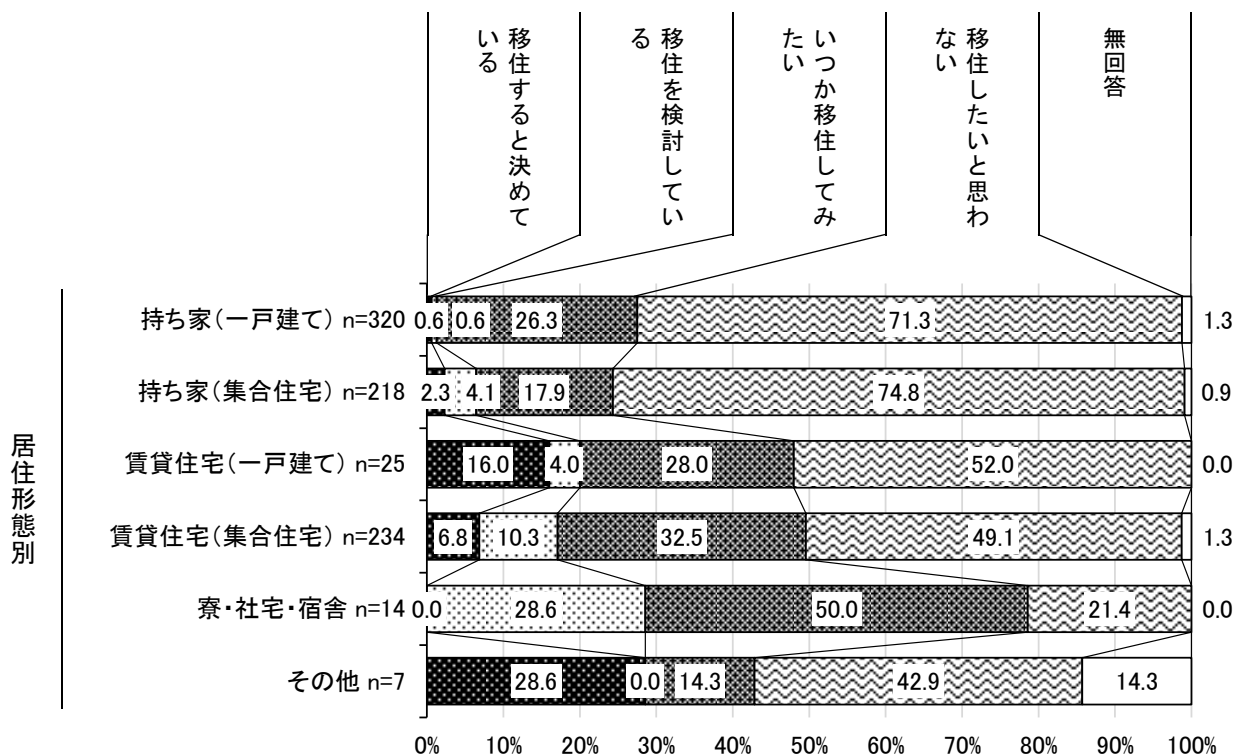
## ■ 家族構成別

家族構成別でみると、「移住すると決めている」はひとり暮らしで1割弱と高くなっている。また、「移住を検討している」でもひとり暮らしが1割弱と高くなっている。



## ■ 居住形態別

居住形態別でみると、「移住したいと思わない」は持ち家（一戸建て）、持ち家（集合住宅）で7割台と高くなっている。



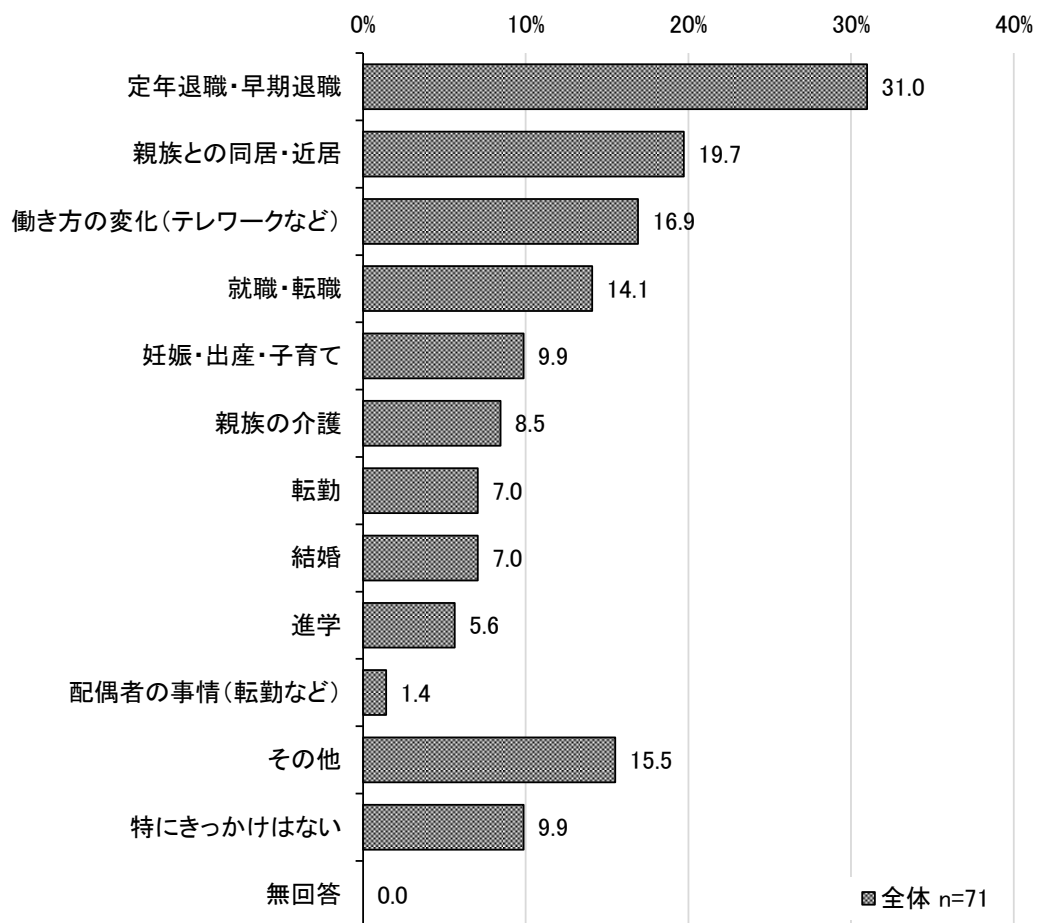
### (3) 移住を考えるようになったきっかけ

◇「定年退職・早期退職」が約3割となっている

【問 30 で「移住すると決めている」「移住を検討している」と回答した方に伺います。】

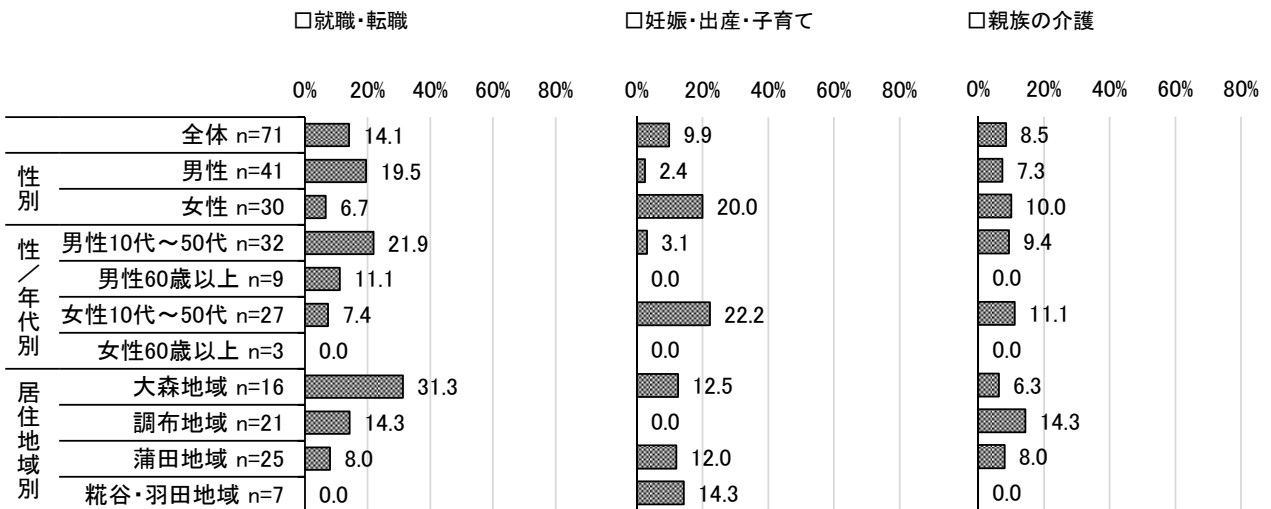
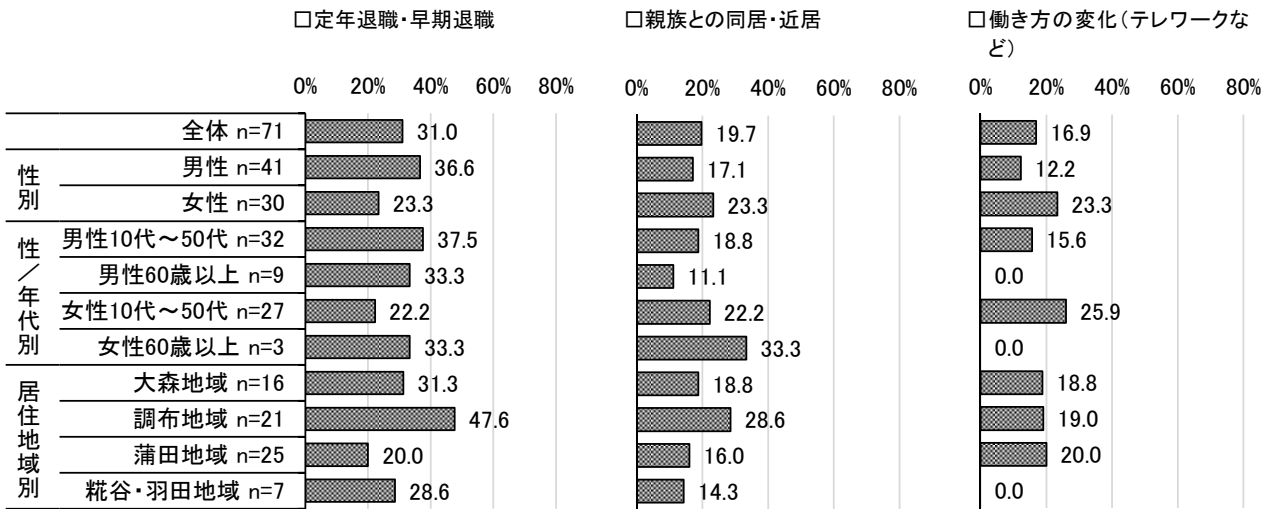
#### 問 30-1 移住を考えるようになったきっかけは何ですか。(いくつでも)

移住を考えるようになったきっかけについては、「定年退職・早期退職」が31.0%で最も高く、次いで「親族との同居・近居」が19.7%、「働き方の変化(テレワークなど)」が16.9%となっている。



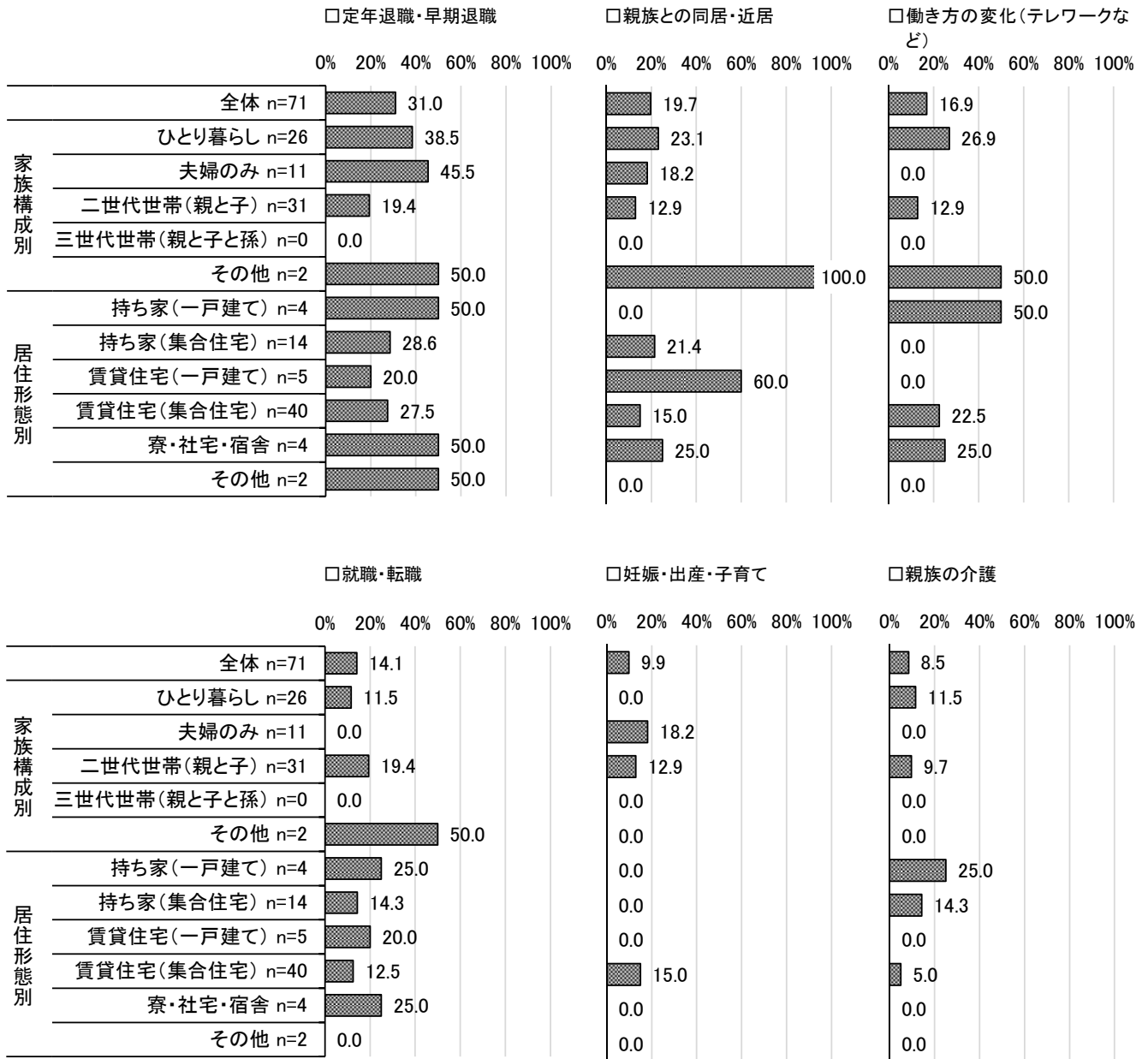
## ■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、「定年退職・早期退職」は男性が36.6%、女性が23.3%と、男性が13.3ポイント上回っている。「妊娠・出産・子育て」は男性が2.4%、女性が20.0%と、女性が17.6ポイント上回っている。



## ■家族構成別・居住形態別（上位6項目）

家族構成別・居住形態別でみると、回答者数が30人未満の属性が半数以上のため、参考として示すにとどめる。



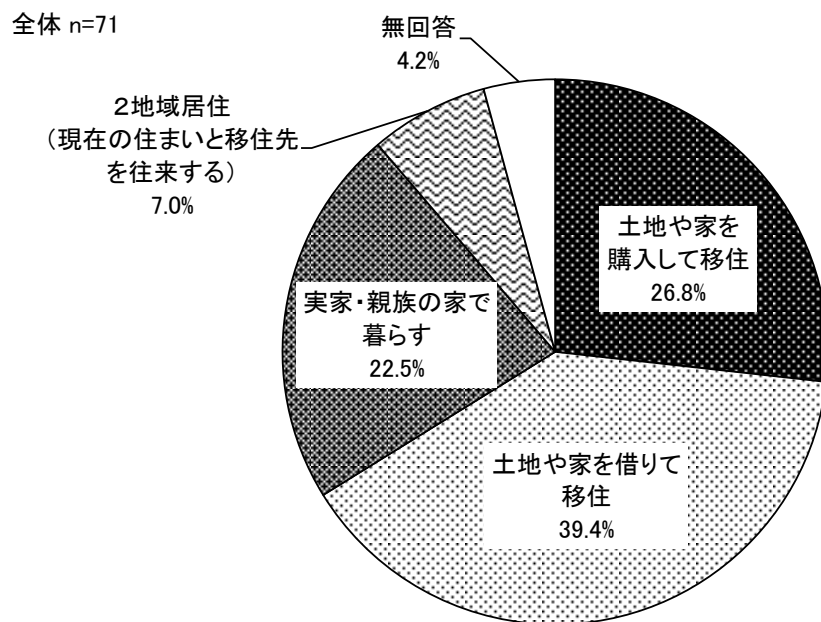
#### (4) 移住先での住まい

◇「土地や家を借りて移住」が約4割となっている

【問 30 で「移住すると決めている」「移住を検討している」と回答した方に伺います。】

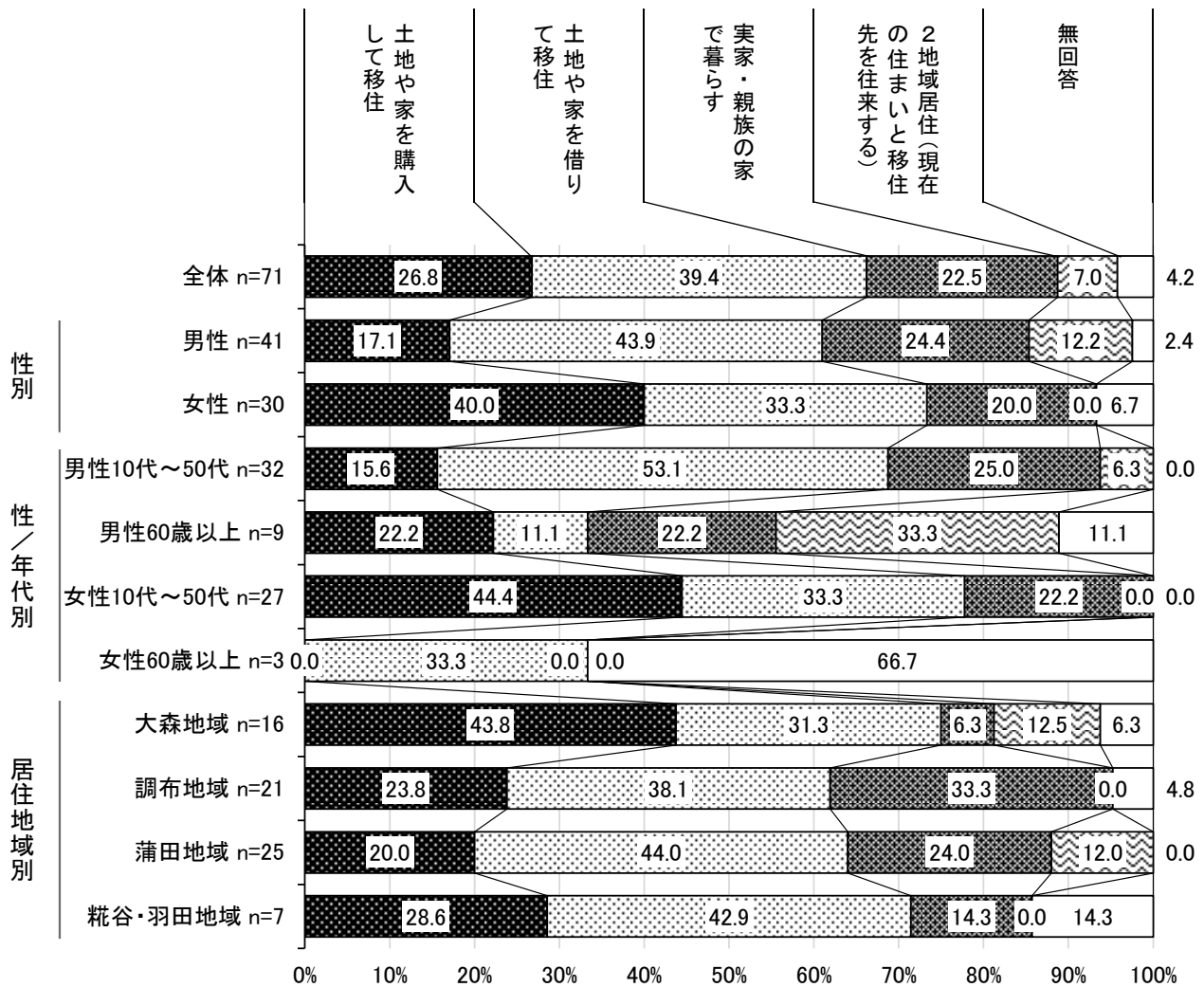
問 30-2 移住する場合、住まいをどのように確保しようと考えていますか。(1つのみ)

移住先での住まいについては、「土地や家を借りて移住」が39.4%で最も高く、次いで「土地や家を購入して移住」が26.8%、「実家・親族の家で暮らす」が22.5%となっている。



### ■性別・性／年代別・居住地域別

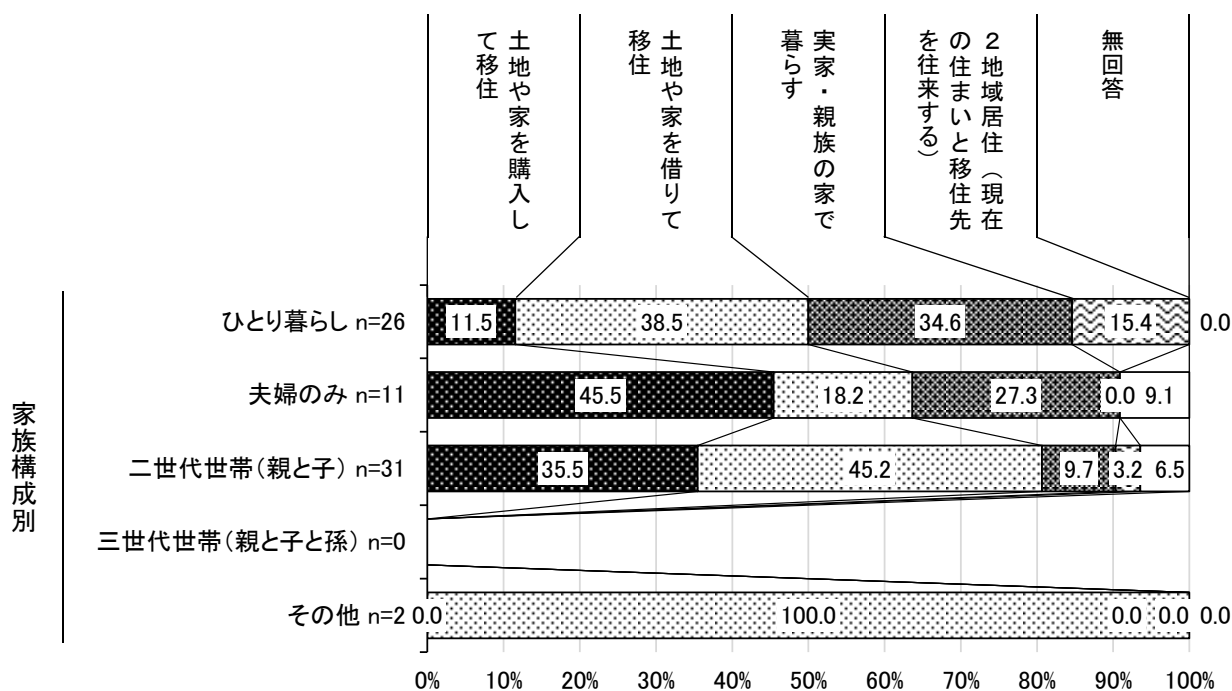
性別でみると、「土地や家を借りて移住」は男性が43.9%、女性が33.3%と、男性が10.6ポイント上回っている。「土地や家を購入して移住」は男性が17.1%、女性が40.0%と、女性が22.9ポイント上回っている。





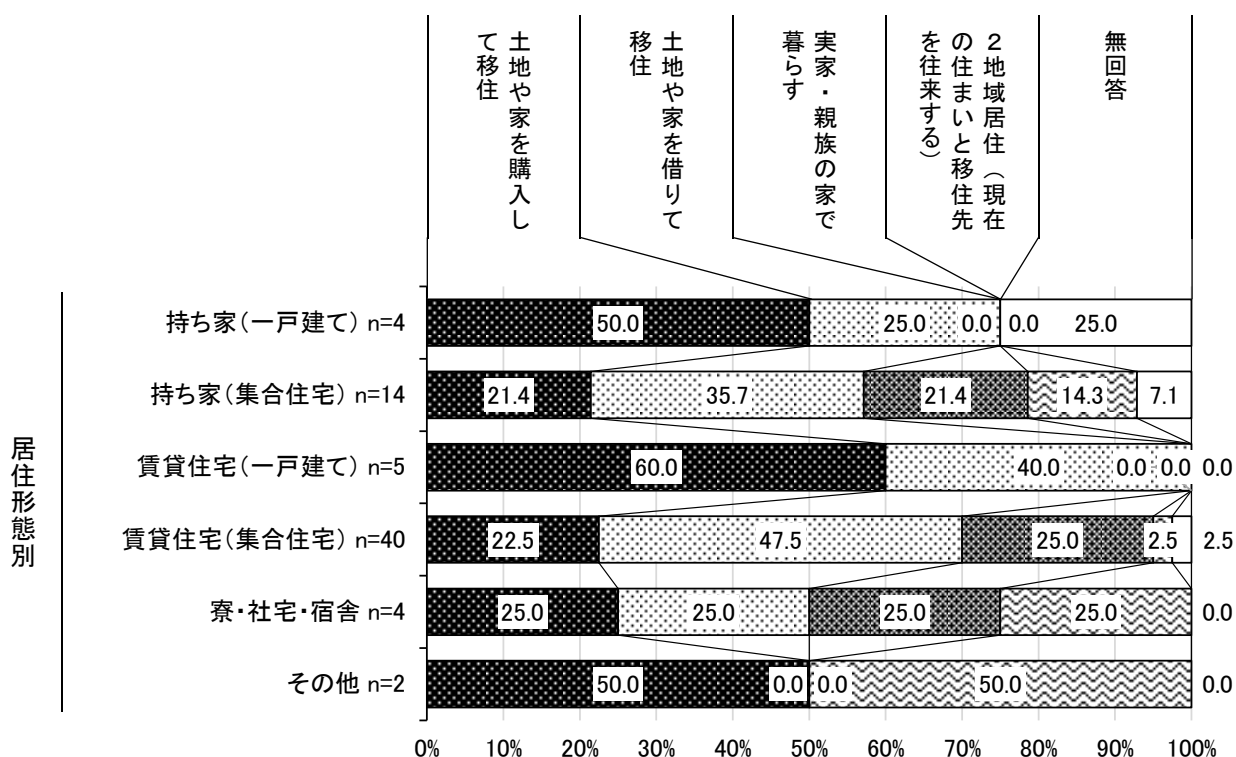
## ■ 家族構成別

家族構成別でみると、回答者数が 30 人未満の属性が半数以上のため、参考として示すにとどめる。



## ■ 居住形態別

居住形態別でみると、回答者数が 30 人未満の属性が半数以上のため、参考として示すにとどめる。



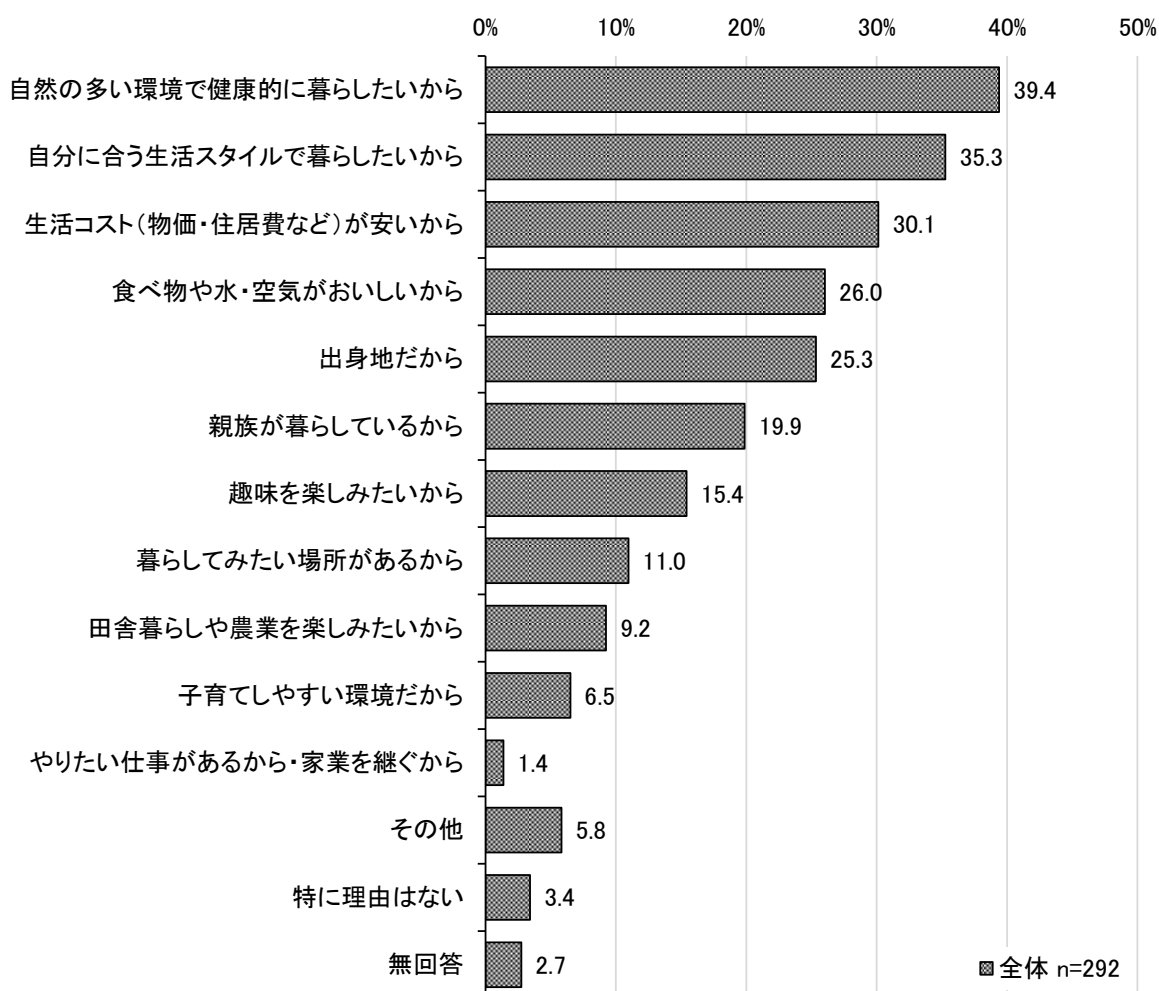
## (5) 移住したいと思う理由

◇「自然の多い環境で健康的に暮らしたいから」が約4割で最も高くなっている

【問 30 で「移住すると決めている」「移住を検討している」「いつか移住してみたい」と回答した方に伺います。】

### 問 30-3 移住したいと思う理由は何ですか。(3つまで)

移住したいと思う理由については、「自然の多い環境で健康的に暮らしたいから」が 39.4% で最も高く、次いで「自分に合う生活スタイルで暮らしたいから」が 35.3%、「生活コスト(物価・住居費など)が安いから」が 30.1% となっている。

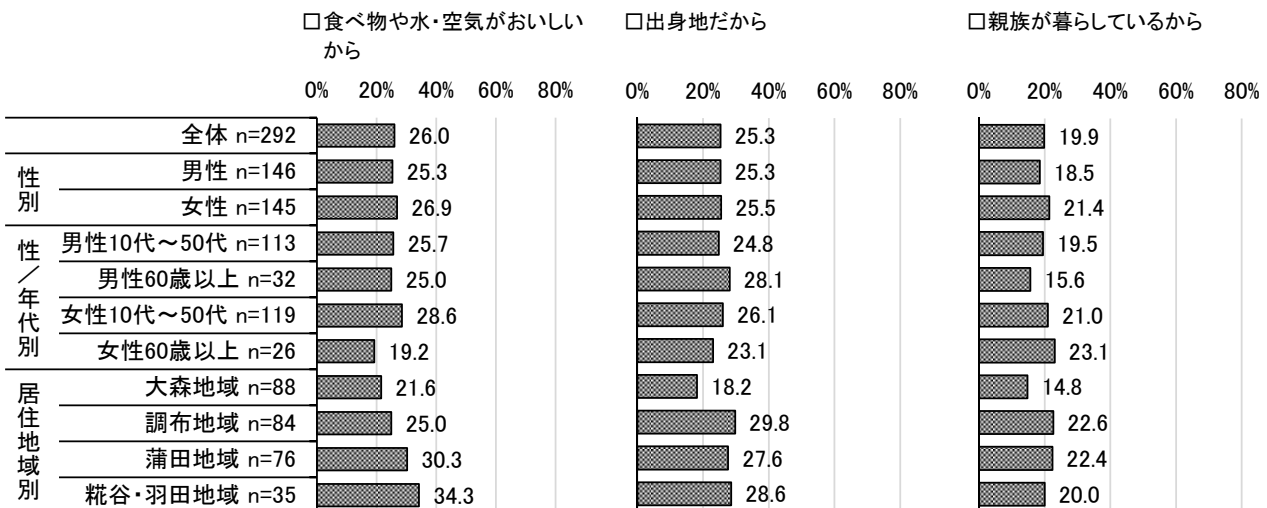
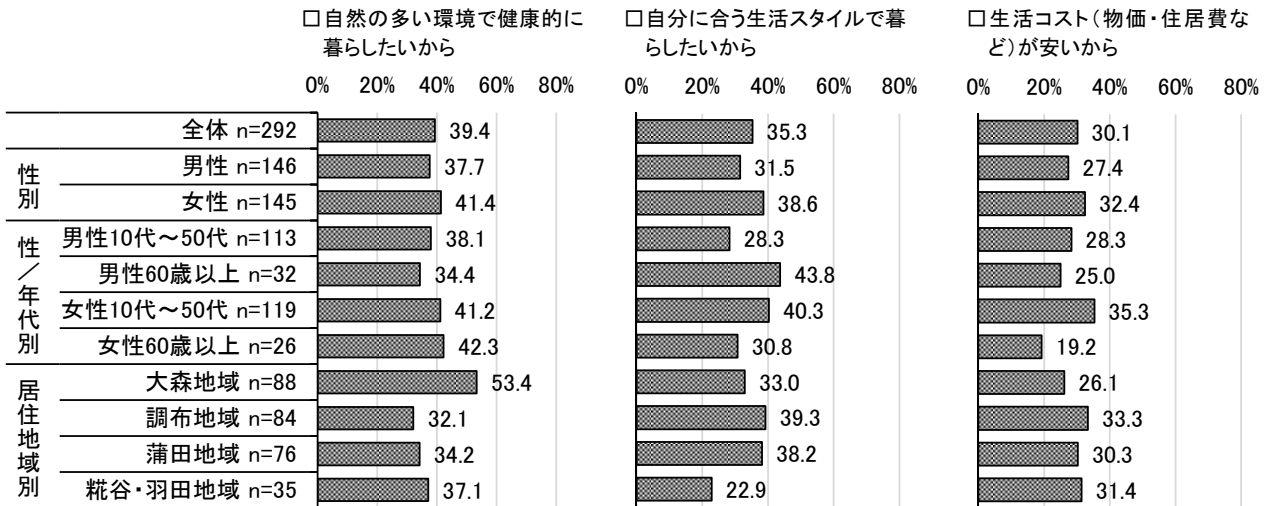


## ■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、男性、女性ともに「自然の多い環境で健康的に暮らしたいから」が最も高く、男性が37.7%、女性が41.4%と、女性が3.7ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「自然の多い環境で健康的に暮らしたいから」は男性10代～50代が38.1%、女性10代～50代が41.2%と、女性10代～50代が3.1ポイント上回っている。「自分に合う生活スタイルで暮らしたいから」は男性60歳以上で4割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、大森地域、糀谷・羽田地域では「自然の多い環境で健康的に暮らしたいから」が最も高く、調布地域、蒲田地域では「自分に合う生活スタイルで暮らしたいから」が最も高くなっている。



## ■家族構成別・居住形態別（上位6項目）

家族構成別でみると、ひとり暮らしでは「自分に合う生活スタイルで暮らしたいから」が最も高く、夫婦のみでは「自然の多い環境で健康的に暮らしたいから」、「自分に合う生活スタイルで暮らしたいから」が最も高く、二世帯世帯（親と子）では「自然の多い環境で健康的に暮らしたいから」が最も高くなっている。また、「出身地だから」はひとり暮らしで約4割と高くなっている。

居住形態別でみると、「自然の多い環境で健康的に暮らしたいから」は持ち家（一戸建て）、持ち家（集合住宅）で約5割と高くなっている。

